
年 報

平成19年度



財団法人 大阪府文化財センター



私部南遺跡 弥生後期のシガラミ検出状況



私部南遺跡 古墳時代建物検出状況



吹田操車場遺跡 C 9 地区 全景（北東から）



池島・福万寺遺跡 O 6 - 1 調査区 弥生時代中期の水田

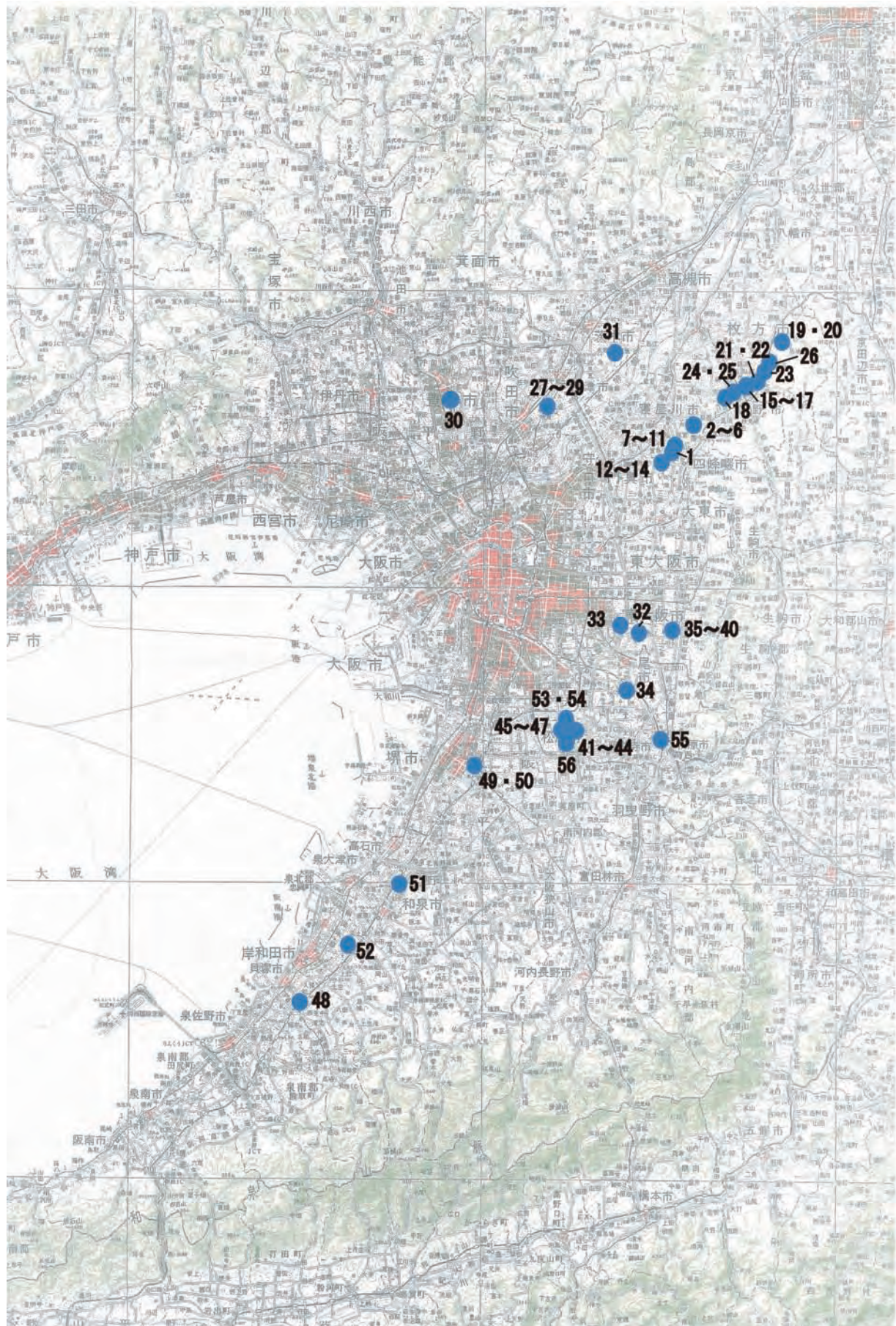


堺環濠都市遺跡 最大規模をもつ環濠断面



大和川今池遺跡 難波大道

実施事業位置図



(地図は国土地理院平成 11 年 8 月 1 日発行 1/20 万 京都および大阪、和歌山を縮小した。)

目 次

巻頭カラー	
実施事業位置図（カラー）	
目次	
I 財団法人大阪府文化財センターの沿革と機構	1
1. 設立の趣旨	1
2. 沿革	1
3. 概要	3
(1) 目的	3
(2) 事業	3
(3) 出資者	3
(4) 基本財産	3
(5) 機構	3
(6) 役員・評議員及び職員	4
a 役員	4
b 評議員	4
c 機構	5
d 職員	6
II 平成 19 年度事業概要及び決算	7
1. 理事会及び評議員会	7
2. 決算	8
3. 調査事業の概要	10
(1) 調査事業一覧	10
(2) 調査の概要	18
a 京阪調査事務所	18
b 中部調査事務所	23
c 南部調査事務所	26
(3) 保存処理事業	31
(4) 現地説明会等	32
4. 普及啓発事業	36
A. 文化財講演会事業	36
(1) 府立三博物館館長・（財）大阪府文化財センター理事長リレー講演会	36
(2) 重要調査に基づくシンポジウムの開催	36
(3) 職員による文化財調査に関する講演会の実施	37
(4) ミニ講座、見学ツアー等の実施	37
(5) 文化財講座の実施	38
(6) 郷土の文化財を見学する会の実施	39
B. 文化財展示会事業	41
(1) 展示会の実施	41
C. 文化財体験学習事業	42
(1) 体験学習等の受け入れ	42
(2) 発掘現場等の見学の受け入れ	43
D. 文化財資料収集事業	43
(1) 文献及び文化財情報の収集・整理	43
(2) 文化財情報のデジタル化	43
E. 文化財資料提供事業	43
(1) インターネット及び報道機関を通じての、当センターの発掘調査やイベント、出版等に関する情報の提供	43
(2) 資料の出品、写真資料、ビデオなどの貸出	43
(3) 図書の出版・販売	54
(4) 出版物の寄贈・配布	54
F. 文化財研究事業	54
(1) 大阪府埋蔵文化財研究会（第 55・56 回）の実施	54
(2) 「近畿ブロック埋文研修会」と「近畿ブロック埋文情報」	55
(3) 弥生文化・近つ飛鳥・日本民家集落博物館との共同研究	55
G. 文化財記録保存事業	57
(1) DVD と VHS の制作等	57
H. 文化財調査支援事業	57
(1) ニュースレター（OCCH）の発行	57
(2) 年報の編集と発行	57
I. 広報事業	57
III 大阪府立弥生文化博物館事業	58
1. 展示事業について (1) ～ (2)	58
2. 講演会事業等 (1) ～ (5)	60
3. 普及事業 (1) ～ (9)	63
4. 学校との教育連携 (1) ～ (9)	67
5. ボランティア活動	69
6. 広報事業 (1) ～ (9)	69
7. 研究事業	71
8. 資料調査収集事業	71

9. サービス事業 (1) ～ (3).....	71
10. 自主事業	72
11. 入館者および入館料一覧表	72
IV 大阪府立近つ飛鳥博物館事業.....	73
1. 展示事業について (1) ～ (7).....	73
2. 講演会事業等 (1) ～ (5).....	79
3. 広報普及事業 (1) ～ (13).....	80
4. 学校教育連携事業 (1) ～ (4)	83
5. 研究事業 (1) ～ (3)	83
6. 資料調査収集事業 (1) ～ (5)	84
7. サービス事業 (1) ～ (5)	85
8. 自主事業 (1)	85
9. 入館者数	86
V 日本民家集落博物館事業.....	87
1. 日向椎葉の民家の 保存修理について (1) ～ (2)	87
2. 展示事業について (1) ～ (8).....	87
3. 普及啓発事業について (1) ～ (10)	93
4. 広報事業について (1)	95
5. 館内施設の整備について (1) ～ (4).....	95
6. 「移築民家を守る会」について	96
7. 入館者及び入館料一覧表	96

事務所・博物館所在地

I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

1. 設立の趣旨

社会資本整備のための公共事業や民間事業者による開発行為によって国土の自然環境や歴史的環境が急速な変貌を遂げている現在、後世に伝えるべき貴重な文化財の保存・活用、歴史的景観の保全等を図ることが行政に求められている。

これに応えるためには、有形・無形・民俗文化財等の保全・活用を図るための調査・研究体制を構築するとともに、調査や資料収集の成果の公開や文化財愛護意識の高揚のための普及啓発、文化財を通じての国際交流も積極的に行っていく必要がある。

一方、埋蔵文化財調査についても、数多くの各種公共事業が府下において計画されていることに伴い増加する傾向にあるため、事業者からは円滑な事業実施ができるように調査の迅速な実施が求められており、体制を整備していかなければならない状況にある。

これらの課題に対応し、大阪府教育委員会と一体となった文化財行政の効率的かつ効果的な推進を図るため、平成7年4月に(財)大阪文化財センターと(財)大阪府埋蔵文化財協会を発展的に統合して、財団法人大阪府文化財調査研究センターが設立された。

平成14年4月に(財)大阪府博物館協会との統合により名称を(財)大阪府文化財センターとし博物館協会がこれまで行っていた「日本民家集落博物館」の民家等を引き継ぎ、この公開管理運営を行うとともに、大阪府の「弥生文化博物館」並びに「近つ飛鳥博物館」及び「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を大阪府教育委員会から受託された。平成18年4月から指定管理者として「弥生文化博物館」、「近つ飛鳥博物館」、「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を受託し、センターの本来事業と合わせて、文化財の発掘調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発を総合的かつ効果的・経済的に推進し、もって大阪府の文化財行政に寄与していく。

2. 沿革

昭和 47.11.28	・大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48. 1.10	・第2阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48. 4. 1	・事務局を設置。(職員数12名)
48. 5.25	・第1回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
51. 7.26	・近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
55. 8.19	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57.11.27	・財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
58. 9. 1	・近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59. 6. 1	・都市計画道路と近畿自動車道と和歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60. 4. 1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61. 2.28	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業(写真パネル展、講演会、映画会)を開催。
3. 4	
平成元. 4. 1	・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と和歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
	・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。

平成 2. 4. 1	・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
2. 9. 1	・財団法人大阪府博物館協会設立。
3. 3. 1	・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
4.11.27	・財団法人大阪文化財センター設立 20 周年記念式典を開催。
7. 3.31	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
7. 4. 1	・財団法人大阪文化財センターと財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、新組織を財団法人大阪府文化財調査研究センターとして発足。 ・本部事務所を大阪市城東区蒲生 2 丁目 11 番 3 号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江 1 丁目 17 - 34 に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。 組織の改正により、総務部、調査部の 2 部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の 3 調査事務所を置く。
7.10. 3	・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
7.12.15	・南部調査事務所を堺市熊野町西 1 丁目 2 - 22 に移転。
8. 9.30	・北部調査事務所を箕面市今宮 3 丁目 19 - 2 に移転。
9. 2.12	・泉佐野収蔵庫竣工。
9. 3.31	・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台 3 - 21 - 4）竣工。
10. 1.12	・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市 軽里 3 丁目 1 - 13 に開設。
10. 3.31	・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
12. 8.21	・本部事務所を 堺市竹城台 3 丁目 21 番 4 号に移転する。
13. 2. 1	・南部調査事務所を 堺市南田出井町 1 丁目 1 番 10 号に移転する。
13.10.31	・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
14. 2.25	・財団法人大阪府博物館協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
14. 4. 1	・財団法人大阪府文化財調査研究センターは財団法人大阪府博物館協会と統合し、「財団法人大阪府文化財センター」に名称変更。 組織の改正により、総務部、調査部、普及部の 3 部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の 3 博物館部を置く。 日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
14.11. 1	・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
15. 3.31	・北部調査事務所を閉鎖。
15. 4. 1	・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝 1 丁目 1 - 15 に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘 1 丁目 2 に開設。
16. 4. 1	・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。
18. 1.31	・泉佐野第二収蔵庫を泉佐野市高松西 2 丁目竣工。
18. 4. 1	・大阪府弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館並びに近つ飛鳥風土記の丘の管理運営を指定管理者として受託。 ・京阪調査事務所交野分室を京阪調査事務所に、京阪調査事務所整理棟を寝屋川分室に名称変更。京阪調査事務所門真分室を門真市岸和田 2 丁目 5 - 32 に開設。

3. 概 要

(1) 目 的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行い、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

(2) 事 業

設立趣旨に基づき次の事業を行う

- ①埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ②史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤文化財の普及啓発
- ⑥日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨その他目的を達成するために必要な事業

(3) 出 資 者

財団法人大阪府博物館協会、大阪府、松下電器産業株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

(4) 基本財産 116,700 千円

(5) 機 構《施設所在地》

ア 本部事務所	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
イ 京阪調査事務所	寝屋川市藤が尾 1 丁目 2
ウ 中部調査事務所	東大阪市長田東 1 丁目 9 番 16 号
エ 南部調査事務所	堺市堺区南田出井町 1 丁 1 番 10 号
オ 京阪調査事務所寝屋川分室	寝屋川市萱島東 3 丁目 2 8 番 4 号
カ 京阪調査事務所門真分室	門真市岸和田 2 丁目 5 番 3 2 号
キ 中部調査事務所池島支所	八尾市福万寺町 8 丁目地先
ク 南部調査事務所古市分室	羽曳野市軽里 3 丁目 1 番 13 号
ケ 普及部	堺市南区竹城台 3 丁 21 番 4 号
コ 高石収蔵庫	高石市綾園 4 丁目地先
サ 岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町 1 丁目地先
シ 泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷（地内）
ス 泉佐野第二収蔵庫	泉佐野市高松西 2 丁目 2430-1
セ 大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町 4 丁目 8 番 27 号
ソ 大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山 299 番地
タ 日本民家集落博物館	豊中市服部緑地 1 番 2 号

(6) 役員・評議員及び職員

a 役員

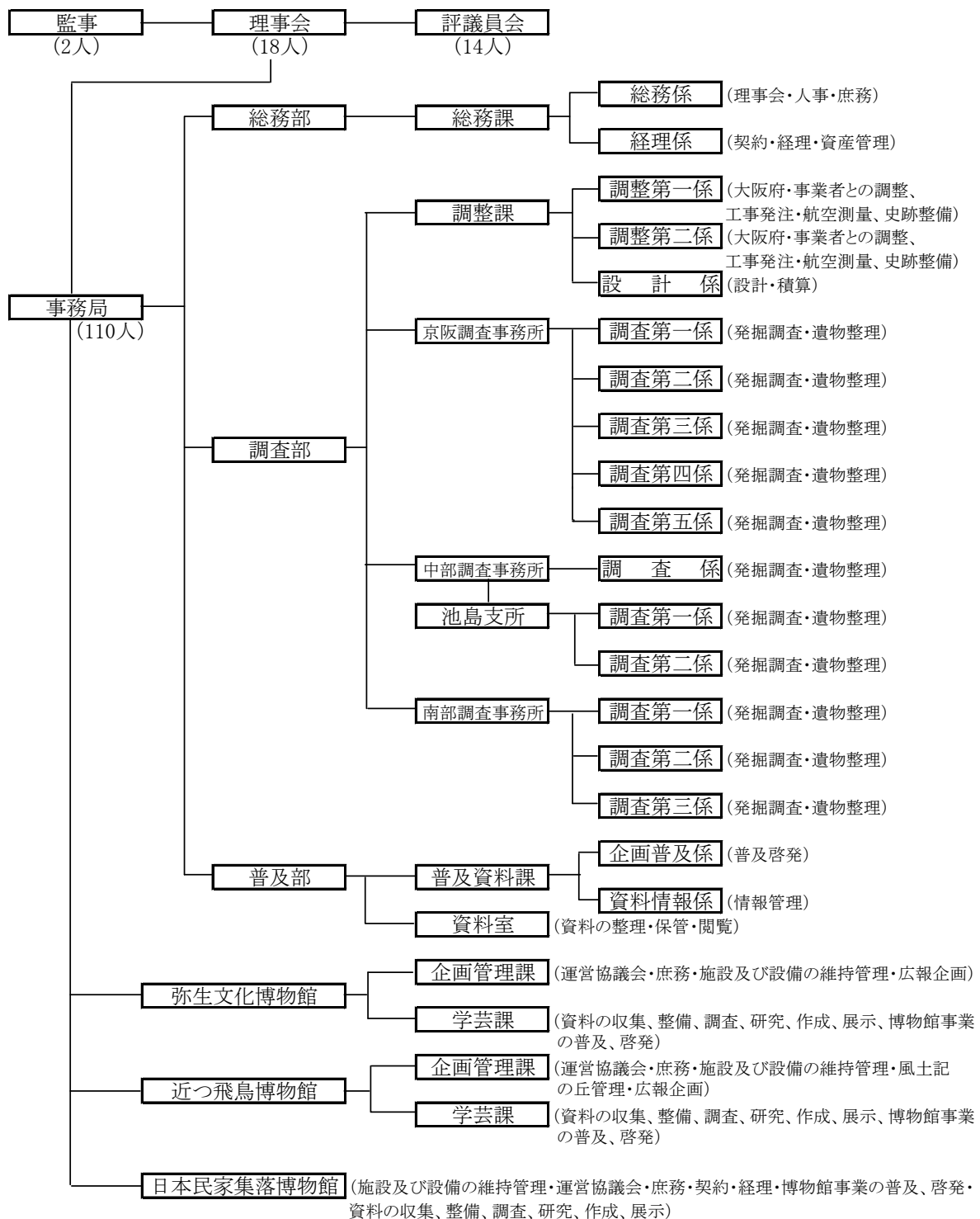
(平成 20 年 3 月 31 日現在)

理事長	水野 正好	奈良大学 文学部名誉教授
専務理事	中平 正子	専 任
理 事	伊賀 節郎 井藤 徹 大橋 太郎 総山 哲男 金関 恕 近藤 公夫 佐々木高明 白石太一郎 高野 浩二 田邊 征夫 福岡 澄男 藤 洋作 町田 章 松園万亀雄 森下 洋一 領木新一郎	財団法人大阪府私学総連合会 代表 日本民家集落博物館 館長 阪急電鉄株式会社 相談役 大阪府教育委員会 教育長 大阪府立弥生文化博物館 館長 奈良女子大学 名誉教授 国立民族学博物館 名誉教授 大阪府立近つ飛鳥博物館 館長 元沖縄開発庁沖縄総合事務局 次長 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所 所長 元財団法人大阪府文化財センター 普及部長 関西電力株式会社 相談役 元奈良文化財研究所 所長 国立民族学博物館 館長 松下電器産業株式会社 相談役 大阪ガス株式会社 相談役
監 事	藤田 周子 真川 正満	財団法人藤田美術館 理事兼館長 公認会計士・税理士
顧問	坪井 清足	財団法人元興寺文化財研究所 副理事長兼所長

b 評 議 員

(平成 20 年 3 月 31 日現在)

有川 春代	アーツ&クラフツ チタチタ 代表
池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人大阪事務所 公認会計士
佐藤 茂弘	ボーイスカウト大阪連盟泉州地区協議会 相談役
沢田 正昭	国士舘大学大学院グローバルアジア研究科 21 世紀アジア学部 教授
杉本 尚次	国立民族学博物館・総合研究大学院大学 名誉教授
都出比呂志	大阪大学 名誉教授
富尾 昌秀	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長
永本 定芳	大阪府都市教育長協議会 代表 (岸和田市教育委員会教育長)
二澤 隆史	大阪府町村教育長会 会長 (田尻町教育委員会教育長)
狭間恵三子	サントリー次世代研究所 主任研究員
藤本 裕子	報道記者 (フリー)
真弓 常忠	住吉大社 宮司
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事 法務部長



(平成20年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長	横山 敏郎	池島支所長	寺川 史郎
事務局次長兼総務部長	中川 隆雄	調査第一係長	広瀬 雅信
総務係長	袋井 龍成	班長	宮崎 泰史
主査	白橋 哲	副主査	田中 龍男
主事	菅谷 昌子	副主査	服部みどり
総務課長兼経理係長	秋山 芳廣	主任技師	林 日佐子
副主査	栗山さよ子	技師	廣瀬 時習
総括学芸員(副主査)	山城 統	技師	島崎 久恵
副主査	田淵 紀江	技師	後川恵太郎
嘱託	酒井 則和	技師	内田 真雄
調査部長	赤木 克規	調査第二係長	西村 歩
調整課長	田中 和弘	主査	陣内 暢子
調整第一係長	岡戸 哲紀	技師	大庭 重信
副主査	川瀬 貴子	技師	塚本 浩司
調整第二係長	岡本 茂史	技師	湯本 整
副主査	宮本 哲男	技師	関 真一
設計係長	栗野 邦一	南部調査事務所所長	大野 薫
主査	橋本 眞一	事務総括	村田 将
技師	北村 敦彦	副主査	立花 正治
技師	竹内 秀喜	調査第一係長	藤澤 眞依
京阪調査事務所所長	山本 彰	主査	入江 正則
事務総括	岡田 輝雄	副主査	三宮 昌弘
主査	上野 貞子	技師	井西 貴子
調査第一係長	小林 義孝	技師	平田 洋司
副主査	服部 文章	技師	福佐美智子
副主査	後藤 信義	調査第二係長	中村 淳磯
技師	小松 武彦	主査	村上富喜子
技師	西川 寿勝	主査	森井 貞雄
技師	船築 紀子	主査	三木 弘
調査第二係長	三好 孝一	技師	新海 正博
技師	長戸 満男	技師	河端 智
技師	鈴木 廣司	調査第三係長	森屋美佐子
技師	佐伯 博光	主任技師	竹原 伸次
調査第三係長	秋山 浩三	技師	市村慎太郎
技師	南 孝雄	技師	正岡 大実
技師	若林 幸子	普及部長	福岡 澄男
技師	黒須亜希子	普及資料課主幹兼企画普及係長	芝野圭之助
調査第四係長	藤永 正明	副主査	本間 元樹
技師	森本 徹	資料情報係長	村上 年生
技師	井上 智博	弥生文化博物館館長	金関 恕
技師	中尾 智行	副館長兼企画管理課長	田淵 恵三
調査第五係長	金光 正裕	主任	峠 美穂
副主査	横田 明	学芸課長	江浦 洋
技師	伊藤 武	総括学芸員	合田 幸美
技師	奥村 茂輝	主任学芸員	永野 仁
中部調査事務所所長兼資料室長	小野 久隆	近つ飛鳥博物館館長	白石太一郎
主査	片山 彰一	副館長兼企画管理課長	浅田 稔
主査	山口 誠治	事務主任	中野 孝
副主査	鎗山 洋子	広報主任	福原 輝幸
調査係長	松岡 良憲	副館長兼学芸課長	藤田 憲司
主査	中岡 勝	総括学芸員	市本 芳三
副主査	駒井 正明	主任学芸員	鹿野 塁
副主査	岡本 圭司	日本民家集落博物館館長	井藤 徹
技師	亀井 聡	副館長	奥村 直樹
技師	信田真美世	主任学芸員	小島 久美

II 平成 19 年度の事業概要及び決算

1. 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年 月 日	会 議 名 称	場 所	議 案
平成 19 年 6 月 22 日	第 1 回評議員会	ホテルアウィーナ大阪	1. 平成 18 年度事業報告及び決算について
	第 1 回理事会	ホテルアウィーナ大阪	1. 平成 18 年度事業報告及び決算について 2. 評議員の選出について
平成 20 年 3 月 25 日	第 2 回評議員会	ホテルアウィーナ大阪	1. 平成 19 年度補正予算書（案）について 2. 平成 20 年度暫定事業計画書（案）及び 暫定収支予算書（案）について 3. 理事及び監事の選任について
	第 2 回理事会	ホテルアウィーナ大阪	1. 平成 19 年度補正予算書（案）について 2. 平成 20 年度暫定事業計画書（案）及び 暫定収支予算書（案）について 3. 評議員の選出について 4. 専務理事の互選について

2. 決算 収支計算書 総括表

(平成 19 年 4 月 1 日から平成 20 年 3 月 31 日まで)

科 目		一般会計	弥生文化博物館 特別会計	近つ飛鳥博物館 特別会計
I	事業活動収支の部			
1.	事業活動収入			
	① 基本財産運用収入	1,657,299	0	0
	② 特定資産運用収入	15,357,615	0	0
	③ 会費収入	0	0	0
	④ 事業収入	2,428,129,075	155,969,543	183,275,438
	⑤ 補助金等収入	5,900,000	0	0
	⑥ 寄附金収入	0	0	0
	⑦ 雑収入	1,271,242	44,944	34,002
	⑧ 他会計からの繰入金収入	6,483,126	750,000	750,000
	事業活動収入計	2,458,798,357	156,764,487	184,059,440
2.	事業活動支出			
	① 事業費支出	2,373,375,217	154,955,117	181,076,771
	② 管理費支出	190,546,885	0	0
	③ 他会計への繰入金支出	3,564,621	2,448,430	2,288,190
	事業活動支出計	2,567,486,723	157,403,547	183,364,961
	事業活動収支差額	△ 108,688,366	△ 639,060	694,479
II	投資活動収支の部			
1.	投資活動収入			
	① 特定資産取崩収入	316,611,989	0	0
	② 他会計からの繰入金収入	40,000,000	0	0
	投資活動収入計	356,611,989	0	0
2.	投資活動支出			
	① 特定資産取得支出	141,680,578	0	0
	② 固定資産取得支出	4,934,714	0	0
	③ 敷金・保証金支出	32,000	0	0
	④ 他会計への繰入金支出	40,000,000	0	0
	投資活動支出計	186,647,292	0	0
	投資活動収支差額	169,964,697	0	0
III	財務活動収支の部			
1.	財務活動収入			
	① 他会計からの繰入金収入	0	20,000,000	20,000,000
	財務活動収入計	0	20,000,000	20,000,000
2.	財務活動支出			
	① 他会計への繰入金支出	0	20,000,000	20,000,000
	財務活動支出計	0	20,000,000	20,000,000
	財務活動収支差額	0	0	0
IV	予備費支出	0	0	0
	当期収支差額	61,276,331	△ 639,060	694,479
	前期繰越収支差額	0	30,538,629	30,250,279
	次期繰越収支差額	61,276,331	29,899,569	30,944,758

(単位：円)

日本民家集落博 物館特別会計	財団自主事業 特別会計	府立博物館自主 事業特別会計	内部取引消去	合 計
0	0	0	0	1,657,299
620,241	0	132,172	0	16,110,028
3,800,000	0	0	0	3,800,000
12,093,955	3,828,944	10,358,211	△ 1,584,880	2,792,070,286
123,851,000	0	0	0	129,751,000
29,052,264	0	150,000	0	29,202,264
778,698	46,720	707,632	0	2,883,238
1,684,621	2,000,000	0	△ 11,667,747	0
171,880,779	5,875,664	11,348,015	△ 13,252,627	2,975,474,115
164,016,434	4,151,702	8,666,455	△ 1,584,880	2,884,656,816
0	0	0	0	190,546,885
0	1,723,962	1,642,544	△ 11,667,747	0
164,016,434	5,875,664	10,308,999	△ 13,252,627	3,075,203,701
7,864,345	0	1,039,016	0	△ 99,729,586
5,171,000	0	0	0	321,782,989
0	0	0	△ 40,000,000	0
5,171,000	0	0	△ 40,000,000	321,782,989
10,793,695	0	0	0	152,474,273
0	0	0	0	4,934,714
0	0	0	0	32,000
0	0	0	△ 40,000,000	0
10,793,695	0	0	△ 40,000,000	157,440,987
△ 5,622,695	0	0	0	164,342,002
0	0	0	△ 40,000,000	0
0	0	0	△ 40,000,000	0
0	0	0	△ 40,000,000	0
0	0	0	△ 40,000,000	0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	0
2,241,650	0	1,039,016	0	64,612,416
23,648	0	11,216,237	0	72,028,793
2,265,298	0	12,255,253	0	136,641,209

3. 調査事業の概要

(1) 調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を事業施行者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄		遺跡（調査名）	調査地	受託事業名	工事名	事業者	事業の種別
京阪調査事務所寝屋川分室	1	寝屋東遺跡05-1・大尾遺跡05-1・砂遺跡06-1〔整理〕	寝屋川市寝屋・太秦高塚・高宮、四條畷市砂	讃良郡条里遺跡他遺物整理(その2)	太秦・讃良郡条里遺跡（2）他遺物整理	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所	道路建設
	2	太秦（太秦古墳群）遺跡05-1・05-3〔整理〕	寝屋川市打上・国守町				
	3	太秦（太秦古墳群）遺跡06-1〔整理〕					
	4	太秦（太秦古墳群）遺跡06-2〔整理〕					
	5	太秦（太秦古墳群）遺跡06-3〔調査・整理〕	寝屋川市打上新町				
	6	太秦（太秦古墳群）遺跡07-1〔調査・整理〕	寝屋川市打上新町				
	7	讃良郡条里遺跡06-1〔調査・整理〕	寝屋川市高宮・小路				
	8	讃良郡条里遺跡07-1〔調査〕	寝屋川市小路				
	9	讃良郡条里遺跡03-4〔整理〕	寝屋川市新家2丁目・四條畷市砂	讃良郡条里遺跡他遺物整理（その2）	讃良郡条里遺跡（5）	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所	道路建設
	10	讃良郡条里遺跡03-5・06-2〔整理〕	寝屋川市新家2丁目		讃良郡条里遺跡（6）		
	11	讃良郡条里遺跡03-6・06-3〔調査・整理〕	寝屋川市讃良東町		讃良郡条里遺跡（7）		
京阪調査事務所門真分室	12	巢本遺跡03-1〔整理〕	門真市北巢本町	巢本遺跡遺物整理	巢本遺跡（その1）	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所	道路建設
	13	巢本遺跡03-2〔整理〕	門真市北巢本町		巢本遺跡（その2）		
	14	巢本遺跡06-1〔調査・整理〕	門真市北巢本町		巢本遺跡（その3）		
	15	私部南遺跡06-1〔調査〕	交野市私部南1丁目	第二京阪道路（大阪北道路）私部南遺跡発掘調査（その2の2）／平成19年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査（私部南遺跡その2の2）	私部南遺跡（その2）発掘調査	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	16	私部南遺跡06-2〔調査〕	交野市向井田1丁目	第二京阪道路（大阪北道路）私部南遺跡発掘調査（その1の3）／平成19年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査（私部南遺跡その1の3）	私部南遺跡（その1の2）発掘調査	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設

受託契約期間	事業費	単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H19. 4. 1～ H20. 3. 31	150, 720, 150	0	縄文時代～中世 墓・集落	溝・流路・落ち込み・ビット 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 瓦質土器・陶磁器・瓦	藤永正明		
		0	弥生時代～古代 集落・墓	溝・土坑・ビット・古墳周溝 弥生土器・土師器・須恵器・石器・石製品			
		0	縄文時代～中世 集落・生産	水田・掘立柱建物・堅穴住居・井戸・ 溝・土坑 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 黒色土器・瓦器・陶器・磁器・石器・木製品			
		0	古墳時代 墓	溝・方墳 須恵器・土師器	藤永正明		
		260	弥生時代～中世 集落・墓	古墳 弥生土器・須恵器・土師器・埴輪	藤永正明		
		520	弥生時代～中世 古墳・集落・墓	弥生土器・須恵器・石器	藤永正明		
		269	縄文時代～中世 集落・生産	流路・溝 縄文土器・土師器・須恵器・木製品・石器	井上智博		
		59	縄文時代～中世	井戸・土坑 弥生土器・土師器	井上智博		
H19. 4. 1～ H20. 3. 31		0	縄文時代～中世 集落・生産	水田・掘立柱建物・堅穴住居・井戸・ 溝・土坑 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 黒色土器・瓦器・陶器・磁器・石器・木製品	中尾智行 (山根航)		
		0	弥生時代～古代 集落・生産	建物・井戸・土坑・土器埋納遺構・流 路・水田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 瓦器・動物遺存体・木製品・鉄製品・石製品	森本徹		
		45	古墳時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・土坑・耕作溝 須恵器・土師器	奥村茂輝 (村田昌也)		
H19. 4. 1～ H20. 3. 31	79, 709, 700	0	中世 集落・生産	堤・掘立柱建物・井戸・土坑・流路 土師器・瓦器・焼締陶器・輸入陶器・磁器・瓦・木製品・金属製品	辻裕司		
		0	中世 集落・生産	掘立柱建物・井戸・ビット・土坑・溝 瓦器・羽釜・足釜・土師器皿・須恵質 播鉢・陶器播鉢・青磁碗・白磁碗・瓦	伊藤武		
		1, 570	中世 集落・生産	溝・掘立柱建物・井戸・ビット・土坑 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器・瓦・木製品	横田明 (市田英介)		
H19. 4. 1～ H20. 3. 31	168, 116, 550	7, 700	縄文時代～中世 集落・生産	溝・土坑・柱穴・井戸・耕作痕 弥生土器・土師器・須恵器・韓式系土器・黒色土器・瓦器・陶磁器・瓦	服部文章 (吉田綾子)	船築紀子	
H19. 4. 1～ H20. 3. 31	155, 120, 700	3, 750	旧石器時代～中世 集落・生産	堅穴建物・掘立柱建物・溝・土坑・耕作跡 土師器・須恵器・製塩土器・輸入陶磁器・瓦器・黒色土器・灰釉陶器・緑釉陶器・滑石製子持勾玉・剣形石製品・国府型ナイフ形石器・細石刃石核・二又鋤・堅杵・広鋤	三好孝一 (村田裕介)	長戸満男	

管轄		遺跡（調査名）	調査地	受託事業名	工事名	事業者	事業の種別
京阪調査事務所	17	私部南遺跡07-1〔調査〕	交野市向井田1丁目	第二京阪道路（大阪北道路）私部南遺跡発掘調査（その3）／平成19年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査（私部南遺跡その3）	私部南遺跡（その3）発掘調査	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	18	茄子作遺跡04-1〔整理〕	枚方市茄子作南町	第二京阪道路（大阪北道路）津田・上私部遺跡他遺物整理/平成19年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査遺物整理作業（津田・上私部遺跡他）	茄子作遺跡整理	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	19	津田遺跡05-1〔整理〕	枚方市津田南町1丁目		津田遺跡遺物整理		
	20	津田遺跡07-1〔調査・確認〕	枚方市津田南町1丁目		津田遺跡（その2）発掘調査		
	21	上私部遺跡03-1・05-1〔整理〕	交野市青山2丁目		上私部遺跡（その2）遺物整理		
	22	上私部遺跡07-1〔調査〕	交野市青山2丁目	第二京阪道路（大阪北道路）上私部遺跡発掘調査（その3）／平成19年度第二京阪道路（一般国道1号）建設事業（大阪府域）に伴う埋蔵文化財発掘調査（上私部遺跡その3）	上私部遺跡（その3）	国土交通省近畿地方整備局浪速国道事務所・西日本高速道路株式会社関西支社	道路建設
	23	有池遺跡07-1・上私部遺跡07-2〔調査〕	交野市青山3丁目	有池遺跡（その6）・上私部遺跡（その4）			
	24	上の山遺跡05-1・05-2・06-1〔整理〕	交野市私部西4丁目	一般国道168号（枚方大和高田線、天の川磐船線）他道路整備事業	上の山遺跡遺物整理	大阪府枚方土木事務所	道路建設
	25	上の山遺跡07-1〔調査〕	交野市私部西4丁目・倉治1丁目		上の山遺跡（その6）		
	26	倉治遺跡05-1〔整理〕	交野市倉治1丁目		倉治遺跡遺物整理		
倉治遺跡05-2〔整理〕							
倉治遺跡05-3〔整理〕							
倉治遺跡06-1〔整理〕							
中部調査事務所	27	吹田操車場遺跡06-1〔調査〕	吹田市芝田町	吹田（信）基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡発掘調査6	吹田操車場遺跡（その4）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備
	28	吹田操車場遺跡06-1〔整理〕	吹田市芝田町	吹田（信）基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡遺物整理8	吹田操車場遺跡（その6）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備
	29	吹田操車場遺跡07-1〔調査〕	吹田市芝田町	吹田（信）基盤整備工事に伴う吹田操車場遺跡発掘調査7	吹田操車場遺跡（その5）	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構	信号場基盤整備
	30	勝部遺跡07-1〔調査・確認〕	豊中市走井2丁目	北部大阪都市計画緑地第203-2号大阪国際空港周辺緑地埋蔵文化財調査	勝部遺跡（その6）	大阪航空局	緑地造成工事

受託契約期間	事業費	単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H19. 4. 1～ H20. 3. 31	110, 578, 650	2, 335	縄文～中世 集落・生産	堅穴建物・柱穴列・溝・土坑・耕作痕・ 石垣 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・ 瓦器・陶磁器・石器・石仏・漆器	三好孝一 小林義孝 小松武彦	鈴木廣司 後藤信義 佐伯博光	
H19. 4. 1～ H20. 3. 31	21, 017, 850	0	縄文時代～中世 集落・生産	溝・堅穴住居・ビット・掘立柱建物・土 坑・水田・井戸・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 瓦器・陶器・磁器・木製品	黒須亜希子		
	33, 177, 900	0	縄文・弥生時 代・古代～中世 集落・生産	堅穴住居・掘立柱建物・塀・溝・土坑・ 堤防・水田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・ 瓦器・陶器・青磁・白磁・石器・銭貨	南孝雄		
		588	奈良時代・中世 集落・生産	流路・溝・土坑・水田 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶磁 器・銭貨・サヌカイト	秋山浩三	黒須亜希子	
	62, 303, 850	0	古墳時代～中世 集落	堅穴住居・掘立柱建物・溝・土坑・井 戸・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・瓦	鈴木廣司		
		0	古墳時代・中世 集落	掘立柱建物・堅穴住居・溝・土坑・流 路・水田 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶 器・磁器・木製品・石器	綱伸也 (大竹正裕)		
H19. 4. 1～ H20. 3. 31	81, 069, 450	2, 240	古墳時代・中世 集落	掘立柱建物・集水土坑・溝・土坑 土師器・須恵器・U字形土製品・瓦器・陶 磁器	若林幸子 (和田大作)	(垣内拓郎)	
		270	縄文時代～中世 集落・耕作地	掘立柱建物・土坑・堅穴建物・溝・耕作 跡・水田・流路 土師器・須恵器・瓦器・国産陶磁器	若林幸子 (和田大作)	黒須亜希子	
H19. 5. 1～ H20. 2. 29	41, 273, 400	0	縄文時代～中世 集落・墓	方形周溝墓・埋甕・掘立柱建物・堅穴住 居・段丘崖 縄文土器・弥生土器	小林義孝 (日野祥子)		
		1, 749	弥生時代・近世 集落	土坑・溝 弥生土器・陶磁器	西川寿勝 (日野祥子)		
	2, 071, 650	0	飛鳥時代 集落・生産	溝 土師器・須恵器	小林義孝 (日野祥子)		
		0	古墳時代 集落・生産	沼状遺構 土師器・須恵器			
		0	古墳時代 集落・生産	沼状遺構 土師器・須恵器			
		0	古墳時代 集落・生産	土師器・須恵器			
H18. 3. 1～ H19. 7. 31	81, 661, 650	3, 264	弥生時代～江戸 時代 集落・耕作地	群集土坑・土坑・掘立柱建物・井戸 石鏃・弥生土器・土師器・陶磁器・緑釉 陶器・灰釉陶器・軒丸瓦・須恵器・墨書 土器（須恵器）	駒井正明 (向井妙)	中岡勝	平成18～19年度
H19. 8. 1～ H20. 7. 31	36, 961, 050	0	弥生時代～江戸 時代 集落・耕作地	群集土坑・土坑・掘立柱建物・井戸 石鏃・弥生土器・土師器・陶磁器・緑釉 陶器・灰釉陶器・軒丸瓦・須恵器・墨書 土器（須恵器）	駒井正明 (向井妙)	中岡勝	平成18～19年度
H19. 5. 1～ H20. 11. 30	100, 980, 600	3, 800	古墳時代～近世 集落・生産	掘立柱建物・柱穴・土坑・溝・井戸・流 路・陶器・磁器・瓦器・黒色土器・土師 器・須恵器	岡本圭司 (影山美智与)	亀井聡	平成19～20年度
H19. 11. 19～ H20. 3. 25	10, 252, 725	90	中世～近世 生産	耕作溝・ビット・溝・土坑・井戸 瓦器・土師器・須恵器・陶磁器	駒井正明		

管轄		遺跡（調査名）	調査地	受託事業名	工事名	事業者	事業の種別
	31	玉櫛遺跡06-1〔整理〕	茨木市玉櫛2丁目	府営茨木玉櫛住宅（建て替え）に伴う玉櫛遺跡遺物整理	玉櫛遺跡（その5）	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課	集合住宅建設
	32	山賀遺跡03-1・05-1〔整理〕	八尾市新家町5丁目	寝屋川水系改良事業（一級河川寝屋川 新家調節池）地内の埋蔵文化財に係る発掘調査（その2）	山賀遺跡（その2）	大阪府八尾土木事務所	調節池築造
	33	新上小阪遺跡05-1〔整理〕	東大阪市新上小阪	大阪府営東大阪新上小阪（第2期）住宅（建て替え）建設工事に伴う新上小阪遺跡（その2）遺物整理	新上小阪遺跡（その2）	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課	集合住宅建設
	34	植松遺跡05-1〔整理〕	八尾市植松町8丁目	大阪府営八尾植松（第1期）住宅（建て替え）建設工事に伴う植松遺跡（その2）遺物整理	植松遺跡（その2）	大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課	集合住宅建設
池島支所	35	池島・福万寺遺跡05-1〔調査・整理〕	八尾市福万寺町8丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その3）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その3-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	36	池島・福万寺遺跡05-2〔調査・整理〕	東大阪市池島町7丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その4）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その4-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	37	池島・福万寺遺跡06-1〔調査〕	八尾市福万寺町8丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その5）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その5-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	38	池島・福万寺遺跡06-2〔調査〕	東大阪市池島町4丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その6）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その6-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	39	池島・福万寺遺跡07-1〔調査〕	八尾市福万寺町8丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その7）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その7-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
	40	池島・福万寺遺跡07-2〔調査〕	東大阪市池島町7丁目	一級河川恩智川治水緑地池島・福万寺遺跡Ⅱ発掘調査（その8）	池島・福万寺遺跡Ⅱ（その8-1）	大阪府寝屋川水系改修工営所	治水緑地造成
南部調査事務所	41	三宅西遺跡04-2〔整理〕	松原市三宅西5丁目	一般府道 住吉八尾線外 三宅西遺跡遺物整理委託	三宅西遺跡（その2）	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	42	三宅西遺跡04-3〔整理〕	松原市三宅西6丁目		三宅西遺跡（その3）		
	43	三宅西遺跡07-1〔調査・整理〕	松原市三宅西5丁目		三宅西遺跡（その4）		
	44	三宅西遺跡07-2〔調査〕	松原市三宅西5丁目		三宅西遺跡（その5）		
	45	池内遺跡05-1〔整理〕	松原市天美東3丁目	都市計画道路 大和川線外 池内遺跡遺物整理	池内遺跡（その1）	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	46	池内遺跡05-2〔整理〕	松原市天美北1丁目		池内遺跡（その2）		
	47	池内遺跡07-1〔調査〕	松原市天美東3丁目		池内遺跡（その3）		

受託契約期間	事業費	単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H19. 4. 2～ H20. 3. 31	35,355,600	0	弥生時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・井戸・溝・土器理納遺構・土坑・ピット・畦畔 弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶器・高麗象嵌青磁・磁器・瓦・炉壁片・砥石・鞍・漆器・まじない札・短刀・銭貨・馬鉄歯・動物骨	信田真美世 (赤松佳奈)		
H17. 10. 3～ H19. 6. 29	3,206,700	0	縄文時代～中世 集落・生産・墓	溝・木棺・土坑・ピット・水田 縄文土器・弥生土器・石器・木製品・骨	本間元樹 (向井妙)		平成17～19年度
H19. 4. 2～ H19. 12. 28	19,289,550	0	弥生時代～近世 集落・生産	竪穴建物・掘立柱建物・水田・島畠・溝・井戸・土坑・流路・杭列・ピット 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・サヌカイト製石器・石製品・木製品・魚骨・管玉・銅鏝	島崎久恵 (吉田知史)		
H19. 4. 2～ H19. 9. 28	7,763,700	0	弥生時代～中世 生産	島畠・溝・地震痕跡・井戸・杭列 弥生土器・土師器・須恵器・墨書土器・瓦器・陶器・埴輪・カマド・井戸枠部材・杭・石器・瓦	川瀬貴子		
H17. 7. 22～ H19. 9. 28	149,578,800	2,846	縄文時代～近・現代 生産	水田・島畠・土坑・溝・河川 陶器・磁器・瓦器	大庭重信 (山中信人)	関真一	平成17～19年度
H17. 7. 22～ H19. 9. 28	166,381,950	2,655	縄文時代～近・現代 生産	水田・島畠・溝・井戸 土師器・須恵器・陶器・磁器・瓦	広瀬雅信 (松野元宏)	服部みどり 内田真雄	平成18～20年度
H18. 9. 1～ H20. 8. 29	189,115,500	2,385	縄文時代～近・現代 生産	水田・畑 陶器・磁器・瓦	西村歩 塚本浩司	湯本整 (重松辰治)	平成17～19年度
H18. 9. 1～ H20. 5. 30	193,370,100	2,425	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畑・坪境・溝・土坑・ピット・杭列 陶器・磁器・土師器・瓦・瓦器・瓦質土器・須恵器・弥生土器・縄文土器・鉄器・石器・木製品・石製品・土製品・銅鏡	廣瀬時習 (飯田浩光)	(乾哲也)	平成18～20年度
H19. 9. 3. ～ H21. 10. 30	59,535,000	3,775	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・瓦器・土師器・須恵器	西村歩 (吉田知史)	関真一	平成19～21年度
H19. 9. 3. ～ H21. 10. 30	62,042,000	3,791	縄文時代～近世 生産・集落	水田・畦畔・島畠・瓦器・土師器・須恵器	島崎久恵 (乾哲也)	後川恵太郎	平成19～21年度
H18. 10. 2～ H20. 12. 26	83,594,700	0	弥生時代～近世 集落・生産	竪穴住居・周溝墓・掘立柱建物・溝・土坑・ピット・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器・サヌカイト・馬骨	森井貞雄 (清水梨代)		平成18～20年度
		0	縄文時代～近世 集落・生産	掘立柱建物・溝・土坑・井戸・ピット・竪穴住居・流路・堰 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・百済土器・韓式土器・サヌカイト・石器	村上富喜子		
		1,490	弥生時代～中世 集落	竪穴住居・土坑・溝・柱穴・井戸・流路・弥生土器・土師器・須恵器・陶磁器・サヌカイト	森井貞雄 (清水梨代)	井西貴子 (奈良拓弥)	
		270	縄文時代～中世	竪穴住居・掘立柱建物・溝・ピット・土坑・井戸・畦畔・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦・石鏝・石包丁・サヌカイト	中村淳磯 (清水梨代)		
H19. 4. 2～ H21. 3. 31	99,459,150	0	弥生時代～中世 集落・生産	井戸・土坑・掘立柱建物・水田・溝 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・瓦器・石器	入江正則		平成19～20年度
		0	弥生時代～中世 集落・生産	溝・土坑・水田・掘立柱建物・道路状遺構・井戸 弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・緑釉陶器・銭貨・瓦	平田洋司 (永田由香)		
		780	弥生時代～中世	弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・埴輪・瓦・金属器・陶器・磁器・サヌカイト	入江正則		

管轄		遺跡（調査名）	調査地	受託事業名	工事名	事業者	事業の種別
	48	湊遺跡06-1〔整理〕	泉佐野市湊1丁目	南海本線（泉佐野市）連続立体化事業に伴う湊遺跡他発掘調査（その6）	湊遺跡他（その6）	大阪府岸和田土木事務所	南海本線（泉佐野市）連続立体化事業
	49	堺環濠都市遺跡06-1〔調査・整理〕	堺市堺区少林寺町東3丁	少林寺・B団地建替に伴う堺環濠都市遺跡発掘調査	堺環濠都市遺跡（その1）	大阪府住宅供給公社	集合住宅建設
	50	堺環濠都市遺跡06-2〔調査・整理〕	堺市堺区戎之町東4丁	戎之町団地建替に伴う堺環濠都市遺跡発掘調査	堺環濠都市遺跡（その2）	大阪府住宅供給公社	集合住宅建設
	51	史跡池上曽根遺跡07-1〔調査・整理〕	和泉市池上町	平成19年度史跡池上曽根遺跡整備事業に伴う発掘調査	史跡池上曽根遺跡（その7）	和泉市	史跡整備
	52	下池田遺跡07-1〔調査〕	岸和田市下池田町3丁目	大阪府営岸和田下池田住宅民活プロジェクトに伴う下池田遺跡発掘調査	下池田遺跡	(株)奥村組（大阪府住宅まちづくり部住宅経営室住宅整備課）	集合住宅建設
	53	大和川今池遺跡07-1〔調査〕	堺市常磐町3丁・松原市天美西8丁目	都市計画道路大和川線 大和川今池遺跡（その2）発掘調査委託	大和川今池遺跡（その2）	大阪府富田林土木事務所・堺市建設局	道路建設
古市分室	54	大和川今池遺跡06-1〔調査・整理〕	松原市天美西3丁目・大阪市東住吉区矢田7丁目	都市計画道路大和川線外 大和川今池遺跡発掘調査委託	大和川今池遺跡	大阪府富田林土木事務所	道路建設
	55	船橋遺跡07-1〔調査・整理〕	柏原市大正2丁目	大和川改修（高規格堤防）事業に伴う船橋遺跡ほか発掘調査（その6）	船橋遺跡（その5）	国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所	高規格堤防建設
	56	上田町遺跡隣接地〔確認〕	松原市上田6丁目	（仮称）松原ポンプ場築造工事に伴う上田町遺跡隣接地（確認）発掘調査委託	上田町遺跡隣接地確認	大阪府水道部南部水道事業所	ポンプ場建設

受託契約期間	事業費	単年面積	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者		備考
H19. 6. 1～ H20. 2. 29	18, 506, 250	0	弥生時代～近世 集落・生産	溝・洪水復旧用大型土坑群・粘土採掘土坑群・流路・浸蝕痕・シュートバー 陶器・磁器・杭・蛸壺・土鍾・瓦器碗・須恵器・土師器・弥生土器・製塩土器	三宮昌弘 (関本優美子)		
H18. 10. 2～ H19. 5. 31 (調査) H19. 6. 1～ H20. 3. 31 (整理)	51, 005, 850	475	古墳時代～近世 集落・生産	礎石建物・区画溝・井戸・廃棄土坑・竈・埋甕・埋桶・鋤溝 環濠・土塁 土師器・須恵器・埴輪・瓦質土器・陶磁器・石製品・木製品・ 金属製品・土製品・動物遺体	中村淳磯 新海正博 (水野恵利子)	亀井聡 河端智 福佐美智子	平成18～19年度
H18. 10. 2～ H19. 5. 31 (調査) H19. 6. 1～ H20. 3. 31 (整理)	42, 814, 800	473	中世～近世 集落・生産	埴列建物・礎石建物・通路・井戸・廃棄土坑・酒蔵(搾場) 陶器・磁器・土器・瓦器・瓦質土器・須恵器・ガラス製容器・鉄製品・石製品・土製玩具・瓦・鋳造(鉄・銅)・鍛造関連遺物	三木弘 (小林恒孝)		平成18～19年度
H19. 7. 2～ H20. 3. 31	11, 600, 000	80	弥生時代～中世 集落・生産	柱穴・土坑 弥生土器・須恵器・土師器	福佐美智子 (奈良拓弥)		
H19. 11. 1～ H21. 7. 31	27, 985, 650	4, 610	弥生時代～古墳 時代	堅穴住居・土器棺墓・流路・溝・土坑・粘土採掘坑 弥生土器・土師器・須恵器・石庖丁・銅鏃	藤澤真依 (奈良拓弥)	井西貴子	平成19～21年度
H19. 11. 20～ H21. 1. 30	17, 181, 150	1, 800	弥生時代～近世	道路遺構・大畦畔・溝・鋤溝・ビット 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・陶器・石鏃	三宮昌弘 (関本優美子)	福佐美智子	平成19～20年度
H18. 8. 1～ H20. 3. 31	150, 568, 950	4, 575	弥生時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・井戸・土坑・溝・柱穴・水田・自然流路 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦・陶磁器	竹原伸次 (福田基樹)	市村慎太郎	平成18～19年度
H19. 5. 24～ H20. 3. 10	40, 732, 650	723	縄文時代～中世 集落・生産	掘立柱建物・溝・土器廃棄土坑・集石土坑・ビット・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・石器・ガラス玉鋳型・移動式竈	正岡大実 (佐藤由美)		
H19. 10. 1～ H20. 3. 31	34, 971, 300	1, 508	古墳時代前期～ 近世 生産	水田・畠・井戸・池 土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・瓦	森屋美佐子		

(2) 調査の概要

a. 京阪調査事務所

1. 寝屋東遺跡 05－1・大尾遺跡 05－1・砂遺跡 06－1 [整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査の整理事業である。寝屋東遺跡では飛鳥時代の掘立柱建物 1 棟、大尾遺跡では小流路、砂遺跡では流路、溝、土坑、ピットを確認し、出土遺物には、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、瓦、土製品などがある。調査後には、記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の実測などを行ない、その詳細は、平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良郡条里遺跡・砂遺跡』にまとめた。

2. 太秦（太秦古墳群）遺跡 05－1・05－3 [整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査の整理事業である。05－1 では弥生時代中期の周溝墓、木棺痕跡、竪穴住居、古代の竪穴住居、掘立柱建物を、05－3 では土坑、溝を確認した。出土遺物には弥生土器、土師器、須恵器、石製品、ガラス玉などがある。調査後には、記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の実測などを行ない、その詳細は、平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良郡条里遺跡・砂遺跡』にまとめた。

3. 太秦（太秦古墳群）遺跡 06－1 [整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査の整理事業である。調査で確認した溝、土坑などの図面や写真の整理、須恵器の高杯脚部や杯蓋、円筒埴輪片などの遺物の実測を行った。本調査で確認した溝は、太秦（太秦古墳群）遺跡 06－2 で確認された溝の一つとつながる。調査内容の詳細については、平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良郡条里遺跡・砂遺跡』にまとめた。

4. 太秦（太秦古墳群）遺跡 06－2 [整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査の整理事業である。調査では古墳時代から古代の方墳（周溝）、太秦（太秦古墳群）遺跡 06－1 で検出された溝の延長部などが確認された。出土遺物には縄文土器、弥生土器、須恵器、土師器などがある。調査後には、記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の実測などを行ない、その詳細は、平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良郡条里遺跡・砂遺跡』にまとめた。

5. 太秦（太秦古墳群）遺跡 06－3 [調査・整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査とその整理事業である。調査では、太秦（太秦古墳群）遺跡 03－1 で確認した 16・17・19 号墳の延長部や 27 号墳などを確認し、出土遺物には弥生土器、土師器、須恵器、埴輪などがある。調査後には、記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の実測などを行い、その詳細は平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良郡条里遺跡・砂遺跡』にまとめた。

6. 太秦（太秦古墳群）遺跡 07－1 [調査・整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査とその整理事業である。調査では、太秦（太秦古墳群）遺跡 03－1 調査区で確認した 15 号墳の延長部と、28 号墳、溝、竪穴住居などを確認し、出土遺物には弥生土器、須恵器、石製品などがある。調査後には、記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の実測などを行い、その詳細は、平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良

郡条里遺跡・砂遺跡』にまとめた。

7. 讃良郡条里遺跡 06－1 [調査・整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査とその整理事業である。調査では、弥生時代後期から平安時代にかけての流路や溝などを確認した。出土遺物には縄文土器、人面墨書土器、土師器、須恵器、製塩土器、木製品、石製品などがある。調査後には、記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の実測などを行い、その詳細は平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『寝屋東遺跡・太秦遺跡・太秦古墳群・大尾遺跡・讃良郡条里遺跡・砂遺跡』にまとめた。

8. 讃良郡条里遺跡 07－1 [調査]

讃良郡条里遺跡 03－1 で設定した調査区割 1 区南側の下水道建設部を 07－1－1、3 区北側の道路拡幅部を 07－1－2 として発掘調査を行った。07－1－1 では井戸を確認し、埋土から弥生時代後期末から庄内式古段階頃と考えられる土器片が出土した。井戸は 03－1 の 1・4 区で検出した弥生時代後期から古墳時代初頭の集落に伴うものと考えられ、集落が南側へ広がる可能性も示す。07－1－2 では人為的に埋め戻された土坑を確認し、弥生時代後期から庄内式頃と考えられる土器が出土した。

9. 讃良郡条里遺跡 03－4 [整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査の整理事業である。遺物の注記、接合、復元、実測などを行った。整理対象となった遺物は縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、黒色土器、瓦器、陶磁器などである。整理作業を進めることによって、現地調査で得られた遺構変遷過程や、集落や遺物の様相に時代性を加味することができ、当地における歴史環境とその変遷が明らかとなってきた。調査内容の詳細は、平成 20 年度に刊行の発掘調査報告書『讃良郡条里遺跡Ⅷ』にまとめる予定である。

10. 讃良郡条里遺跡 03－5・06－2 [整理]

平成 15 年から 18 年度に実施した 03－5・06－2 調査の報告書作成業務を、昨年度に引き続き行った。まず遺構の図面、写真の基礎整理を行い、続いて出土遺物のピックアップ、分類、接合、実測を行なった。昨年度分とあわせて 2100 点程度の遺物を報告書掲載遺物としてピックアップし、約 2000 点の実測を終えた。挿図のトレースにも着手し、約 6 割を終了した。また、遺物写真の撮影、写真図版の作成も行い、約 3 割の図版の版下を作成した。報告書の編集作業と原稿執筆も並行して進め、おおむね 800 頁のものとなる予定である。

11. 讃良郡条里遺跡 03－6・06－3 [調査・整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査とその整理事業である。讃良郡条里遺跡の西南部分を発掘調査したが（06－3）、調査面積が 45 m²と狭小であったため、条里区画に沿った古代の溝 1 条を検出するのみにとどまった。整理作業は平成 15 年から 18 年に行なった発掘調査（06－3）、および上記の調査内容を対象として行ない、その詳細は、平成 20 年度発行予定の発掘調査報告書『讃良郡条里遺跡Ⅶ』にまとめた。

12. 巢本遺跡 03－1 [整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査の整理事業である。調査は平成 16 年から 18 年にかけて行い、その後記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の復元、登録、実測などの整理作業を行なった。整理対象となった遺物は土師器、瓦器、須恵器、陶磁器、瓦、木製品、土製品などである。整理作業を進めた結果、



10. 古墳時代鉄剣

当地域の遺跡の変遷と土地利用の変化の過程が明らかになってきた。調査内容の詳細は、平成 19 年度に刊行した発掘調査報告書『巢本遺跡Ⅰ』にまとめた。

13. 巢本遺跡 03－2 [整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査の整理事業である。調査は平成 16 年から 18 年にかけて行い、その後記録した遺構の図面や写真の整理、遺物の復元、登録、実測などの整理作業を行なった。整理対象となった遺物は土師器、瓦器、須恵器、陶磁器などである。整理作業を進めた結果、「僧」と墨書された土器、呪符木簡、茶臼などから当地域で知られていなかった中世寺院の存在を推定できた。調査内容の詳細は、平成 20 年度に刊行の発掘調査報告書『巢本遺跡Ⅱ』にまとめる予定である。

14. 巢本遺跡 06－1 [調査・整理]

第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う発掘調査とその整理事業である。巢本遺跡は、門真市宮前町・巢本町に所在する。平成 18 年 11 月から行ってきた調査を平成 19 年 7 月に終了し、その後遺物の注記、復元、実測などの整理作業に着手した。調査では、巢本 03－1・巢本 03－2 調査で検出した堤や流路の延長部分などを確認した。出土遺物は土師器、瓦器、須恵器、陶磁器などである。調査内容の詳細は、平成 20 年度に刊行の発掘調査報告書『巢本遺跡Ⅱ』にまとめる予定である。

15. 私部南遺跡 06－1 [調査]

第二京阪道路の建設に先立ち、京阪電鉄交野線から前川までの範囲のうち、平成 18 年度は第 1～4 調査区を、平成 19 年度は第 3・5～14 調査区の調査を実施した。

調査の結果、第 1 遺構面（近世）、第 2 遺構面（中世）、第 3 遺構面（縄文時代晩期～平安時代）の遺構面と遺構・遺物を検出した。第 1・2 遺構面は水田や畠地として利用されており、第 3 遺構面は、複数の時期の遺構が密集する集落遺跡であることが判明した。

調査では古墳時代中期の V 字の形状をもつ溝を第 3・5・7・8・13 調査区で検出し、総延長が未調査区を含めて 175m に及ぶことが明らかとなった。また第 8 調査区では、古墳時代後期の竈をもつ竪穴住居が複数切り合った状態で検出された。また第 3・7・9 調査区では、昨年度の調査では検出できなかった奈良時代から平安時代の掘立柱建物を検出した。

昨年度の調査と合わせて、縄文時代中期末と晩期初頭の時期に一時的に利用され、弥生時代前期末～中期にかけて再び集落が形成されたのち、一時廃絶することが明らかとなった。その後古墳時代中期に V 字の形状の溝の掘削を嚆矢として、集落が展開・発展し、平安時代まで集落域として利用されたことが明らかとなった。

16. 私部南 06－2 [調査]

昨年度からの継続事業で、その残余部分の調査を行い、前回と同様、10 面におよぶ遺構面を確認した。

主だった資料には、第 8 面とした弥生時代前期遺構面です



15. 古墳時代後期竪穴住居跡



16. 弥生時代前期の石棒

二股鋤およびその柄と、広鋤未成品などを備蓄した木器貯蔵穴、第5とした弥生時代後期後半の面で検出された当該機の資料としては比較的古い段階の資料となるナスビ形鋤先や、全国的に見ても非常に類例の乏しい動物形土製品などがある。

17. 私部南 07－1〔調査〕

私部南遺跡 07－1 は、第二京阪道路の建設に伴う発掘調査である。調査地は交野市向井田・私部南に所在し、すでに発掘調査が終了している私部南遺跡 06－1 と私部南遺跡 06－2 に挟まれた部分にあたる。調査は、平成 19 年度より開始しており、現在も継続中である。

調査地は、交野山西麓に形成された扇状地堆積物上および開析谷にあたる。また扇状地堆積物を下刻して流れる 2 本の小河川に挟まれているため、これら小河川から溢流した堆積物によって、開析谷が次第に埋没し平坦化が進む大



17. 古墳時代遺構面

きな地形の変化が見られる。谷内には、中・近世段階の複数の耕作層が見られ、部分的に中世段階の耕作痕跡が基盤層を削っているのが確認できた。このことから急傾斜の谷底まで、中世段階から耕作域として利用していることが、今回の調査から確認できた。また、谷がほぼ埋没しある程度平坦で広い面積を確保できる耕作域が見られるのは近世段階に入ってからであると考えられる。この頃になってようやく谷は、地割りや小字名に名残を留めるのみとなり、昭和 43 年の航空写真に見られるような景観が成立したと考えられる。一方、尾根部分では、弥生時代後期後半の竪穴建物や、古墳時代中期から後期の竪穴建物・掘立柱建物、溝、土坑などを検出しており、谷に区切られた狭小な尾根部分には居住域が展開していたことが考えられる。また、谷への斜面部分で検出した古墳時代の井戸では、扉板を井戸枠に転用していることから、尾根部分では居住に供する建物のみではなく、モノを蓄える倉庫の存在が推測できよう。さらに、平安時代にも掘立柱建物も検出しており、尾根部の居住域と谷部の耕作域という土地利用がされていたことが考えられる。

18. 茄子作遺跡 04－1〔整理〕

平成 17 年度および 18 年度に調査した茄子作遺跡の調査成果について、前年度に引き続き、報告書作成作業をおこなった。本年度の作業内容は、報告書の編集作業、入稿、校正および印刷である。報告書の内容には、調査成果報告および自然科学分析成果を含む。本書では、特に調査区内よりまとまって出土した溶着痕跡をもつ初期須恵器に着眼し、近隣遺跡からの出土品と比較した詳細な検証を調査成果の一環として報告した。一連の作業は、平成 19 年 9 月の報告書刊行をもって完了した。

19. 津田遺跡 05－1〔整理〕

調査地は、生駒山系の北端、交野山西麓、標高 80 m 前後の高位段丘面に位置する。調査では領主層の館の可能性が考えられる、大溝と塀で囲まれた鎌倉時代の掘立柱建物群や、土塁状遺構を検出したのに加え、弥生時代中期前葉の竪穴住居 3 棟を検出した。調査中に作成した記録と、出土遺物の整理作業を関連付けて行いながら、図版作成と本文執筆をすすめ、調査成果を発掘調査報告書『津田遺跡』にまとめた。本書は平成 19 年 3 月 31 日に刊行された。

20. 津田遺跡 07－1〔調査・確認〕

津田遺跡 07-1 発掘調査は、津田新池の移設に伴う代替池範囲に関わる確認調査である。調査地は、周知の遺跡である津田遺跡の北辺部から遺跡範囲北側の谷地内におよぶ。今回の調査では、計 8 本のトレンチを設定

した。このうち谷本筋東側に設定したトレンチにおいて検出した落ち込みより、奈良時代中葉～後葉の須恵器・土師器類がまとまって出土した。また、中世の水田跡および大規模な溝状遺構を検出した。今回の調査成果により、津田遺跡はより北側へ範囲を広げることとなった。

21. 上私部遺跡 03－1・05－1 [整理]

上私部遺跡は交野市青山町に所在する。第二京阪道路（大阪北道路）の建設に伴う調査で新たに発見された、古墳時代後期の集落遺跡である。ここで報告する整理事業は、等遺跡で2回目に行われた調査に伴うものである。その成果は平成19年9月28日に刊行した発掘調査報告書『上私部遺跡Ⅱ』にまとめた。本文206ページと写真図版50からなる。そのなかで古墳時代集落の形態が、時期的にどのような変遷をたどるかを多角的に検討した。他方、遺物・写真・図面の収納作業、および各種台帳の作成を行って、整理作業を終了した。

22. 上私部遺跡 07－1 [調査]

上私部遺跡は交野市青山町に所在する。前回の調査区の北側に隣接する部分を調査した。今回の調査でも古墳時代集落の北側への広がりをとらえることができたとともに、それ以降の時期の土地利用の変遷を知ることができた。中でも特筆すべき調査成果はやはり、古墳時代集落の細部をさらに明らかにしえたことだろう。前回の調査でその存在が明らかとなった、周囲に区画溝を伴う掘立柱建物群の出入り口が、その北西隅に設けられていたことを把握することができた。今後は集落変遷を明確にし、その後の土地利用の変遷も明らかにしたいと考える。



22. 古墳時代建物群

23. 有池遺跡 07－1・上私部遺跡 07－2 [調査]

有池遺跡および上私部遺跡内における未調査地を対象とする調査である。今年度は、有池遺跡内を通る現市道の一部と、上私部遺跡範囲内に残る水路の一部について、発掘調査をおこなった。ともに現況は、生活道路・農業用水路であるため、移設を重ねながら、掘削作業を進めた。

有池遺跡（1-1区・1-2区・1-3区）の調査では、中世遺構面を検出した。本調査区周辺は、既往の調査により居館をもつ大規模な中世集落内の中央部であることが確認されている。今回の調査では、居館の周囲を方形にめぐる大溝の一角を検出した。また緻密な断面観察により、大溝の切りあい関係を確認し、遺構の時期差を明確にした。



23. 上私部 3－1 区古墳時代後期面

上私部遺跡（3-1区・3-2区）の調査では、地山上面において古墳時代後期の遺構面を検出した。今回の調査では、既往の調査によって検出されていた掘立柱建物5棟および竪穴住居2棟について、連続する柱列および周溝等を検出した。また、竈跡が良好に残存する竪穴住居1棟を、新たに検出した。

24. 上の山遺跡 05－1・05－2・06－1 [整理]

一般国道168号線ほか道路整備事業に伴って、おのおの平成17・18・19年度に発掘調査を行った地点3か所の遺物整理を行い、その成果を、当センター調査報告書第171集として一冊の本にまとめて刊行した。載録した主要内容には、環状木柱列にも比せられる縄紋時代後期の柱痕を伴う土坑群、弥生時代中期前葉で

は近畿地方最大級の規模となる長辺 16 m、短辺 11 m を測る大型方形周溝墓などがある。特に、後者に関しては、以前の調査で検出された独立棟持柱を持つ掘立柱建物との関連で注目される。

25. 上の山遺跡 07－1〔調査〕

今年度は 18 年度に実施した調査区の南（6 区）と北（3 区・4 区）で調査を実施した。6 区では中世以降の南北溝 1 条と水田耕作の痕跡が確認できた。出土した遺物には須恵器・土師器の小片と近代の陶磁器がある。3 区では溝・土坑を検出したが遺物は含まれず時期はわからなかった。4 区では不定形の溝・土坑を検出した。このうち溝からは弥生土器が出土しており周溝墓の一部である可能性がある。調査後遺物整理を行い、上の山遺跡Ⅲ（2008 年 2 月刊行）に報告を収録した。

26. 倉治遺跡 05－1・05－2・05－3・06－1〔整理〕

都市計画道路枚方大和高田線、天の川磐船線建設に伴い平成 17・18 年度に発掘調査を実施し、古墳時代の方形区画・溝、中世の沼状遺構を検出した倉治遺跡の遺物整理事業である。今年度は検出した遺構と出土した遺物に関する記録を整理し各種台帳類の作成とともに報告書の作成・遺物等の収録作業を行った。

遺物整理作業による成果は『倉治遺跡』として平成 20 年 2 月に刊行した。

b. 中部調査事務所

27. 吹田操車場遺跡 06－1〔調査〕

調査地は旧国鉄吹田操車場構内に位置し、大きく 3 箇所に分かれる。昨年度は最も東寄りを調査し、掘立柱建物 2 棟をはじめ井戸状遺構 1 基、群集土坑 312 基を検出した。今年度は引き続き西寄りの 2 箇所を実施した。その結果、弥生時代から近世にかけての微高地や谷地形などの自然地形を検出し、中世以降の耕地開発の過程を明らかにした。

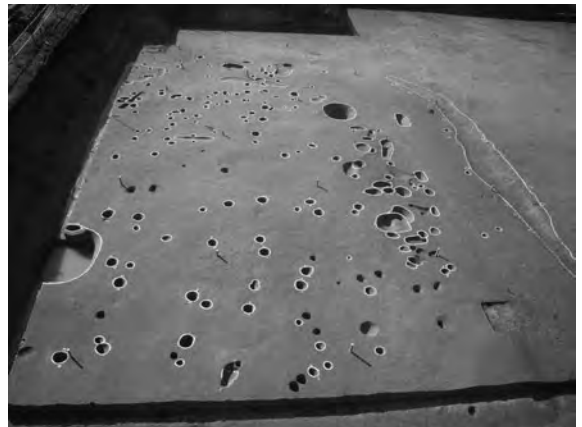
28. 吹田操車場遺跡 06－1〔整理〕

吹田操車場遺跡 06-1 調査終了後、引き続き整理作業に入った。作業は、最も東寄りの調査地で検出した群集土坑の性格を明らかにすることを主眼に置き、土坑の分布状況・埋土・遺物出土状況・出土遺物の状態などに加え、周辺地域の調査事例なども参考にしながら検討を加えた。その結果これら群集土坑は、千里古窯跡群と関連の深い粘土採掘坑と判断するに至った。西寄りの調査地の整理結果をもまとめ、年度末に整理作業を完了した。

29. 吹田操車場遺跡 07－1〔調査〕

吹田信号場基盤整備工事に伴う発掘調査を行っている。奈良・平安時代の集落跡と、大正時代に操車場が建設される直前まで連綿と続いた耕作面を検出した。

掘立柱建物、溝、井戸等で構成される奈良・平安時代の集落は微高地上を中心に展開し、地形の低い箇所は耕作地として使用されていた。当時の地形に合わせて土地が利用されていたことが判明した。この集落が廃絶した後は、土地の平坦化が進み、広範囲に耕作地が広がったと考えられる。



29. C 7 地区南半部全景

30. 勝部遺跡

大阪国際空港周辺緑地造成工事に伴い、1・2調査区に合計5箇所のトレンチを設定し、調査を実施した。1調査区では、近世の耕作面を2面、中世の遺構面を2面検出した。中世の遺構はピットや土坑・溝が調査区の南半に集中し、集落の一部と考えられる。2調査区では、近世の耕作面および中世の遺構面を検出した。中世の遺構はピットや土坑・溝で構成されており、やはり集落の一部であろう。

31. 玉櫛遺跡 06－1〔整理〕

茨木市玉櫛二丁目に所在する遺跡で、府営住宅の建て替えに伴い、平成18年度に発掘調査を実施した。平成19年度は、遺物整理事業として報告書作成作業を行った。

特筆すべき遺物に、古墳時代の土坑から出土した木製鞍前輪がある。土師器、須恵器、馬骨等と共伴しており、6世紀中葉のものと思われる。そのほか中世の各遺構面から、常滑焼三筋壺、高麗象嵌青磁片、輸入陶器片、短刀、呪符木簡（蘇民将来）、漆器等が出土している。

32. 山賀遺跡 03－1・05－1〔整理〕

平成16・17年度の調査成果を、『山賀遺跡』（当センター第163集 2007年9月28日）として刊行した。遺構の代表は、弥生時代前～中期の溝群と木棺墓群、後期の水田面。遺物は多種多様多量で、弥生時代前期の「垂飾」形木製品、前期から中期の弥生土器群、未成品を含む石剣・石鏃・石庖丁などの石器、高杯・匙・農具などの木器類、イノシシ（ブタ）・イタチなどの動物骨もある。微化石分析、石材産地同定、動植物同定、年輪年代測定、レプリカ作製報告など多岐にわたる分析の成果も盛り込んだ。

33. 新上小阪遺跡 05－1〔整理〕

大阪府営東大阪新上小阪（第2期）住宅（建て替え）建設工事に伴い、平成17～18年度にかけて実施した発掘調査についての遺物整理事業である。調査では主に、弥生時代後期の集落、弥生時代中期の水田、弥生時代中期の大溝群などを検出した。特に弥生時代後期の集落では竪穴建物、掘立柱建物、土坑など多くの遺構を検出し、遺構内から良好に遺物が出土した。それらを中心に整理を行い、報告書を作成、『新上小阪遺跡Ⅱ』を刊行した。

34. 植松遺跡 05－1〔整理〕

平成17・18年度に実施した、大阪府八尾植松住宅建て替えに伴う発掘調査の報告書作成事業を、実施した。当発掘調査では、古墳時代から平安時代初頭に至る旧大和川の支流を確認した。

昨年度の整理作業に引き続き、挿図のトレース、挿図・写真図版のレイアウトや原稿執筆、編集作業を行ない、9月に『植松遺跡』として刊行した。また、それと併行して遺物・図面類のデータベース化、収納作業等を行なった。

35. 池島・福万寺遺跡 05－1〔整理〕

本調査地は福万寺Ⅱ期地区の南東部に位置する。弥生時代には大きく3時期の水田が営まれ、弥生時代後期末～古墳時代になると調査地の一部が居住域となり、平安時代以降は継続して耕作地として利用された。古墳時代前期後半の遺構（224・240土坑）に大量に投棄された土器が、布留式後半古段階の一括資料で、布留式土器とともに退化した庄内・弥生系の土器が共伴し、この時期の土器編年研究に重要な資料が得られた。遺物の実測、遺構図等の整理、報告書刊行に向けての本文執筆を行った。

36. 池島・福万寺遺跡 05－2〔調査・整理〕

平成17年度から継続して実施している恩智川治水緑地建設に伴う調査である。平成19年度は弥生時代前期と縄文時代後期の遺構面の調査を行なった。弥生時代前期の遺構面からは、小区画水田を検出したほか、地

形の傾斜にしたがって南東から北西方向に流下する溝を検出した。これらの成果を受けて、現地公開や地元小学校の児童を対象とした見学会を実施した。現地での調査を終了した後、遺構図の整理、遺物実測など、報告書刊行に向けた諸作業を行なった。

37. 池島・福万寺遺跡 06－1〔調査〕

前年度から継続して実施している恩智川治水緑地建設に伴う調査である。調査地は福万寺Ⅱ期地区北東に位置する。今年度は中世から弥生時代前期までの遺構面を部分的な検出も含め 25 面近く調査を行った。変化していく自然地形と、これを利用する人の土地利用の関係に留意した。

中世では水田・島畠・畠といった土地利用のあり方の変化とともに、5 段階に及ぶ水路の変遷も明らかにした。水路埋土からはこけら経の一部が出土している。古代の遺構面は遺存状態が不良であったものの、墨書を持つ坏が埋納されたピットなどを検出した。古墳時代では過去の流路が埋没した結果形成された高まりが存在し、ここを中心に耕作に係わると思われる溝やピットを検出した。

弥生時代後期は調査区中央に大きく蛇行する流路が存在し、これはⅠ期地区で確認されている流路の上流部に相当する。東岸からは水路・水田畦畔が良好に検出された。水路は過去に破堤した際の堆積物により形成された微高地上に掘削されている。この遺構面を対象に 12 月 8 日に現地公開を行った。蛇行流路の形態の変化を遡りながら調査を進めると、この時期の一端を示す後期前半の土器が流路の泥質な堆積物中からまとまって出土した。中期にも流路はほぼ同じ場所に存在したと想定され、両岸とも水田畦畔が検出され、当調査区付近では水田が広がっていたことが明らかとなった。後期のものと比較すると水田一面の区画が大きいことが指摘できる。前期は比較的起伏のある場所で、積極的に利用されていた痕跡は見られなかった。



37. 弥生時代後期の流路・水路・水田

38. 池島・福万寺遺跡 06－2〔調査〕

調査地は、恩智川治水緑地の池島Ⅰ期地区とⅡ期地区の接続する副越流堤の東側に所在し、平成 18（2006）年度から 19（2007）年度にかけて調査を実施した。平成 19 年度は中世前半から縄文時代晩期にかけての各遺構面を調査した。

中世前半の各遺構面では、河内郡字河十七ノ坪と二十ノ坪の坪境畦畔および条里地割に伴う南北方向の畦畔を検出した。古代の面では、条里坪境の溝を検出した。また調査



38. 弥生時代前期末～中期初頭の遺構

区東半の十七ノ坪では、耕作に伴うと考えられる南北を指向する溝を多数検出した。古墳時代の面では、調査区西側で検出された水田域付近において、小形仿製鏡が出土した。弥生時代後期および中期中葉の面では、自然流路、水田畦畔、杭列などを検出した。また中期中葉の面では、調査区中央の微高地において、畑作に伴う可能性が考えられる畝間溝を検出した。弥生時代前期末から中期初頭の面では、調査区東側の東西幅 10 数 m の微高地で、比較的多数のピットや被熱土坑などから構成される、集落の一部分と推定される遺構群を検出した。これら遺構からは土器や石庖丁のほか、被熱した小動物の骨なども出土している。弥生時代前期の面では、調査区東南部において水田を検出した。水田一枚あたりの面積は 4～7 m²である。水田の縁辺には水路と考え

られる溝が掘削されていた。また調査区中央部分では、地震に伴うと考えられる断層を確認した。

39. 池島・福万寺遺跡 07-1

一級河川恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査事業である。Ⅱ期地区北端に位置し、隣接地で先行して実施されている 06-1 調査区との関係から、大きく東西の 2 調査区に分割して調査を行った。平成 19 年度はこのうち西調査区から先行して掘削を開始し、調査区内のⅡ期地区堤体の整形を含めて 3 面まで調査が及んだ。主たる遺構は条里地割に規制された中世の水田、島畠であり、度重なる洪水の痕跡とその修復過程がうかがえた。

40. 池島・福万寺遺跡 07-2 [調査]

調査地は池島Ⅱ期地区の南西部に位置する。今回の調査地は、これまでの調査地同様に条里型地割が良好に残る地域で、河内郡字河の二十一、二十二ノ坪にまたがっている。

本年度は、近世に相当する第 2 面の調査を行なった。遺構面は氾濫堆積物によって覆われていたため非常に残りが良く、坪境畦畔・島畠・水田・溝・井戸・足跡などを検出した。耕作地のため、出土遺物は少ないが、陶器・磁器・瓦片などが出土している。

c. 南部調査事務所

41・42. 三宅西遺跡 04-2・3 [整理]

松原市内における都市計画道路大和川線外建設に伴う調査で、昨年度に引き続き整理作業を実施した。

主な成果としては、縄文時代後期の良好な一括資料の出土、弥生時代中期前半の集落の検出、古墳時代の流路とそれに伴う百済土器を含む一括資料の出土などがあげられる。また、弥生集落において、サヌカイト剥片の接合資料が多くみられ、石器製作に関わる集落として特徴的な様相を呈している。

今年度は、遺物実測と遺構トレースが中心で、平成 20 年度の報告書作成に向け進行中である。

43・44. 三宅西遺跡 07-1・2 [調査・整理]

都市計画道路大和川線外建設に伴う調査のうち、未着手であった 04-2 調査区の中央部分と南西端部の調査を実施した。弥生時代中期前半の集落にあたり、竪穴住居やピット群・土坑・溝・自然流路などを検出した。さらに調査区南側で、道路拡幅工事に伴う調査も実施し、南北方向の流路を確認した。

現地調査と平行して、整理作業にとりかかっている。遺物は、弥生土器のほか、サヌカイト製石器やチップが多くみられ、石器製作に関わる資料を多く得ることができた。



41・42. サヌカイト剥片接合資料



43. 弥生時代の竪穴住居

45・46. 池内遺跡 05－1・池内遺跡 05－2〔整理〕

阪神高速道路大和川線及び一般道路八尾線建設に伴う発掘調査で出土した遺物を対象としたものである。2カ年の整理期間の初年度にあたる。

両調査では縄文～近世にかけて複数の遺構面を確認したが、その中でも特筆すべき成果として平安時代の掘立柱建物群と弥生時代前期中頃の水田・環濠集落の良好な遺構、両期の多岐にわたる豊富な遺物の存在が挙げられる。

今年度は遺物の洗浄・注記・復元・実測と記録図面や現場写真の整理などの基礎的作業を中心に行った。



45. 流路出土土器（弥生時代前期）

47. 池内遺跡 07－1〔調査〕

池内遺跡 07-1 は、平成 19 年 7 月に調査に着手し、10 月に終了した。調査面積約 760 m²である。3 層上面では鋤溝を検出するとともに東端で南北方向を示す幅が広い大溝の一部分を調査した。5 層上面では、古墳時代の井戸や奈良時代頃の小さな掘立柱建物 3 棟、溝、土坑、柱穴などを検出した。5 層は自然流路が調査区内北半部を北東から西側に流れて形成している。9 層上面では黒褐色砂質土層を検出したが、起伏が認められたものの遺構は認められなかった。10 層上面では土坑や風倒木痕、自然流路などを検出した。

48. 湊遺跡 06－1〔整理〕

南海本線連続立体化事業に伴う湊遺跡他発掘調査のうち、上町東遺跡 05-1・湊遺跡 05-1・湊遺跡 06-1 の発掘調査の整理作業・報告書作成を 2007 年 6 月 1 日から 2008 年 2 月 29 日まで行い、「(財)大阪府文化財センター調査報告書第 170 集泉佐野市湊遺跡他Ⅲ」として刊行した。

上町東遺跡の中世集落の存続期間に関し、従来とは異なる見解を提出できた他、近世土錘の法量的分析も行い、湊遺跡に関しては、豊富に出土した製塩土器の基礎的データも提示できた。

49. 堺環濠都市遺跡 06－1〔調査・整理〕

大阪府住宅供給公社少林寺・B 団地建て替えに伴う調査を昨年度に引き続き実施した。調査地は堺市堺区少林寺東 3 丁地内に所在し、堺環濠都市遺跡の南東部に位置する。

昨年度の調査区の北側に新たな調査区を設定し、17 世紀前半から 19 世紀まで連綿と続く近世町屋及び大坂夏の陣直前の礎石建物、環濠都市『堺』を象徴する 4 条の環濠を検出することが出来た。

4 条の環濠は都市南限を画するものである。全てが同時存在ではなく、短期間の間に掘削と埋め戻しを繰り返しながら、都市域を拡張するかのよう、北から順に少しずつ南へ位置をずらして形成されていた。調査区の北端に掘削された濠は幅 16m・深さ 4.2m の巨大な規模で、16 世紀後半には機能しており、その後土塁の土砂を利用して埋め戻されていた。なお、この濠はこれまでの堺環濠都市遺跡の調査において確認された濠の中でも最大級の規模をもつ。



49. 環濠全景（北から）

また、大坂夏の陣直前には調査区南端で検出した濠が掘削される。この濠は元禄大絵図にその痕跡を留めていないため、大絵図完成までの時間の中で徳川幕府による堺再建プロジェクトによって埋め立てられ、町屋へ

と変貌を遂げたことが明らかとなった。

調査終了後、多岐にわたる遺物の洗浄・注記・接合・実測、遺構図・写真・台帳等の整理、報告書刊行に向けての本文執筆を行ない、平成 19 年度 3 月 31 日『堺環濠都市遺跡Ⅱ（SKT960 地点）』を刊行し、収納作業を経て全ての業務を完了した。

50. 堺環濠都市遺跡 06－2〔調査・整理〕

戎之町団地建替えに伴う発掘調査を平成 19 年 5 月まで実施し、その後整理作業を経て、報告書を刊行した。

19 世紀前半～16 世紀前葉で 7 面の遺構面を調査し、検出遺構約 700 基、出土遺物コンテナ 750 箱を数えた。

大坂夏の陣被災面以下の遺構面で、塼列建物や礎石建物を多く検出した。出土遺物では貿易陶磁器が注目される。15 世紀後葉～18 世紀初葉では、中国産のほか、朝鮮王朝産、ベトナム産、タイ産のものがある。18 世紀末以降では、イギリス製軟質磁器と清朝磁器、オランダ製ワインボトルや銀製指輪も出土した。



50. オランダ製ワインボトル

51. 史跡池上曽根遺跡 07－1〔調査・整理〕

昨年度に引き続き、第 2 期史跡整備事業に伴う発掘調査を実施した。調査区はこれまでの大型建物から北側一帯の調査が北東部を中心としてきたので、「大型建物」の真北の様相を解明するため北 55 m の地点に設定した。調査では弥生時代中期後半の柱穴・土坑を多数検出した。これにより大型建物から北側一帯に掘立柱建物を主体とする集落域が広がっていることが判明した。



51. 弥生時代中期後半の遺構面

52. 下池田遺跡 07－1〔調査〕

下池田遺跡は、岸和田市下池田町に所在する遺跡で、北東の天の川と南西の春木川に挟まれた丘陵上に立地する。過去の調査において、弥生時代中期後半～後期前半の円形の竪穴住居が 13 棟、掘立柱建物が 1 棟、土器が多量に出土する溝、周溝墓 5 基と流路が検出されている。周溝墓の中には前方後円形を呈したものがあり、和泉地域における唯一の例として著名な遺跡である。

調査地は、近世の大規模な土地開発による削平が著しく、水田耕作土の直下に基盤層（地山層）があらわれる。そのため、耕作土を掘削した直下で遺構を検出しており、遺構面は多くの部分が 1 面のみであった。



52. 土器が多量に出土する溝

主要な遺構としては、竪穴住居・溝・流路・土坑・井戸・土器棺墓を検出した。これらは、いずれも弥生時代～古墳時代にかけてのものである。特に、弥生時代後期～庄内式併行期の土器が多量に出土する溝は、過

去の成果に追随するものであり、今回の調査で検出された溝を含めた総延長はおよそ 170 m にもなる。また、この溝を挟んで北側には遺構が集中するが、その南側では、複数の流路が確認できるものの、遺構は希薄となることがわかった。このことから、集落の中心部はさらに北側にあると推測される。

調査地の多くで粘土採掘坑を検出し、坑底からはレールや犬釘が出土した。採掘坑は、近代の煉瓦製作のための土取り跡で、レールや犬釘は、採掘した粘土を運搬し採掘坑を埋め戻すために使用したトロッコ用であることが判明した。岸和田市における近代の様相の一端も垣間見ることができた。

53. 大和川今池遺跡 07 - 1〔調査〕

都市計画道路大和川線及び都市計画道路堺松原線一般府道住吉八尾線)の建設事業に伴う調査である。調査地は大和川南岸堤防と今井戸川・今池水みらいセンターとの間に位置する。

今回の調査では飛鳥時代から近世にかけての遺構を検出し、中でも注目される遺構として「難波大道」と呼称されている道路遺構を検出した。道路遺構は南北方向 46 m に亘り一直線に延び、両側には側溝を伴うものである。規模は側溝

心間約 18.5 m、道幅 17.5 ～ 18 m である。両側溝の規模は東側溝が幅 2.0 m ～ 2.9 m、深さ 0.1 ～ 0.7 m、西側溝が幅 1.5 m ～ 1.7 m、深さ 0.3 ～ 0.7 m である。この道路遺構は調査地から南方に位置する今池処理場建設に伴い行われた昭和 54 年度・平成 6 年度の発掘調査においても検出されている。その成果と合わせると総延長約 280 m に及び、この道路の存在がより確実となった。側溝や地層からの出土遺物は少量であるが、道路の存続期間は 7 世紀中葉以降に敷設され 10 世紀頃には耕作地となったと考えられる。

そして新たな知見として、道路廃絶後に道路遺構のほぼ中央に南北方向の畦畔が造られたことが判明した。この畦畔は摂津国と河内国の国境と一致し、現在では堺市と松原市の市境として踏襲されている。

54. 大和川今池遺跡 06 - 1〔調査・整理〕

昨年度に引き続き調査及び整理を行った。遺構密度は、地形が高まっている東側(阿麻美許曾神社参道の西側)と西端(今池水みらいセンターの東側)で濃く、その間の調査区では複数面の条里水田が検出された。東側の調査区では、弥生時代後期～古墳時代前期の土坑、古代の掘立柱建物に加え、方墳(約 16 m × 18 m)の検出があった。墳丘は削平され、主体部も検出されなかったが、埴輪棺の他、周濠からは家形埴輪、円筒埴輪、石製臼などの出土も見られた。他に、時期を異にする埴輪を転用した井戸なども見られた。

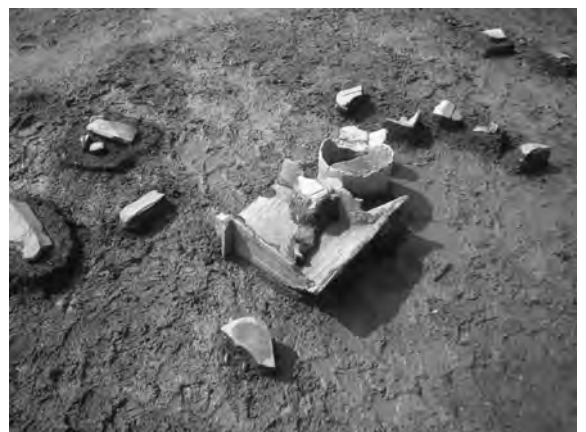
55. 船橋遺跡 07 - 1〔調査・整理〕

柏原市大正に所在する。縄文時代から中世まで 5 つの遺構面を調査し、飛鳥時代の遺構面で掘立柱建物・柵列・溝・土坑からなる居住域を検出した。掘立柱建物は規模が 13.4 × 3.8 m を測る大規模なものが認められるなど、集落の性格を考える上で重要な成果を得ることができた。

遺物は、平面円形のガラス小玉鋳型や用途不明土製品、同心円タタキを施す移動式竈などが出土したほか、



53. 難波の大道



54. 家形埴輪等出土状況

飛鳥Ⅱ期を中心とした土師器・須恵器がまとまって出土している。遺物の実測、遺構図等の整理、報告書刊行に向けての本文執筆を行った。

56. 上田町遺跡隣接地〔確認〕

上田町隣接（確認）遺跡 07-1 は、松原市上田 6 丁目地内に所在し、（仮称）松原ポンプ場建設に伴う工事の事前調査である。平成 19 年 10 月から平成 20 年 3 月の期間で、調査面積約 1508 m²である。約 2 万 m²の松原高等職業技術専門校の跡地に、7 本のトレンチを設定し、深さ 1.6 ～ 3.5 m の掘削を行い、古墳時代前期の包含層。中近世の水田・畠・井戸、旧樋野ヶ池を検出した。遺物には、古墳時代土師器、中期以降の須恵器、中世の瓦器・土師器・陶磁器・瓦、近世の土師器・陶磁器などが出土し、新規発見の若山遺跡となった。



55. 飛鳥時代の掘立柱建物

保存処理事業

(1) 泉大津市教育委員会依頼の遺物保存処理と展示施設の環境調査

平成 19 年度、泉大津市立弥生体験館展示大型井戸杵の劣化状況調査のために展示環境を点検し、温度・湿度の管理に関する対策を実施した。また、大園遺跡から出土した大型井戸杵の保存処理を行った。

(2) 平成 19 年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	大型木製品	整理・点検	2000 点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	500 点
池島福万寺遺跡	木製品	整理・点検	300 点
久宝寺遺跡	木製品	整理・点検	250 点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD 処理	30 点
茄子作遺跡	木製品	PEG-FD 処理	200 点
山賀遺跡	木製品	PEG-FD 処理	188 点
大坂城Ⅲ遺跡	大型木製品	PEG-FD 処理	200 点
植松遺跡	木製品	PEG-FD 処理	32 点
新上小阪遺跡	木製品	PEG-FD 処理	50 点
花屋敷遺跡	木製品	PEG-FD 処理	125 点
奥山遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	49 点
讃良郡条里遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	11 点
瓜生堂遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	23 点
新上小阪遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	149 点
久宝寺遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	67 点
久宝寺遺跡	木製品	修復作業	100 点
茄子作遺跡	植物遺体	分類・鑑定	340 点
山賀遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 10 箱
新上小阪遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 5 箱
吹田操車場遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 30 箱
池島福万寺遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 20 箱
玉櫛遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ 5 箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 50 点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

(4) 現地説明会等

平成 19 年度現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

開催年月日	遺跡名	参加者数	種別	備考
2007.04.19	堺環濠都市遺跡 06-2（戎之町）	135	現地公開	地元
2007.05.09	私部南遺跡 06-1	72	現地公開	地元
2007.05.17	池島・福万寺遺跡 05-2	43	現地公開	北山本小学校生徒 40 人、引率 3 人
2007.05.18	池島・福万寺遺跡 05-2	90	現地公開	地元
2007.05.22	池島・福万寺遺跡 05-2	124	現地公開	池島小学校 120 人、引率 4 人
2007.05.26	堺環濠都市遺跡 06-1（少林寺）	821	現地説明会	一般
2007.06.24	吹田操車場遺跡 06-1	88	現地説明会	一般
2007.06.30	大和川今池遺跡 06-1	137	現地公開	地元
2007.07.07	私部南遺跡 06-1	157	現地公開	地元
2007.10.06	私部南遺跡 06-1	140	現地公開	地元
2007.12.08	池島・福万寺遺跡 06-1・06-2	90	現地公開	地元
2008.02.16	下池田遺跡 07-1	163	現地公開	地元
2008.02.17	吹田操車場遺跡 07-1	152	現地説明会	一般
2008.03.15	私部南遺跡 07-1	175	現地公開	地元、子供

1. 堺環濠都市遺跡（戎之町）現地公開 平成 19 年 4 月 19 日

平成 19 年 3 月 10 日の現地説明会で公開した大坂夏の陣による被災面に続き、その下層にあたる天正期の遺構面を地元向けに現地公開した。

埴列建物の蔵と礎石建物が立ち並んだ状況で、複数棟検出された。路地や通路も確認され、15 世紀末の発展した堺の街並を知ることができる。埴列建物は、絵図などで見られる 3 階建ての蔵と考えられている。そこで多くの方々に、現在の地割りとはまったく異なる、当時の町屋の様相を体験してもらうため、現地公開を開催した。参加者は 135 名であった。



1. 堺環濠都市遺跡 06-2（戎之町）現地公開

2. 私部南遺跡 06－1 現地公開 平成 19 年 5 月 9 日

昨年度から継続中の調査である。5 月 9 日の現地公開では、第 3 調査区の公開を行った。

現地公開は第 3 遺構面で実施し、弥生時代中期前葉の土坑、古墳時代後期の竪穴住居、掘立柱建物、溝、土坑、奈良時代～平安時代の掘立柱建物について説明を行った。律令期の官人の所在を示す鍔帯が出土したこともあり、掘立柱建物や遺跡の性格について多くの質問が寄せられた。

当日は平日にもかかわらず、地元の方を中心に 72 名の参加があり、「今後もこうした機会を設けて欲しい」との要望が多く寄せられた。

3. 池島・福万寺遺跡 05－2 平成 19 年 5 月 17 日

05－2 調査区では、現地公開に先立って、平成 19 年 5 月 17 日（木）に八尾市立北山本小学校の 6 年生 41 名を対象として現場を公開した。

生徒達は、検出された弥生時代の水田を見た後、出土土器や復元した農具などについての職員の説明を熱心に聞き、質問も積極的に行なっていた。特に復元農具については、現代との比較もあって、「昔は大変だったんだなー」という感想を残して帰っていった。

4. 池島・福万寺遺跡 05－2 平成 19 年 5 月 18 日

05－2 調査区では、小学校の現場見学とは別に、平成 19 年 5 月 18 日（金）に周辺住民を中心とした一般の人々を対象として現地公開を行なった。

平日ではあったが、90 名が現場を訪れ、検出された弥生時代前期の水田を見学した後、出土遺物などについての職員の説明を熱心に聞いていた。現場周辺にある現代の水田とも見比べ、その違いを実感してもらうことができた。



4. 池島・福万寺遺跡 05-2 現地公開

5. 池島・福万寺遺跡 05－2 平成 19 年 5 月 22 日

平成 19 年 5 月 18 日（金）に府民の方を対象とした現地公開を開催したが、翌週の 5 月 22 日（火）には、地元東大阪市池島小学校の 6 年生児童 120 名と引率の先生 4 名の見学を受け入れた。

生徒達は、昔の人が使った道具に触れ、きれいに検出された水田跡を見て、こんな身近な所に学校で習った弥生時代の米づくりの跡があった事に驚き、職員の説明に眼を輝かせて聞き入っていた。

6. 堺環濠都市遺跡 06－1（少林寺）現地説明会 平成 19 年 5 月 26 日

平成 19 年度の調査では、「黄金の日々」と謳われ、繁栄を極めた自治都市堺の遺跡名にも冠されている環濠を 4 条検出したこともあり、現地説明会を開催した。

公開対象の調査区では、都市南限を画する環濠 4 条、江戸時代の井戸などを見学に供し、加えて各濠から出土した陶磁器・木製品・動物遺存体などを展示した。新聞報道で大きく取り上げられたこともあり、参加者は地元堺市を中心に、遠くは茨城・広島県などから 821 人であった。また、5 月 21 日には隣接する少林寺小学校の 5 年生約 40 人が、23 日には同小学校 1・3 年生及び大仙西小学校 6 年生計



6. 堺環濠都市遺跡 06-1（少林寺）現地説明会

110 名も見学に訪れた。

7. 吹田操車場遺跡 06－1（現地説明会） 平成 19 年 6 月 24 日

吹田操車場遺跡 06－1 は、昨年度に引き続き西寄りの 2 箇所の調査区の現地説明会を実施した。生憎の雨天ではあったが、88 名の参加者があった。

8. 大和川今池遺跡 06－1 現地公開 平成 19 年 6 月 30 日

平成 18 年度の調査では弥生時代後期や古代の遺構が確認され、加えて平成 19 年度の調査では方墳の検出もあり、地元向けの現地公開を行った。公開対象の調査区では、弥生時代後期の土坑、古墳時代の方墳、古代の掘立柱建物などを見学に供し、加えて弥生土器、埴輪、石製臼などを展示した。参加者は、地元松原市の方々を中心に 137 人であった。地元の方からは、近くに古い時代のものが埋まっているのは少々驚きでした、との感想もあった。また、翌 7 月 1 日には、近隣の天美西小学校 6 年生 99 人も見学に訪れた。



8. 大和川今池遺跡 06-1 現地公開

9. 私部南遺跡 06－1 現地公開 平成 19 年 7 月 7 日

7 月 7 日の現地公開では第 5～7 調査区の公開を行い、うだる様な暑さの中、地元の交野市の方々を中心に 157 名の方々が参加された。また、同時に私部南遺跡 06－2 ので出土した遺物や写真パネルでの展示も行った。

現地公開は第 3 遺構面で実施し、第 5・第 6 調査区では弥生時代中期前葉の土坑、古墳時代後期の掘立柱建物や溝、土坑など、第 7 調査区では平安時代の掘立柱建物群について説明を行った。またテント内で行った出土遺物の展示では、初めて見る出土木器に興味を示される方が多く、見学者が担当者に対して熱心に質問を投げかける姿がみられた。

10. 私部南遺跡 06－1 現地公開 平成 19 年 10 月 6 日

10 月 6 日の現地公開では、第 8・9 調査区の公開を行い、当日は好天にも恵まれ、140 名の参加を得た。

今回の調査区でも、第 3 遺構面で現地公開を実施し、第 8 調査区では竈をもつ古墳時代後期の竪穴住居、第 9 調査区では古墳時代後期～平安時代の掘立柱建物を中心に説明を行った。両調査区とも複数の遺構が切り合う状態で検出されたため、看板に時期別の印を付けるなどの工夫を行った。また、出土遺物が触れられるコーナーを設置したところ、子供から大人に至るまで好評を得た。

昨年度から合計 4 回の説明会・公開に毎回出席していただいた方から「遺跡が身近になった」という声も聞かれた。

11. 池島・福万寺遺跡 06－1・06－2 現地公開 平成 19 年 12 月 8 日

06－1 では弥生時代後期、06－2 では弥生時代中期面を一般に公開した。現場内では水田や生活面を公開したほか、足跡掘り体験を実施した。出土遺物の展示以外にも、石包丁レプリカで雑草の刈り取り体験や、土器の器種当てクイズなどの工夫を行った。参加者数は 124 名。

12. 下池田遺跡 07-1（現地公開）平成 20 年 2 月 16 日

大阪府営岸和田下池田住宅民活プロジェクトに伴う発掘調査で、竪穴住居・溝・流路・土器棺墓を検出したことにより、地元住民に広く地域の歴史を知っていただくため、現地公開を実施した。

今回検出した弥生時代後期～庄内式併行期の土器が多量に出土する溝は、土器が廃棄されている状況を、また、近代の煉瓦用粘土採掘に際して使用したレールも合わせて見学していただいた。遺物展示では、溝から取

り上げた土器と、竪穴住居から出土した遺物を展示した。当日は、雪が降る寒い1日であったが163名もの参加者を得ることができた。

13. 吹田操車場遺跡 07-1 現地説明会 平成 20 年 2 月 17 日

平成 20 年 2 月 17 日（日）に現地説明会を行った。寒風吹きすさび、時折みぞれの混じる中での開催ではあったが、152 名の参加者を得ることができた。

列車が往来する信号場駅構内の調査であり、危険を伴うため、バスに乗車して集合場所から現地へ向かった。掘立柱建物、溝、井戸等で構成される奈良・平安時代の集落跡を中心に見学していただいた。

見学者は地元の方々が多く、厳冬にもかかわらず時間をかけて遺構や出土した遺物について質問され、とても熱心であることが印象的であった。

14. 私部南遺跡 07 - 1 現地公開 平成 19 年 3 月 15 日

今回の現地公開にあたっては、特に子供を意識し、そのための広報や遺物展示方法に工夫をこらした。その内のいくつかは、遺物のシルエットクイズや、縄文時代から飛鳥時代にかけての人物塗り絵、土器の接合を企画し、実施した。特に、土器の接合は大好評であった。また、塗り絵は、参加者の持ち帰りとして配布したため、お土産として持ち帰る大人の参加者も多数いた。また、参加者は計 175 名で、近隣の方の参加が全体の 84 % であり、地域密着型の現地公開としても有意義であった。



12. 下池田遺跡 07-1 現地公開



13. 吹田操車場遺跡 07-1 現地説明会



14. 私部南遺跡 07-1 現地公開（子どもコーナー）

4. 普及啓発事業

A. 文化財講演会事業

(1) 府立三博物館館長・(財)大阪府文化財センター理事長 リレー講演会

弥生文化博物館、狭山池博物館と近つ飛鳥博物館の府立三博物館館長に(財)大阪府文化財センター理事長の四氏によるリレー講演会を実施した。

本年のテーマは「歴史を作った人々」である。いずれの館でも、定員を上回るほど盛況であった。

	日 程	内 容	参加者数
第1回	1月14日(月振休)	「倭王卑弥呼」 弥生文化博物館館長 金関 恕	366 人
第2回	2月23日(土)	「僧 行基」 狭山池博物館館長 工楽 善通	230 人
第3回	3月23日(日)	「考古学から見た継体天皇」 近つ飛鳥博物館館長 白石 太一郎	480 人
第4回	3月30日(日) 各 14:00 ~ 15:30	「崇神天皇」 (財)大阪府文化財センター 理事長 水野 正好	345 人

(2) 重要調査に基づくシンポジウムの開催

大阪府下の弥生時代後期の竪穴建物に注目し、最近の重要な調査事例と研究成果に建築史からの視点も加味して、大阪歴史博物館4階講堂においてシンポジウム「弥生人の住まいを探る―長原遺跡・久宝寺遺跡・八尾南遺跡―」を開催した。

＊共催 財団法人大阪市文化財協会・大阪歴史博物館

＊後援 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会

平成19年12月16日(日) 13:00 ~ 16:45 参加者数: 約200人(関係者含む)

発表1 弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴建物の平面形態と規模について

財団法人大阪市文化財協会 学芸員 杉本 厚典

発表2 置き去られた土器からみた竪穴建物の利用状況

財団法人大阪府文化財センター 係長 三好 孝一

討 論

コーディネーター 芦屋市教育委員会文化財担当 主査 森岡 秀人

コメンテーター 京都府立大学人間環境学部 教授 大場 修

パネリスト 杉本 厚典・三好 孝一

本事業は、平成19年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

(3) 職員による文化財調査に関する講演会の実施

歴史体験隊

平成 19 年度は、日本民家集落博物館を会場として下記のとおり実施した。

回	日時	タイトル	講師	場所	参加者
1	11 月 18 日 (日) 11 時～ 15 時	秋を探しに行こう	橋本俊範	カルチャア はっとり	18 名
2	12 月 22 日 (土) 11 時～ 15 時	粘土で遊ぼう	宮田佳代	白川の民家	19 名
3	1 月 27 日 (日) 11 時～ 15 時	昔の明かりを作ろう	宮田佳代	カルチャア はっとり	19 名
4	2 月 24 日 (日) 11 時～ 15 時	土鈴を作ろう	三好孝一	カルチャア はっとり	16 名

また、第 3 回歴史体験隊作品展示を日本民家集落博物館内にある堂島の米蔵にて、3 月 4 日 (火) ～ 23 日 (日) に行った。会期中の入館者は約 2,400 名であった。

(日本民家集落博物館全体の会期内入館者数)

本事業は、平成 19 年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

(4) ミニ講座、見学ツアー等の実施

①ミニ講座

- ・日本民家集落博物館との共催によるミニ講座

博物館内のカルチャアはっとりを会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ 「信濃秋山郷の暮らし 2 - 北国の生業 -」

(聴講者延べ人数 94 人、平均 24 人)

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	11 月 3 日 (土)	信越地方の狩猟 永松 敦 (宮崎公立大学教授)	19 名
2	11 月 10 日 (土)	秋山郷の植生と植物の利用法 湯本貴和 (総合地球環境学研究所教授)	30 名
3	11 月 17 日 (土)	秋山郷における生業複合 野本寛一 (近畿大学名誉教授)	25 名
4	11 月 24 日 (土)	建築史から見た信濃秋山の民家 青山賢信 (大阪工業大学名誉教授)	20 名

②共同企画ツアー

ア. 日本民家集落博物館との共同企画ツアー

第 5 回 民家集落ツアー 新潟県高柳町の茅葺き集落と秘境秋山郷を訪ねて

実施日：平成 19 年 9 月 27 日 (木) ～ 29 日 (土)

見学先：高柳町荻ノ島茅葺き集落、鈴木牧之記念館、津南町歴史民俗資料館、秋山郷

参加者：17 名

なお、参加者が撮影した写真をパネルにし、「民家ツアー写真展」を平成 19 年 11 月 1 日（木）から 11 月 30 日（金）まで日本民家集落博物館で開催した。

イ. 池上曽根史跡公園協会、弥生文化博物館との共同企画ツアー

第 8 回 史跡ツアー 千葉県 史跡と考古の旅 ～房総の縄文遺跡と古墳を訪ねて～

実施日：平成 19 年 5 月 29 日（火）～ 31 日（木）

見学先：市立市川考古博物館、船橋市飛ノ台史跡公園博物館、千葉市立加曽利貝塚博物館、市原市埋蔵文化財調査センター、上総国分尼寺跡展示館、神門古墳（墳墓）群、印旛郡市文化財センター、国立歴史民俗博物館、芝山町立芝山古墳・はにわ博物館、龍角寺古墳群、千葉県立房総のむら

参加者：28 名

第 9 回 史跡ツアー 鹿児島 史跡と考古の旅

実施日：平成 19 年 11 月 27 日（火）～ 29 日（木）

見学先：上野原縄文の森展示館、加治木堀遺跡、横瀬古墳、塚崎古墳群、鹿屋市串良歴史民俗資料室、歴史交流館金峰、高橋貝塚、六堂会古墳、ミュージアム知覧、南摺ヶ浜遺跡、指宿市考古博物館、鹿児島市立ふるさと考古歴史館、鹿児島県歴史資料センター 黎明館、姶良町歴史民俗資料館

参加者：43 名

（５）文化財講座の実施

平成 19 年度は、大阪府立弥生文化博物館 ホールを会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ：『難波津から東アジアへー遣隋使からの 1400 年間ー』

（聴講者延べ人数 1,036 人、平均 104 人）

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	6 月 9 日（土）	『遣隋使から遣唐使へー古代の日中韓関係ー』 佐藤 信（東京大学教授）	136 名
2	7 月 1 日（日）	『古代の難波と難波津』 中尾芳治（帝塚山学院大学名誉教授）	128 名
3	8 月 5 日（日）	『日本都城の源流ー隋唐長安城ー』 町田 章（前奈良文化財研究所所長）	124 名
4	9 月 22 日（土）	『遣唐使の輸出品』 東野 治之（奈良大学教授）	83 名
5	10 月 28 日（日）	『難波津から山崎津へー唐と結ばれた長岡京・平安京ー』 山中 章（三重大大学教授）	79 名
6	11 月 23 日（金・祝）	『海を渡った新羅の土器』 江浦 洋（弥生文化博物館学芸課長）	87 名

7	12月1日(土)	『日中における王陵の墳形変化』 鐘方 正樹(奈良市埋蔵文化財調査センター)	85名
8	1月6日(日)	『古代日本と渤海国』 鈴木 靖民(国学院大学教授)	116名
9	2月2日(土)	『鴻臚館と遣唐使』 大庭 康時(福岡市教育委員会)	98名
10	3月1日(土)	『遣使以後』 水野 正好(大阪府文化財センター理事長)	100名
合 計			1,036名

本事業は、平成19年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

(6) 郷土の文化財を見学する会の実施

平成19年度には下記の通り10回実施し、参加者は延べ925人であった。

実施日	見学先と見学内容	講 師	参加者
4月22日(日)	第1回例会(第343回) 茨木地域の文化財探訪 テーマ：茨木の古墳と西国街道を歩く 見学先：椿の本陣→耳原公園→耳原古墳→川端康成文学館	奥井哲秀	76人
5月13日(日)	第2回例会(第344回) 奈良県葛城地域の文化財探訪 テーマ：葛城の前方後円墳と古い町並みを歩く 見学先：柿本神社→村井邸→陣屋町の古い町並み→慶雲寺→葛木御県神社→屋敷山公園→火振山古墳→為志神社→飯豊天皇埴口丘陵→葛城市歴史博物館	入倉徳裕 神庭 滋	107人
6月3日(日)	第3回例会(第345回) 岸和田市域の文化財探訪 テーマ：岸和田城下 いまむかし 見学先：中央公民館→欄干橋→堺口門→きしわだ自然資料館→二の丸→石垣筋→蛸地藏(天性寺)→だんじり会館→西大手→南海蛸地藏駅→五風荘→岸城神社→自泉会館→岸和田城	千地万造 近藤利由 平田慎一郎	97人
7月8日(日)	第4回例会(第346回) 豊中市域の文化財探訪 テーマ：天竺川流域の神社と民家集落博物館の古民家を訪ねる 見学先：服部天神宮→能勢街道→吹田街道→服部住吉神社→松林寺→今西邸(南郷春日神社)→天竺川治い→服部緑地公園・梅塚古墳・焰硝蔵→日本民家集落博物館	清水 篤 橘田正徳 奥村直樹 小島久美	108人

9月9日(日)	第5回例会(第347回) 京都市南部の文化財探訪 テーマ:鳥羽離宮跡 すみからすみまで 見学先:安楽寿院→鳥羽天皇陵→田中殿公園→金剛心院跡→勝光明院阿弥陀堂跡→鳥羽伏見戦跡石碑→秋ノ山→史跡鳥羽離宮跡→城南宮→成菩提院塚→白河天皇陵→北向山不動院→近衛天皇陵	長宗繁一 鈴木久男 上村和直 山本雅和	107人
10月14日(日)	第6回例会(第348回) 兵庫県芦屋市域の文化財探訪 テーマ:芦屋の歴史と坂を上へ下へ 見学先:八十塚古墳群・岩ヶ平石切場・六麓荘住宅地→山麓公園→芦屋病院前の刻印石→朝日ヶ丘遺跡(朝日ヶ丘集会所)→芦屋神社・芦屋神社古墳→開森橋→水車臼跡→城山古墳群(旭塚古墳)→芦屋廃寺跡	森岡秀人	83人
11月11日(日)	第7回例会(第349回) 柏原市域の文化財探訪 テーマ:柏原の多様な古墳と道をめぐる 見学先:玉手橋→安福寺(横穴群 割竹形石棺)→伯太彦神社→玉手山公園・後藤又兵衛基次之碑・吉村武右衛門之碑→玉手山7号墳→玉手山3号墳→玉手山2号墳→玉手山1号墳→片山廃寺→長尾街道→高井田横穴群・高井田山古墳・柏原市立歴史資料館	北野 重 桑野一幸	80人
12月9日(日)	第8回例会(第350回) 兵庫県播磨地方の文化財探訪[バスツアー] テーマ:播磨地方の博物館、寺院、遺跡公園をめぐる 見学先:兵庫県立考古博物館・播磨大中古代の村・播磨町郷土資料館→小野市立好古館→浄土寺→広渡廃寺跡歴史公園→金鐘城遺跡広場	大平 茂 村上泰樹 仲田高幸 村上賢治 田井恭一 西田 猛	87人
1月13日(日)	第9回例会(第351回) 奈良県大和郡山市域の文化財探訪 テーマ:大和郡山城と新木山古墳をめぐる 見学先:郡山城跡(三ノ丸緑地 鉄門 追手門 市民会館 東隅櫓 柳澤文庫 柳澤神社 天守台跡)→柳里恭邸跡→鷺池→永慶寺山門→大納言塚→新木山古墳	水野正好	102人
2月10日(日)	第10回例会(第352回) 南河内地域の文化財探訪 テーマ:古墳と源氏三代の墓をめぐり、「発掘された日本列島2007」をみる 見学先:御嶺山古墳の下→通法寺跡・源頼信墓・源頼義墓・源義家墓→泥掛地蔵→伽山古墳→敏達天皇陵→葉室公園→一須賀古墳群O支群→大阪府立近つ飛鳥博物館	鹿野 塁	78人

本事業は、平成19年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

B. 文化財展示会事業

(1) 展示会の実施

①小テーマ展示「シリーズ ここまでわかった考古学」の実施

本事業は、平成 19 年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

ア.「山賀遺跡の最新調査成果」

会期：平成 20 年 3 月 15 日（土）～ 30 日（日）

会場：大阪府立弥生文化博物館 特別展示室

主催：大阪府文化財センター 大阪府立弥生文化博物館

共催：大阪府八尾土木事務所

会期中の入館者：1,473 名

会期中の講演会

会場：大阪府立弥生文化博物館 1 階ホール

日時：平成 20 年 3 月 22 日（土） 午後 2 時～ 4 時

講演：「山賀遺跡 今世紀の発掘調査」本間元樹（当センター）

「垂飾形木製品の複製品製作」森田拓馬（複製品製作技術者）

「山賀遺跡が問いかけるもの」水野正好（当センター理事長）

聴講：142 名

イ.「大阪の古墳時代を考える」－（財）大阪府文化財センター 35 年の発掘調査精華－

会期：平成 19 年 3 月 4 日（火）～ 4 月 13 日（日）[当初 3 月 23 日（日）まで]

会場：大阪府立近つ飛鳥博物館 特別展示室

*大阪府立近つ飛鳥博物館と共催で実施

*後援 国土交通省近畿整備局浪速国道事務所、独立行政法人都市再生機構西日本支社、

西日本高速道路株式会社、大阪府、大阪府道路公社、近畿日本鉄道株式会社

入館者数：3,812 名【14,149 名】 ※【 】内は無料スペースを含めた入館者数

会期中の行事

講演 3 月 16 日（日）「古墳時代渡来文物の新研究」

福岡澄男（大阪府文化財センター普及部部長） 聴講 110 名

3 月 20 日（木・祝）「箸墓古墳は卑弥呼の墓か」

藤田憲司（大阪府立近つ飛鳥博物館副館長） 聴講 315 名

3 月 23 日（日）「考古学から見た継体天皇」

白石太一郎（大阪府立近つ飛鳥博物館館長） 聴講 480 名

ウ.「つわもの達の夢 ー追悼 藤沢一夫・鳥越憲三郎・堅田直一ー」

会期：平成 20 年 3 月 7 日（金）～ 3 月 29 日（土）

会場：日本集落博物館内 カルチュアはっとり

*日本集落博物館と共催で実施

＊後援 帝塚山大学考古学研究所

入館者数：3,186 名

会期内行事

講演：3 月 29 日（土）「藤沢大学について」神谷正弘（高石市教育委員会）

聴講：10 名

②スポット展示

ア.「湊遺跡出土の製塩土器」展示

会期：平成 19 年 7 月 7 日（土）～7 月 14 日（土）

会場：大阪府立弥生文化博物館

入館者数：601 名

イ.「玉櫛遺跡出土の鞍」展示

会期：平成 19 年 8 月 4 日（土）～8 月 19 日（日）

会場：大阪府立近つ飛鳥博物館

入館者数：2,023 名

本事業は、平成 19 年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

③日本民家集落博物館 企画展「むかしの道具（発掘民具 3）武器・武具」

会期：平成 19 年 10 月 6 日（土）～10 月 21 日（日）

入館者数：3,442 名

会期内行事：10 月 13 日（土）

講演 「武具」

大阪府文化財センター 芝野圭之助主幹、本間元樹副主査

聴講 6 名

C. 文化財体験学習事業

（1）体験学習等の受け入れ

①大阪府立今宮高校の考古学入門

2007. 7. 25(水)～31(火) 場所：私部南遺跡 参加者：8 名（2 年生）

②大阪府教育センターの初任者社会体験研修

2007. 8. 8(水)～9(木) 場所：京阪調査事務所 参加者：3 名（新任教諭）

③私立和光高校（東京都町田市）の考古学体験

2007.10.18(木) 場所：池島・福万寺遺跡 参加者：24 名

④東大阪市立石切中学校の職業体験学習（かん働体験）

2007.11. 8(木)～9日(金) 場所：池島・福万寺遺跡 参加者：6 名（2 年生）

⑤大阪府立大手前高校の発掘体験

2007.12. 7(金) 場所：池島・福万寺遺跡 参加者：14 名（1・2 年生）

(2) 発掘現場等の見学の受け入れ

①寝屋川市立堀溝小学校の寝屋川分室見学

2007. 5.14(月) 場所：寝屋川分室 参加者：70 名（6 年生）

②八尾市立北山本小学校の遺跡見学

2007. 5.17(木) 場所：池島・福万寺遺跡 参加者：41 名（6 年生）

③東大阪市立池島小学校の遺跡見学

2007. 5.22(火) 場所：池島・福万寺遺跡 参加者：119 名（6 年生）

D. 文化財資料収集事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

①平成 19 年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書 672 冊

研究機関、行政機関等からの寄贈図書 3,705 冊（477,789 頁）

計 4,377 冊

累計 70,477 冊

②蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

(2) 文化財情報のデジタル化

近畿版出土遺物データベースの一環として、平成 18 年度当センター発行の報告書をもとに、遺物画像データベースを作成した。総計 412 レコード。

なお、当初予定の 3 年間に達したので、2005 ～ 2007 年度の統合版を作成した。

総計 1,214 レコード。

E. 文化財資料提供事業

(1) インターネット及び報道機関を通じての、当センターの発掘調査やイベント、出版等に関する情報の提供

当センターが開催した諸行事に関する情報及び『O C C H』（センターニュースレター）、現地説明会資料、展示会のリーフレット・ブックレット等をホームページに掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

(2) 資料の出品、写真資料、ビデオなどの貸出

①資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり資料の出品を行った。

平成 19 年度常設展示貸出し資料一覧

総点数 329 点

文書番号	貸出先	貸出展示等名称	貸出期間	資料名	点数
J07-01	大阪府立弥生文化博物館（移動記録）	弥生文化博物館常設展示	H19.4.1～H20.3.31	新家：1，瓜生堂：2，巨摩：6，山賀：6，亀井北：1，亀井：26，田山：47，西大路：5，脇浜：12，貝掛：9	実物 115
J07-02	大阪府立近つ飛鳥博物館（移動記録）	近つ飛鳥博物館常設展示	H19.4.1～H20.3.31	久宝寺：6，美園：6，小阪：40，日置荘：2	実物 54
J07-03	大阪府教育委員会 文化財保護課	泉北考古資料館常設展示	H19.4.1～H20.3.31	伏尾：家形埴輪 1，野々井西：弥生土器 4/石器 11/ 全景写真 1，陶器関連パネル 4	実物 16 写真 5
J07-04	和泉市教育委員会	和泉市いずみの国歴史館 常設展示	H19.4.1～H20.3.31	福瀬：墨書皿（寺）1/ 木製弓 2/ 下駄 2/ 鉋台 1/ 桶底板 1/ 椀 1/ 雁股式有茎鉄 1/ 小刀 1，仏並：縄文土器（鉢）1/ 縄文土器（深鉢）1/ 土面レプリカ 1/ パネル 2，池田寺：縄文土器（深鉢）1/ 文字瓦（池田・堂）2	実物 16 パネル 2
J07-05	泉佐野市立歴史館いずみさの	歴史館いずみさの常設展示	H19.4.1～H20.3.31	上町東：白磁碗 2，若宮：檀波羅密寺銘平瓦 8，日置荘：鉄瓶 1	実物 11
J07-06	大阪府立狭山池博物館	狭山池博物館常設展示	H19.4.1～H20.3.31	城山：韓式土器 5，日置荘：青磁碗 1	実物 6
J07-07	吹田市立博物館	吹田市立博物館常設展示	H19.4.1～H20.3.31	吹田操車場：須恵器大型甕 1	実物 1
J07-08	堺市博物館	堺市立みはら歴史博物館 常設展示	H19.4.1～H20.3.31	真福寺：梵鐘鑄造遺構切り取り 1	実物 1
J07-09	堺市博物館	堺市立みはら歴史博物館 常設展示	H19.4.1～H20.3.31	真福寺：梵鐘鑄型等 8/ 鑄型（外型）用途不明 1/ 鑄型（外型）磬 1/ 瓦器碗 2/ 東播系こね鉢 1/ 土師器羽釜 1/ 鑄型（外型）鍋 2/ 轆羽口 2/ 円面硯 1，余部：磬鑄型 2/ 釜鑄型 1，太井：轆羽口 2/ 統一新羅印花文陶器 1/ 延喜通寶 3/ 埴塙 4/ 轆羽口 2/ 須恵器高杯 1/ 丸靱 1，さば山古墳：円筒埴輪 2/ 朝顔形埴輪 2，丹土：巡方 1	実物 41
J07-10	独立行政法人都市再生機構西日本支社	サンヴァリエ藤井寺集会所 展示コーナー	H19.4.1～H20.3.31	はざみ山：土師器甕 1/ 土師器杯 2/ 土師器把手付壺 1/ 須恵器杯身 3/ 須恵器杯蓋 2/ 須恵器平瓶 1/ 須恵器ハカ 2/ 須恵器高杯 3/ 須恵器高杯蓋 1/ 瓦器碗 3/ 瓦器小皿 2/ 瓦器小型碗 1/ 黒色土器碗 2/ 土師器小皿 3/ 国府型ナイフ形石器 3/ 有茎尖頭器 1/ 石鉄 2/ 凹石 1/ 叩石 3/ 砥石 5/ 轆羽口 5/ 須恵器紡錘車 2/ 須恵器添容器 5/ 須恵器蹄脚円面硯 2/ 圈足円面硯 1	実物 57

平成 19 年度貸出し資料一覧

総点数 1124 点

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M07-01	大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 19 年度春季特別展「稲作とともに伝わった武器」	H19.4.17 ～ H19.7.20	下田：短甲 1/ 刀剣把装具 1, 巨摩：銅鏃 1/ 磨製石剣 1, 亀井：銅鏃 3/ 打製石剣 2/ 盾 1/ 鉄鏃 1/ 磨製石剣 1, 瓜生堂：磨製石戈 1/ 磨製石剣 2/ 鞘 1/ 剣把 1/ 打製石鏃 17/ 磨製石鏃 1, 美園：磨製石剣 2/ 打製石剣 1, 山賀：打製石剣 2/ 打製石鏃 5/ 投弾 4/ 壺 1, 久宝寺：大阪湾型銅戈 2, 志紀：大型尖頭器 2	54
M07-02	愛媛県歴史文化博物館	企画展「戦国南予風雲録」	H19.9.18 ～ H19.12.14	大坂城：金箔五七桐文方形板状飾瓦 1/ 金箔菊文軒丸瓦 1/ 金箔巴文軒丸瓦 1/ 鉄釉双耳水柱 1/ 備前焼徳利 1/ 青磁香炉 1/ 青花皿 1/ 翡翠釉小皿 1	9
M07-03	大阪商業大学商業史博物館	平成 19 年度特別展「将棋展 - 将棋の文化とさまざまな将棋駒 -」	H19.5 月下旬 ～ H19.7.20	大坂城：将棋駒 8 大坂城：将棋駒集合 (7 点集合) / 将棋駒、雙六駒、碁石、サイコロ集合	10
M07-04	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館	平成 19 年度特別企画「弥生はいつから - 年代研究の最前線 -」展	H19.6.19 ～ H19.9.20	山賀：垂飾形木製品 / 甕 2, 池島福万寺：甕 3, 若江北：甕 2, 瓜生堂：甕 2, 美園：甕 4, 新上小阪：蓋 1, 亀井：甕 1/ 流水文壺 1, 城山：流水文壺 1, 私部南：甕 2, 上の山：甕 1	21
M07-05	堺市教育委員会	埴輪の産地同定	H19.6.15 ～ H19.10.31	日置荘：埴輪窯 P-1 内出土埴輪片 3	3
M07-06	日本民家集落博物館	日本の暮らし - 夏の歳時記 -	H19.7.1 ～ H19.7.22	亀井北：刺突具 2, 亀井その 2：刺突具 5/ 釣針 2/ ヤス 2/ 棒状の加工品 1, 亀井：オキシジミ 5, 山賀：ハイガイ 2/ 石鍾・砂岩, 新家：ヤマトシジミ 5/ セタシジミ 1/ 石鍾・砂岩, 美園：石鍾・砂岩, 瓜生堂：石鍾・砥石 2, 山賀 3：土鍾・土製品 9, 山賀その 4：ヤス 2, 山賀その 5・6：ヤス 3, 新家 3：土鍾・土製品 / 浮子 1	46
M07-07	大阪府立弥生文化博物館	平成 19 年度夏季企画展「計る・量る・測る - 度量衡の歴史展 -」	H19.7.10 ～ H19.9.21	大坂城跡：桿秤の皿 2/ 慶長丁銀 1/ ものさし 1/ 分銅 7/ 桿 2/ 桿秤容器 1/ 桿秤 1/ 尺度 1/ 枡 1 蔵塚古墳：土襲列 / 後円部の墳丘断面, 大坂城：分銅 / 桿秤と分銅 / 物指 / 秤の館外観 / 丁銀	18 7
M07-08	大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 19 年度夏季企画展「絵でみる考古学～早川和子原画展～」	H19.6.27 ～ H19.9.15	讃良郡：人面墨書土器 12/ 絵馬 2/ 木製品 (人形) 5/ 木製品 (斎串) 1, 八尾南：絵画土器 (長頸壺) 1/ 絵画土器 (短頸壺) 1/ 弥生土器 7/ 竪穴住居葦材 1, 仏並：土面 (実物), 讃良郡：A-1-2 区第 4 遺構面溝検出状況 (南東から) がーパ 祢	32
M07-09	大阪府立近つ飛鳥博物館	平成 19 年度秋季企画「横穴式石室誕生 - 黄泉国の成立 -」	—	七ツ門古墳：須恵器杯身 1/ 須恵器杯蓋 2/ 滑石製紡錘車 1/ 鉄製槍 1/ 金環 1/ 銀環 2	8
M07-10	福井県立歴史博物館	特別展「古代のテクノロジー～継体大王の時代の人と技～」	H19.9 月下旬頃～ H19.12 月上旬頃	下田：木製短甲 1, 大庭寺：須恵器高杯 1/ 須恵器杯蓋 1/ 須恵器杯身 1/ 須恵器はそう 1/ 須恵器器台 1/ 須恵器壺 1/ 須恵器舟形土器 1	8
M07-11	狭山池博物館	平成 19 年度教員のための博物館利用セミナー	H19.8.7 ～ H19.8.10	池島・福万寺：子持ち勾玉 2/ 剣型模造品 2/ 紡錘車 5/ 切子玉 / 管玉 5/ 白玉 17/ 有孔円盤 9/ 勾玉 20	61

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M07-12	古代の博多展実行委員会	平成 19 年度と区別企画展「古代の博多 - 鴻臚館とその時代 -」	H19.8 月下旬～H19.11 月上旬	難波宮跡：絵馬 / 新羅緑釉陶器	2
M07-13	大阪府立弥生文化博物館（移動）	弥生文化博物館常設展示室内弥生プラザ展示替えについて	H19.8.29～H20.9 月上旬	上の山：壺片 8/ 鉢 2/ 石鏃 5/ 石包丁 / 石斧 / 甕 4/ 壺 3	24
M07-14	狭山池博物館	平成 19 年度特別展「国土を拓いた金物たち - 採鉱冶金技術と土地開発 -」	H19.9.25～H19.12.5	真福寺：梵鐘鋳型 8/ 磬鋳型 1/ 鍋鋳型 1/ 鋳型 1	11
				真福寺：真福寺遺跡近景 / IV 調査区鋳造関連土坑群 / IV 調査区 IV - 2 土坑	3
M07-15	堺市博物館	平成 19 年度秋季特別展	H19.10.3～H19.12.21	西大井：人面墨書土器 1, 小阪合：人面墨書土器 2, 大坂城：羽子板（胡鬼板）2	5
				西大井：人面墨書土器, 小阪合：人面墨書土器 2, 大坂城：羽子板集合写真	4
M07-16	和泉市教育委員会	平成 19 年度特別展「陶器のムラに眠る人々 - 陶邑と周辺地域の古墳を考える -」	H19.9.18～H19.12.27	伏尾：須恵器器 1/ 甕 1/ 須恵器高杯 1, 寺門 1 号墳：須恵器蓋杯 1/ 無蓋高杯 1/ はそう 1/ 広口壺 1/ 鉄刀 1/ 鉄刀子 1/ 鉄釘 1, 唐国泉谷：円筒埴輪 1/ 形象埴輪 3, 三田古墳：形象埴輪 3/ 円筒埴輪 1/ 須恵器蓋杯 2/ 無蓋高杯 5/ 壺 1/ 脚付壺 1/ 壺蓋 1/ 鉄族 1/ 環頭大刀 1/ 鐔 1/ 鋤先 1/ 鉄剣 1/ 装身具 1/ 製塩土器 1	35
M07-17	埋蔵文化財研究会	「古墳時代の海人集団を再検討する」- 海の生産用具から 20 年 -	H19.8.31～H19.9.3	下田：製塩土器, 男里：製塩土器, 湊：製塩土器 18	20
M07-18	財団法人 元興寺文化財研究所	平成 19 年度秋季特別展「発掘された木の記憶 - 見る眼と伝える技術 -」	H19.9.20～H19.11.28	下田：竪杵	1
M07-19	尼崎市教育委員会	第 37 回特別展「弥生の色」	H19.10.30～H19.12	巨摩：碧玉製管玉 2/ ガラス勾玉 1/ ガラス小玉 12/ 貨泉 1/ 銅釧 1, 山賀：硬玉製勾玉 1/ 土器 17, 久宝寺：勾玉 1/ 碧玉製管玉 4/ ガラス小玉 6, 久宝寺南：碧玉製管玉, 亀井：土器 5/ 石杵 1/ 銅鏡 1/ 銅釧 1/ 銅鏃 4/ 鉄斧 2/ 鉄鏃 1	62
			H19.10.12～H19.11.16	大尾：朱の散布された墓 1, 山賀：赤彩土器, 亀井：石杵 1/ 銅鏡 1/ 貨泉 1	4
M07-20	日本民家集落博物館（移動）	秋季展示「むかしの道具 3（発掘民具）」「武器・武具」	H19.10.4～H19.10.23	銅釧・銅鏃 / 石鏃, 亀井：弓 2, 城山：靱形 1, 久宝寺：銅鏃 1, 大坂城：鉄鏃 1/ 鉄帽・防毒面吸収缶 6, 粟生間谷：有舌尖頭器 1, 久宝寺：柳葉形銅鏃 1, 志紀：旧日本陸軍九〇式鉄帽 4/ 投弾 3/ 石剣 1/ 石鏃 1/ 大型尖頭器 5, 亀井：持盾, 長原：丸靱, 佐保栗栖山砦：鉄鏃, 大坂城：鎧兜部品 12/ 鎧兜部品（小札）/ 装剣金具（小柄・笄）10, 池島・福万寺：石鏃 / 銅鏃 3	98
M07-21	大阪歴史博物館（移動）	重要シンポジウム「弥生人の住まいを探る - 長原遺跡・八尾南遺跡・久宝寺遺跡 -」	H19.10.26～H20.1 月	久宝寺・竜華：蓋 1/ 無頸壺 1/ 短頸壺 3/ 水差 1/ 直口壺 3/ 広口壺 1/ 鉢 2/ 椀型高杯 2/ 高杯 2/ 器台 1/ 甕 3	20
				弥生時代後期初頭の竪穴建物 / 400 竪穴住居断面 / 弥生時代後期遺構面模型図	3

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M07-22	弥生博物館(移動)	平成19年度冬季特別展「発掘された日本列島2007(地域展)発掘された大阪2007-水都大阪の国際交流史-」	H19.11月～H20.1.31	巨摩:貸泉1,大庭寺:船形土製品1,大坂城跡:新羅土器1/ベトナム製碗1/緑釉円面硯蓋1/蔓草鳳麟鏡(唐式鏡)1/海獣葡萄鏡1,太井:新羅土器(印花文)1,三宅西:百濟土器1/壺1,駒ヶ谷:奈良三彩1,堺環濠都市:タイ製鉢1/ワインボトル2/イギリス製陶器1/銀製指輪1,粟生間谷:奈良三彩1/小壺1/玉53	71
M07-23	弥生博物館(移動)	平成19年度小テーマ展示「山賀遺跡の最新調査成果」	H20.3.15～H20.3.30	山賀:土器179,石器58,骨類24,木器2,複製品関係6/亀井:弓1/難波宮(大阪城)漆容器2	272
M07-24	弥生博物館(移動)	平成20年度春季特別展「倭人が見た竜-竜の絵とかたち-」	H20.4.22～H20.6.29	亀田:絵画線刻弥生土器1	1
M07-25	近つ飛鳥博物館(移動)	平成19年度小テーマ展示「大阪の古墳時代を考える」	—	池島・福万寺:鳥形土器1/青銅器鋳型5/銅鏡片3/U字形土器1,小路:墳丘墓出土土器1,茄子作:最初期の須恵器群4/讃良郡条里:鳥形土器1/竈形土器1/U字形土器1/鞍1/鎌2,上私部:新羅土器1,太秦古墳群:須恵器1/円筒埴輪1,奥山古墳:須恵器10,美園:倉庫形埴輪1/壺形埴輪1,久宝寺:墳丘墓出土の土器4/最古の庄内式土器群5/組合式木棺2/割竹式木棺2/乾式系瓦質土器2,小阪合:鳥形土器2/乾式系土器1/乾式系瓦質土器3/U字形土製品1,溝咋:竈形土器1/U字形土製品1/筑状木製品1,瓜生堂:馬を線刻した須恵器1,山賀:銚帯1,長原:埴輪2,巨摩:埴輪1,七ツ門:須恵器3/耳環3,栗栖山:須恵器7,奥山:耳環11/鉄鎌7/玉類7/武器類4/馬具類3,下田:最古の布留式土器2/短甲1/琴1/腰かけ1/塵尾1,大庭寺:最初期の須恵器群8・船形土器1,野々井西:最初期の須恵器群10/U字形土製品1,小阪:初期須恵器4/当て具1/鳥形土器1/乾式系瓦質土器1,伏尾:竈形土器1/胴の長い甕1/甕1/煙突状土製品2,郡戸:須恵器6,三田:三葉環頭大刀1,田須谷古墳:石棺片,日置荘:円筒埴輪1/人物埴輪1,湊:製塩土器2,下田:製塩土器2	168
M07-26	宮崎県立西都原考古博物館	特別展「木と共に生きた人びと」	H20.3.27～H20.6.30	西岩田:木削斧柄1/鋤1/竪杵1/櫂1/剣形1/舟形1/きぬがさの柄1/はしご1,山賀:木倒斧柄1/銚先1/台付容器1/蓋1/鳥形1,瓜生堂:鍬1/又鍬1/エブリ1/フネ1/横槌1/刀剣柄1/杓子1/木織り具1/棺1,亀井:鍬1/鋤1/弓1/盾1/頭飾り1,亀井北:鳥形1,新家:エブリ1/浮子1/皿1/うちわの柄1,巨摩:木製鎌1/田下駄1/丹塗り櫛1/杓子1/刀形1/板琴1,友井東:大足,小阪:白1,池島・福万寺:高杯,溝咋:筑状弦楽器1,下田:きぬがさの軸受け,日置荘:須恵器当て具1/叩き具,久宝寺:腰掛け1	40
M07-27	近つ飛鳥博物館(移動)	宮崎県立西都原考古博物館への貸出に伴う近つ飛鳥博物館常設展示室への資料補完	H20.4.14～H20.7月初旬	日置荘:木製当て具1/木製叩き板1,小阪:須恵製当て具1	3

② 写真資料の貸出

出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。
平成19年度写真貸出し・掲載許可申請

総点数 187 件

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P07-01	中村五郎氏	H19.4.2	考古学研究所(株)アルカ発行『アルカ通信』第44号「畿内I様式に並行する東日本の土器」	池島・福万寺:浮線網状文土器, 讃良郡条里:浮線網状文土器	カラー×2	2
P07-02	吹田市立博物館	H19.4.5	平成19年度春季特別展「吹田の景観を掘りおこす2」	池島・福万寺:弥生時代小区画水田跡(『池島・福万寺遺跡2』カラー図版22)	カラー×1	1
P07-03	総合研究大学院大学	H19.4.11	『古代文化』第59巻1号	松原市三宅西:縄文土器	カラー×1	1
P07-04	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	H19.4.20	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター20年の発掘成果展「自然と人間、地中に埋もれた命の対話」	巨摩:J区8号方形周溝墓 人骨に射込まれた石鏃出土状況	デジタル×1	1
P07-05	愛媛県歴史文化博物館	H19.4.18	企画展「戦国南予風雲録」図録・広報物	大坂城:金箔瓦集合写真	カラー×1	1
P07-06	愛媛県歴史文化博物館	H19.4.18	企画展「戦国南予風雲録」図録・広報物	大坂城:鉄釉向付/鉄釉双耳水注/備前焼徳利/飾り金箔瓦/青磁香炉/青花皿/翡翠釉小皿	撮影×7	7
P07-07	株式会社 小学館	H19.4.25	早川和子原画展図録『早川和子考古復元画集』(仮題)	讃良郡条里:絵馬(神馬)/墨書人面土器集合写真	カラー×2	2
P07-08	株式会社 小学館 出版局	H19.5.8	『日本の歴史』(第1巻)「列島創世記」	亀井:銅鐸形土製品集合写真	カラー×1	1
P07-09	関西大学文学部地理学教室	H19.5.10	地理科学学会「考古遺跡(大阪府)に広く見られる無層理堆積構造と人的擾乱の認識」	池内:池内遺跡採取のブロック試料のX線映像/粒度分析結果		2
P07-10	株式会社 学生社	H19.5.16	近畿の古墳と古代史	大庭寺:TC232号窯出土須恵器	カラー×1	1
P07-11	財団法人 大阪市文化財協会	H19.5.17	『葦火』128号	伏尾:竈・甕・甑の使用想定図	モノクロ×1	1
P07-12	兵庫県立考古博物館	H19.5.25	兵庫県立考古博物館展示解説パネル	久宝寺:準構造船出土状況	カラー×1	1
P07-13	株式会社 岩波書店	H19.6.1	岩波新書『金・銀・銅の日本史』	下田:銅鐸出土状況/出土銅鐸X線CT写真(著者所蔵写真 掲載許可のみ)	カラー×1	2

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P07-14	総合研究大学院大学	H19.6.8	『平成 16-18 年度科学研究費補助金基盤研究 (B)』 「日本における稲作以前の主食植物の研究」調査報告書	松原市三宅西：縄文土器	カラー× 1	1
P07-15	大阪府文化財調査事務所	H19 年	調査事務所 1 階展示室 展示パネル	太井：井戸 10 全景	カラー× 1	1
P07-16	日本原子力研究開発機構	H19.6.14	一般への講演会、サイエンスカフェにて考古学資料を用いた地層処分研究の紹介・OHP	下田：遠景 / 出土銅鐸 (A 面、B 面) / 銅鐸出土状況	カラー× 4	4
P07-17	伊勢市中世史研究会	H19.6.21	『中世史・考古学情報第 6 号～ 2006 年度北陸・東海・近畿版～』	池内：掘立柱建物検出状況 / 屋敷境の道路と溝	カラー× 2	2
P07-18	大阪大学総合学術博物館	H19.7.5	大阪大学総合学術博物館の展示パネル	栗栖山南墳墓群：原位置で検出された石仏群 / 207・208 号墓 / 炭盛土の堆積状況 / 火葬墓 1, 宮ノ前：掘立柱建物	カラー× 5	5
P07-19	東大阪市教育委員会	H19.7.11	東大阪市広報番組「虹色ねっとわーく」で放映	花屋敷：灰釉皿 / 鉢 / 瓦器碗 / 土師皿 / 木簡 / 漆器碗 / 軒下瓦 / 平瓦	カラー× 36	36
P07-20	東京法令出版株式会社	H19.7.13	高校歴史資料集『新日本史総覧』（仮称）	大庭寺：TG232 号窯灰原、亀井：一本鋤、池上曾根：石斧三種の着柄状況	カラー× 3	3
P07-21	福岡市博物館	H19.7.20	「古代の博多展 - 鴻臚館とその時代 -」図録、広報関係印刷物、インターネットホームページ	難波宮跡：新羅土器緑釉陶器 / 絵馬	カラー× 2	2
P07-22	株式会社 吉川弘文館	H19.8.7	『日本女性史大辞典』	難波宮跡：9 号木簡（王母前）	カラー× 1	1
P07-23	株式会社 山川出版社	H19.8.9	『日本史リブレット 15 地下から出土した文字』	難波宮跡：木簡（戊申年）	モノクロ× 1	1
P07-24	株式会社 岩波書店	H19.8.10	『日本語の源流を求めて』	池上曾根：平織の布	モノクロ× 1	1
P07-25	環濠都市・堺歴史文化クラブ	H19.8.13	「環濠都市・堺を掘る！ - 市民が語るルーツと未来 -」展に展示	堺環濠都市：環濠全景 / 環濠断面	カラーパネル× 2	2
P07-26	大阪府教育委員会	H19.8.20	平成 19 年度の「府指定有形文化財候補の資料」に使用	大庭寺：銅印	撮影× 1	1

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P07-27	鳥取県教育委員会	H19.8.24	第8回弥生文化シンポジウム「海と弥生人～みえてきた～青谷上寺地遺跡の姿」	久宝寺：準構造船出土状況	カラー×1	1
P07-28	株式会社 至文堂	H19.9.5	月刊誌『日本の美術』第498号「縄文土器 後期」	仏並：土面	モノクロ×1	1
P07-29	泉佐野市教育委員会	H19.9.7	『新修 泉佐野市史』第1巻通史編	仏並：縄文時代集落／竪穴住居 71-0D, 向出：環状土坑墓群／壁に沿って石を並べた配石土坑／石棒を立てた土坑／板石で角礫を挟んだ配石土坑, 棚原：Ⅱ-F地区 55 調査区全景（南から）	モノクロ×7	7
P07-30	泉佐野市教育委員会	H19.9.7	『新修 泉佐野市史』第2巻通史編	湊：製塩土器, 仏並：土面		2
P07-31	和泉市教育委員会	H19.8.17	平成19年度特別展「陶器のムラに眠る人々－陶器と周辺地域の古墳を考える－」特別展図録	三田古墳：全景／第1主体／第2主体寺／第1主体出土三葉環頭大刀／第2主体出土玉類	カラー×5	5
P07-32	株式会社 小学館	H19.9.11	『日本の歴史』第1巻「列島創世記」	大庭寺：須恵器集合写真	モノクロ×1	1
P07-33	大阪府立狭山池博物館	H19.9.22	平成19年度特別展「国土を拓いた金物たち－採鉱冶金技術と土地開発－」展示図録	池島福万寺：弥生時代後期の水田		1
P07-34	時事通信社	H19.9.22	全国地方紙に配信する記事「変わる弥生像」(下)	山賀：「垂飾」形木製品	カラー×1	1
P07-35	KBS(韓国放送)大田総局	H19.9.28	HD 特別ドキュメンタリー「百済の象はどこから来たのか？」	久宝寺：準構造船復元模型, 大庭寺：須恵質船形土器パネル	撮影×2	2
P07-36	韓国馬山MBC放送局	H19.9.28	日韓古代史研究ドキュメンタリー「安羅伽耶(アラカヤ)」	大庭寺：初期須恵器一括	撮影×1	1
P07-37	徳島市教育委員会	H19.9.28	特別企画展「弥生青銅器の世界」展示図録・記念シンポジウム資料集	下田：扁平鈕式四区袈裟襷文銅鐸／銅鐸の出土状況, 上フジ：小銅鐸, 亀井：銅鐸片／銅鏃／小型鋳型製鏡／貸泉／銅鐸形土製品, 巨摩：貸泉／銅鏃, 田井中：小型鋳型製鏡, 久宝寺：小型鋳型製鏡 2, 福万寺：方格規短鏡片／内行花文鏡片／画文帯神獸鏡片, 溝咋：銅釧	カラー×17	17
P07-38	寝屋川市教育委員会	H19.10.5	『寝屋川市史』第10巻本文編	讃良郡条里：絵馬 2/ 畿内最古の甕, 高宮：3区大型総掘立柱建物群（全景）	カラー×34 デジタルデータ×1	4
P07-39	株式会社 山川出版社	H19.10.10	『日本史図録』	亀井：木臼	カラー×1	1
P07-40	寝屋川市教育委員会	H19.10.22	『寝屋川市史』第10巻本文編	奥山1号墳：石室全景	カラー×1	1

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P07-41	西日本高速道路株式会社関西支社 枚方工事事務所	H19.10.31	第二京阪道路 寝屋川市域 (NEXCO 施工区間) 工事 見学会 DVD	第二京阪道路内遺跡分布, 小路: 周溝 墓群と周辺で発掘された遺構 / 流路から 出土した人面墨書土器 / 人面墨書土 器の出土状況, 高宮: 大型掘立柱建物 群 / 高宮廃寺軒丸瓦, 太秦: 竪穴住居 群 / 円筒形の埴輪	カ- 8	8
P07-42	ジャパン通信情報 センター	H19.11.9	『文化財発掘出土情報』	堺環濠都市: SKT960 2007.5.26 現地説 明会資料	資料× 1	1
P07-43	大阪府立弥生文化 博物館 (移動)	H19	「発掘された日本列島 2007(地域展) 発掘され た大阪 2007- 水都大阪の 国際交流史 -」図録等広報 関係資料	巨摩: 貸泉, 粟生間谷: 奈良三彩壺 / 甕 / 玉, 大庭寺: 船形土製品, 太井: 新羅 土器 (印花文)		4
P07-44	共同通信大阪支社	H19.11.29	考古学企画「古代のネズ ミ」の新聞記事	亀井: ネズミ骨格	モ/加× 1	1
P07-45	株式会社 小学館 出版局	H19.12.3	『日本の歴史』第 3 巻「 律令国家と万葉びと」	大庭寺: 須恵器集合写真, 難波宮跡: 11 号木簡 (戊申年)	モ/加× 2	2
P07-46	河内長野市教育委 員会	H19.11.30	シリーズ河内長野の周辺 2『大師山古墳・三日市 遺跡』～古墳時代の河内 長野～	久宝寺: 堤から出土した土器 / 古墳と その周辺から出土した土器	カ- × 2	2
P07-47	株式会社 新泉社	H19.12.6	シリーズ「遺跡を学ぶ 」43 巻『天下統一の城・ 大阪城』	大坂城跡: 豊臣大阪城堀全景	カ- × 1	1
P07-48	大阪府文化財セン ター調査部 (移動)	H19.12.3		大坂城跡: 調査地全景 (南から) 2/ 堀 83 南半部 (西から) 2/ 堀 83 南西コー ナー (南西から) 4/ 堀 83 土層断面 (北 東から) / 遺構 141 (南東から) 4/ 堀出 土の瓦 / 堀 83 出土の土器・陶磁器 / 「 慶長拾三年」銘祈祷札 / 「管平右衛門」 木簡 (表・裏) / 掘り出された堀 / 堀の 底は凹凸 / 堀から出土した御札 / 堀か ら出土した陶磁器	カ- × 22	22
P07-49	株式会社 雄山閣	H19.12.11	『季刊考古学』第 102 号 特集 土木考古学の現状と 課題 (工楽善通編)	蔵塚古墳: 土のう列	カ- × 1	1
P07-50	株式会社 京都科 学	H19.12.12	ホームページの納入実績 紹介	八尾南: 遺構面復元模型	カ- × 1	1
P07-51	大阪商業大学商業 史博物館	H19.12.12	平成 19 年度特別展「将 棋展」展示図録	大坂城: 将棋駒	カ- × 1	1
P07-52	株式会社 日経映 像	H20.1.4	NHK「美の壺」テーマ絵 馬	難波宮: 絵馬	撮影× 1	1
P07-53	中部調査事務所 向井	H20.1.7	『大阪文化財研究』第 33 号	山賀: 縄文土器・弥生土器 66 点調査 結果	モ/加× 1	1
P07-54	株式会社 遊子館	H20.1.7	笹間吉彦著『図説・龍の 文化史』(仮称)	八尾南: 「龍」を描いた土器	モ/加× 1	1

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P07-55	葦原公民館文化展	H20.1.21	文化展	玉櫛：解説パネル・写真パネルなど	パネル×10	10
P07-56	国立歴史民俗博物館	H20.2.4	『歴博』147号「井戸端会議 (Q&A)」(企画展示「弥生はいつから!?」に関する質問と答え)	山賀：垂飾形木製品	カー×1	1
P07-57	東京法令出版株式会社	H20.2.21	『高認基礎力診断模試 日本史(仮)』	亀井：一木鋤	モノ×1	1

③ ビデオの貸出

下記のとおり依頼をうけてビデオの貸出上映を行った。

平成19年度ビデオ貸出し・上映一覧

総点数 17 件

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	映像資料名	点数
V07-01	京都橘大学文学部 一瀬和夫	H19.5.2	考古学概説・考古学実習 東アジア文化財特殊講義の授業	発掘された船～久宝寺遺跡の準構造船～	1
V07-02	京都橘大学文学部 一瀬和夫	H19.5.23		河内の弥生墳墓～巨摩遺跡の発掘～	1
V07-03		H19.6.22	役員会	池内遺跡～私たちの発掘体験～ / 讃良郡条里遺跡～埋もれた井戸の発掘～ DVD・ビデオ	4
V07-04	調査部	H19.6.21		難波宮跡現地説明会 DV	3
V07-05	寝屋川の歴史と文化を考える会	H19.7.20	寝屋川の歴史と文化を考える会 総会・講演会	河内馬飼の里 讃良郡条里遺跡の発掘調査 / 北河内発掘 第二京阪道路内遺跡の発掘調査 / 古墳時代の大規模集落～上私部遺跡～ / 讃良郡条里遺跡～埋もれた井戸の発掘～	4
V07-06	郷土の文化財を見学する会 バスツアー	H19.12.9	バスツアー往復のバス内で上映	河内の弥生墳墓～巨摩遺跡の発掘～ / 佐保栗栖山砦跡中世墳墓群の発掘調査 - 戦国時代のとりでと村人の墓 - / 石切場跡の発掘調査 / 池内遺跡 - 私たちの発掘体験 -	4
V07-07	南部調査事務所 調査第3係	H20.3.21	平成19年度埋蔵文化財担当者専門研修「竪穴建物遺構調査課程」	八尾南遺跡発掘調査に伴う撮影動画 (CD)	1
V07-08	普及部	H20.3.21	平成18年度リレー講演会 DVD 制作	平成17年度文化財講座第3回、平成18年度文化財講座第10回、平成19年度文化財講座第10回、「緑立つ道から北河内の古代よみがえる」理事長講演 (DV)、平成18年度シンポジウム「古墳時代に生きた渡来人の軌跡」(カセット)	

(3) 図書の出版・販売

①図書の出版

平成 19 年度は、下記の図書を出版した。

- 1 山賀遺跡 (第 163 集)
- 2 植松遺跡 (第 164 集)
- 3 上私部遺跡Ⅱ (第 165 集)
- 4 新上小阪遺跡Ⅱ (第 166 集)
- 5 巢本遺跡Ⅰ (第 167 集)
- 6 池島・福万寺遺跡 4 (第 168 集)
- 7 倉治遺跡 (第 169 集)
- 8 湊遺跡他Ⅲ (第 170 集)
- 9 上の山遺跡Ⅲ (第 171 集)
- 10 八尾南遺跡 (第 172 集)
- 11 讃良郡条里遺跡Ⅵ (第 173 集)
- 12 茄子作遺跡 (第 174 集)
- 13 津田遺跡 (第 175 集)
- 14 寝屋東遺跡、太秦遺跡・太秦古墳群、大尾遺跡、讃良郡条里遺跡、砂遺跡 (第 176 集)
- 15 堺環濠都市遺跡 (SKT959 地点) (第 177 集)
- 16 堺環濠都市遺跡 (SKT960 地点) (第 178 集)
- 17 池島・福万寺遺跡 5 (第 179 集)
- 18 OCCH No.37
- 19 OCCH No.38
- 20 OCCH No.39
- 21 大阪文化財研究 第 32 号
- 22 大阪文化財研究 第 33 号
- 23 財団法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館 2005 年度 共同研究成果報告書
- 24 財団法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館 2006 年度 共同研究成果報告書
- 25 池島・福万寺遺跡と周辺の文化財
- 26 大阪府埋蔵文化財研究会 (第 55 回)
- 27 大阪府埋蔵文化財研究会 (第 56 回)
- 28 2007 年度 (財)大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究発表会『埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳』
- 29 2007 年度 (財)大阪府文化財センター・弥生文化博物館共同研究発表会 『土偶』
- 30 2007 年度 (財)大阪府文化財センター・日本民家集落博物館共同研究発表会『住居に関する総合的研究 (6)』
- 31 シンポジウム 弥生人の住まいを探る―長原遺跡・久宝寺遺跡・八尾南遺跡―

- 32 平成 18 年度 年報
- 33 研究調査報告 第 6 集
- 34 平成 19 年度 文化財講座資料集 『難波津から東アジアへー遣隋使からの 1400 年間ー』
- 35 安威城跡 (大阪府教育委員会刊行の増刷)
- 36 島泉南遺跡 (")
- 37 千里丘遺跡 (")
- 38 桑原遺跡 (")
- 39 鳳東町 4 丁遺跡 (")
- 40 余部日置荘遺跡 (")
- 41 大和川今池遺跡 (")
- 42 安松田遺跡Ⅱ (")
- 43 下池田遺跡 (")
- 44 桜井駅跡 (")
- 45 平石遺跡概要Ⅱ (")
- 46 大阪考古名所図会 (文化財あれこれブックレット No. 3) (")
- 47 大阪府教育委員会年報 11 (")
- 48 史跡池上曾根遺跡 (和泉市教育委員会刊行の増刷)

②図書の販売

平成 19 年度は、次のとおり販売した。

販売総数 3,657 冊 販売金額 3,714,658 円 (税抜)

(4) 出版物の寄贈・配付

研究機関、行政機関等に対して当センターの刊行図書を寄贈配布した。

F. 文化財研究事業

(1) 大阪府埋蔵文化財研究会 (第 55 回・第 56 回) の実施

①第 55 回 大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：最近の重要な調査成果と記念講演

日 時：平成 19 年 9 月 15 日 (土) 午前 10 時～午後 4 時

会 場：大阪府教育委員会 文化財調査事務所 1 階講義室

主 催：(財)大阪府文化財センター 大阪府教育委員会

参加者：50 名

発 表

小阪合遺跡の発掘調査	(財)八尾市文化財調査研究会	樋口 薫
堺環濠都市遺跡 06-1(SKT960) の発掘調査	(財)大阪府文化財センター	新海正博・水野恵利子
東奈良遺跡の平成 18 年度発掘調査	茨木市教育委員会	黒須靖之

北河内の初期須恵器生産―茄子作遺跡出土の初期須恵器の検討から―

(財)大阪府文化財センター 南 孝雄

柏原市の古代寺院～最近の発掘調査を中心に～
記念講演

柏原市教育委員会 島内洋二

大阪府茨木市所在 千提寺・下音羽のキリシタン信仰と安威了佐志門

―吉利支丹考古学の視点から―

大阪府教育委員会

久米雅雄

② 第 56 回 大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：墳墓と焼物（土器・瓦）の考古学

日 時：平成 20 年 3 月 8 日（土） 午前 10 時～午後 4 時 10 分

会 場：大阪歴史博物館 4 階 講堂

主 催：(財)大阪府文化財センター 大阪府教育委員会 (財)大阪市文化財協会 大阪歴史博物館

参加者：210 名

発 表

弥生―古墳時代の境界について（試案）

(財)大阪府文化財センター 西村 歩

古代難波地域の土器―陶器編年との比較検討から―

(財)大阪市文化財協会 佐藤 隆

和泉黄金塚古墳―平成の調査―

和泉市教育委員会 白石耕治

今城塚古墳―最近の調査から―

高槻市教育委員会 宮崎康雄

記念講演

大阪府内における難波宮使用瓦の出土について

大阪市文化財協会 宮本佐知子

弥生墳丘墓と古墳

大阪府立近つ飛鳥博物館 藤田憲司

孝徳朝の土器―型式と個別資料群―

(財)大阪府文化財センター 福岡澄男

(2) 「近畿ブロック埋文研修会」と「近畿ブロック埋文情報」

①近畿ブロック埋文研修会

第 13 回となる平成 19 年度の近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、財団法人 滋賀県文化財保護協会が開催担当法人となり、平成 19 年 10 月 12 日（金）、滋賀県大津市のコラボしが 21 で開催された。「交流・流通・交通の考古学」というテーマで 9 本の研究発表が行われた。

当センターから 36 名が参加し、三木弘が「堺における貿易品流通について」と題して発表した。

(3) 弥生文化・近つ飛鳥・日本民家集落博物館との共同研究

センター部と博物館部各 3 館と共同研究をおこなった。また、一般向け発表会を行い、資料集を刊行した。

①センター部・日本民家集落博物館 共同研究「住居に関する総合的研究（6）」

「旅人が見た山村の暮らし―江戸時代の秋山郷と昭和 30 年代の九州山地―」

一般向け発表会 2008 年 3 月 15 日（土）13：30～16：00

鈴木牧之が見た江戸後期の秋山―牧之と秋山の取材記録について― 鈴木牧之記念館 貝瀬 香

昭和 30 年代に見た九州山地の暮らし

日本民俗建築学会 早瀬哲恒

研究資料

平成 19 年度企画展「信濃秋山郷の暮らし 2」

日本民家集落博物館 小島久美

- ②センター部・大阪府立弥生文化博物館 共同研究 「土偶―近畿地方を中心に―」
- 第1回研究会 2007年11月30日(金)
- | | | |
|--------------|---------------|------|
| 初現期土偶に関する一考察 | 大阪府立弥生文化博物館 | 永野 仁 |
| 近畿地方の縄文晩期土偶 | (財)大阪府文化財センター | 大野 薫 |
- 第2回研究会 2008年1月25日(金)
- | | | |
|------------------|-----------|------|
| 三重県の土偶 | 亀山市教育委員会 | 森川幸雄 |
| 東海・近畿地方における土偶の受容 | 名古屋市教育委員会 | 伊藤正人 |
- 第3回研究会 2008年2月8日(金)
- | | | |
|-------------|---------------|------|
| 近畿地方の縄文後期土偶 | (財)滋賀県文化財保護協会 | 中村健二 |
|-------------|---------------|------|
- 一般向け発表会 2008年3月9日(日) 13:00～16:15
- | | | |
|------------------|---------------|------|
| 東海・近畿地方における土偶の受容 | 名古屋市教育委員会 | 伊藤正人 |
| 縄文時代草創期・早期の土偶 | 大阪府立弥生文化博物館 | 永野 仁 |
| 三重県の土偶 | 亀山市教育委員会 | 森川幸雄 |
| 近畿地方の縄文後期土偶 | (財)滋賀県文化財保護協会 | 中村健二 |
| 近畿地方の縄文晩期土偶 | (財)大阪府文化財センター | 大野 薫 |
- ③センター部・大阪府立近つ飛鳥博物館 共同研究 「埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳」
- 第1回研究会 2007年10月12日(金)
- | | | |
|-------------|-------------|------|
| 埋葬施設の型式学的研究 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 | 高松雅文 |
|-------------|-------------|------|
- 第2回研究会 2007年11月9日(金)
- | | | |
|-----------------|---------------|-------|
| 閉塞方法からみた埋葬施設と儀礼 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 | 鹿野 塁 |
| 当該期の土器編年・併行関係 | (財)大阪府文化財センター | 市村慎太郎 |
| 山陰・瀬戸内の埋葬施設 | 大阪府立近つ飛鳥博物館 | 藤田憲司 |
- 第3回研究会 2007年12月14日(金)
- | | | |
|--------------------------------|--------------|------|
| 埋葬施設からみた四国北東部地域の弥生時代後期から古墳時代前期 | 香川県埋蔵文化財センター | 蔵本晋司 |
| 埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳―播磨地域の事例研究― | 兵庫県立考古博物館 | 山本三郎 |
- 第4回研究会 2008年1月11日(金)
- | | | |
|-----------------|---------------|------|
| 竪穴式石室の天井部構造について | (財)大阪府文化財センター | 三木 弘 |
| 竪穴式石室の構造的変遷と系譜 | 奈良県立橿原考古学研究所 | 岡林孝作 |
- 一般向け発表会 2008年2月17日(日) 13:00～16:10
- | | | |
|--------------------------------|---------------|------|
| 竪穴式石室の構造的変遷と系譜 | 奈良県立橿原考古学研究所 | 岡林孝作 |
| 埋葬施設からみた四国北東部地域の弥生時代後期から古墳時代前期 | 香川県埋蔵文化財センター | 蔵本晋司 |
| 埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳―播磨地域の事例研究― | 兵庫県立考古博物館 | 山本三郎 |
| 竪穴式石室の天井部構造について | (財)大阪府文化財センター | 三木 弘 |

G. 文化財記録保存事業

(1) DVDとVHSの制作等

- ①「甦った大坂冬の陣―戦国武将・管平右衛門への木簡」大坂城跡の発掘調査
- ②平成 19 年度重要シンポジウム及び平成 18 年度リレー講演会
- ③平成 18 年度重要シンポジウム

本事業は、平成 19 年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

H. 文化財調査支援事業

当センターが行う研究助成事業に基づく『財団法人 大阪府文化財センター研究調査報告 第 6 集』を編集、出版した。

I. 広報事業

(1) ニュースレター（OCCCH）の発行

平成 19 年度は下記のとおり刊行した。

- No. 37（平成 19 年 7 月 31 日）
- No. 38（平成 19 年 12 月 28 日）
- No. 39（平成 20 年 3 月 31 日）

(2) 年報の編集と発行

平成 18 年度の年報を作成した。

Ⅲ 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 展示事業について

(1) 常設展示

①第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米つくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「交流」、「死とまつり」、「弥生人」の6つのテーマゾーン、全国各地の弥生文化を紹介する弥生プラザの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示。

弥生プラザに最新情報コーナーを設置、1年周期で最新の弥生文化情報を速報的に展示する。昨年度から展示している大阪府男里遺跡出土遺物の展示から、大阪府上の山遺跡出土資料に展示替えを行った。

②第2展示室

「池上曾根ワールド」という名称で、池上曾根遺跡から出土した資料のみを展示。

(2) 特別展・企画展

①春季特別展「稲作とともに伝わった武器」

《入館者数：13,908人》

ア. 開催概要 弥生時代の戦いに用いられたさまざまな武器や、戦いに関する遺跡・遺構を取り上げ、戦いのはじまり、武器の種類、各地域における戦いのありかたを検討し、その結果もたらされたものについて考える展示を行った。

イ. 開催期間 平成19年4月28日（土）～7月1日（日）

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	600 円	480 円
65 歳以上及び 高校・大学生	400 円	320 円

②秋季特別展「日向・薩摩・大隅の原像—南九州の弥生文化—」

《入館者数：7,216人》

ア. 開催概要 広大な海に育まれた温暖な気候のもと、シラス台地の発達する独特の風土において、南からそして北からの多様な文化の交流がなされ、独特の弥生文化が形成された南九州を取り上げ、日向・薩摩・大隅の原像に迫る展示を行った。

イ. 開催期間 平成19年9月29日（土）～12月9日（日）

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	600 円	480 円
65 歳以上及び 高校・大学生	400 円	320 円

③冬季特別展 文化庁主催 新発見考古速報展

「発掘された日本列島 2007 地域展 一発掘された大阪 2007 水都大阪の国際交流史一」

《入館者数：7,067 人》

ア. 開催概要 昨年度に引き続き文化庁巡回展を招致。その地域展として、交流、船などをテーマに特別展を開催した。

イ. 開催期間 平成 20 年 1 月 19 日（土）～3 月 2 日（日）

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	600 円	480 円
65 歳以上及び 高校・大学生	400 円	320 円

④夏季企画展 「計る・量る・測る一度量衡の歴史展一」

《入館者数：4,545 人》

ア. 開催概要 近畿地方を中心とした計量に関連する出土品ならびに三重県四日市市に所在する「秤の館」の全面的な協力により、「はかる」という行為に関わる現存する実物を地域や時期を越えて幅広く展示した。

イ. 開催期間 平成 19 年 7 月 21 日（土）～9 月 9 日（日）

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	400 円	320 円
65 歳以上及び 高校・大学生	300 円	240 円

⑤ 春季企画展 財団法人大阪府文化財センター小テーマ展示

「シリーズ ここまでわかった考古学 山賀遺跡の最新調査成果」

《入館者数：1,473 人》

ア. 開催概要 （財）大阪府文化財センターが発掘調査を行った山賀遺跡の最新調査成果について、出土遺物を中心に展示した。

イ. 開催期間 平成 20 年 3 月 15 日（土）～3 月 30 日（日）

ウ. 場 所 特別展示室

エ. 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	400 円	320 円
65 歳以上及び 高校・大学生	300 円	240 円

⑥ スポット展示「湊遺跡の製塩土器」

《入館者数：1,262 人》

ア. 開催概要 （財）大阪府文化財センターが発掘調査を行った湊遺跡の出土遺物を速報的に取り上げ、展示を行った。

イ. 開催期間 平成 20 年 7 月 7 日（土）～7 月 14 日（土）

ウ. 場 所 特別展示室前

エ. 入 館 料

区 分	個 人	団 体
一 般	300 円	240 円
65 歳以上及び 高校・大学生	200 円	160 円

⑦出張展示

秋季特別展開催にともなって資料を借用した鹿児島県歴史資料センター黎明館、宮崎県立西都原考古博物館、都城市教育委員会へ、借用資料集荷・当館の資料を輸送し、出張展示を行った。

⑧サロン展示

リピーターに新たな展示をいつも提供する目的から、サロンに展示ケースを置き、短期に展示替えを行うコーナーを設置した。

10 月 7 日（日）～ 10 月 20 日（土）身近にあった夜光貝—泉州の貝細工—

10 月 21 日（日）～ 11 月 3 日（土）弥生人が求めた貝

11 月 4 日（日）～ 12 月 8 日（土） 弥生土器の意味するところは？

12 月 9 日（日）～ 1 月 13 日（日） 赤米のきた道

1 月 14 日（月）～ 1 月 17 日（木） 卑弥呼の衣装を復元する

1 月 18 日（金）～ 3 月 2 日（日） 深日沖から揚がった陶磁器

3 月 9 日（日）～ 3 月 21 日（金） 船橋遺跡の土偶

2. 講演会事業等

（1）講演会

①春季特別展 講演会

5 月 13 日（日）「対談 弥生の武器とまつり」

水野正好（（財）大阪府文化財センター理事長）、金関 恕（当館館長）

《参加者：130 人》

②夏季企画展 講演会

7 月 22 日（日）緊急特別企画「対談 度量衡の考古学」

水野正好（（財）大阪府文化財センター理事長）、江浦 洋（当館学芸課長）

《参加者：96 人》

③秋季特別展 特別講演会

第 1 回「東アジアの中の広田遺跡」

9 月 30 日（日）金関 恕（当館館長）

《参加者：135 人》

第 2 回「『倭国・狗奴国』論」

10月7日(日) 水野正好((財)大阪府文化財センター理事長)

《参加者：220人》

④ 春季企画展 講演会

3月22日(土)

本間元樹((財)大阪府文化財センター)「山賀遺跡 今世紀の発掘調査」

森田拓馬(複製品製作技術者)「垂飾形木製品の複製品製作」

水野正好((財)大阪府文化財センター理事長)「山賀遺跡が問いかけるもの」

《参加者名：142人》

(2) 考古学セミナー

① 春季特別展

区 分	日 程	演 題	講 師	参加者
第1回	4月29日(日)	「中国・四国地方における弥生時代の戦いについて」	松木武彦(岡山大学)	222人
第2回	5月27日(日)	「逆茂木幻想が語るもの」	赤塚次郎(愛知県埋蔵文化財センター)	157人
第3回	6月3日(日)	「青銅の武器と弥生人」	常松幹雄(福岡市教育委員会)	140人
第4回	6月17日(日)	「鉄器時代ヨーロッパ(前1千年紀)における武器と戦争：戦う社会を考える」	ネスプルス・ロラン(大阪大学考古学研究室国費留学生考古学博士課程)	143人
第5回	6月24日(日)	「武器・武装の日常と非日常—近畿弥生社会の変質からみたラフスケッチ—」	森岡秀人(芦屋市教育委員会)	175人

② 夏季企画展

区 分	日 程	演 題	講 師	参加者
第1回	7月29日(日)	「秤がくれた心のバランス」	秤屋健蔵(秤乃館館長)	84人
第2回	8月12日(日)	「発掘された度量衡」	江浦洋(当館学芸課長)	82人

③ 秋季特別展

区 分	日 程	演 題	講 師	参加者
第1回	10月8日 (月・祝)	「南九州に栄えた縄紋文化—もう一つの縄紋文化論—」	新東晃一(鹿児島県立埋蔵文化財センター次長兼南の縄文調査室室長)	155人

第2回	10月21日(日)	「隼人・熊襲と古代国家」	田中 聡 (立命館大学文学部 非常勤講師)	202人
第3回	11月4日(日)	「南九州の果実と結実～第3の弥生 文化とそれから～」	北郷泰道 (宮崎県立西都原考 古博物館総括学芸員)	131人
第4回	12月9日(日)	「竹の文化誌—南九州と東南アジア の比較の視座から—」	川野和昭 (鹿児島県歴史資料 センター黎明館学芸課長)	158人

④冬季特別展

区 分	日 程	演 題	講 師	参加者
第1回	1月27日(日)	「国際関係からみた古代の難波」	直木孝次郎 (大阪市立大学名 誉教授)	269人
第2回	2月16日(土)	「日本文化を刺激した外来文物」	水野正好 ((財)大阪府文化財 センター理事長)	202人

(3) その他の講演会

① 2007年「国際博物館の日」記念事業 学芸員研究最前線

5月3日(木・祝)

「南九州の縄文文化—縄文早期の生活を探る」 東 徹志 (当館学芸員)

「近畿の縄文文化—竪穴住居事始め」 永野 仁 (当館主任学芸員)

《参加者：70人》

5月4日(金・祝)

「弥生絵画の周辺—東北アジアの絵画資料」 合田幸美 (当館総括学芸員)

「中世石造物からみた対外交流」 岡本智子 (当館学芸員)

《参加者：64人》

5月5日(土・祝)

「弥生水田を掘る—弥生人の知恵と足跡」 江浦 洋 (当館学芸課長)

「古代の国道と宮都の造営」 水野正好 ((財)大阪府文化財センター理事長)

《参加者：101人》

②「関西文化の日」特別講演会

11月18日(日)「弥生の音を聴く 青谷上寺地遺跡出土琴の復元と演奏」

深澤芳樹 (奈良文化財研究所)・前谷雅貴 (正派邦楽会)

《参加者 96名》

③大阪府立三博物館館長・(財)大阪府文化財センター理事長リレー講演会

「歴史を作った人々」

1月14日(月・祝)「倭王卑弥呼」 金関 恕 (当館館長)

《参加者 366人》

④ (財) 大阪府文化財センター・大阪府立弥生文化博物館 2007 年度共同研究発表会

「土偶―近畿地方を中心に―」

3月9日(日)

「東海・近畿地方における土偶の受容」

伊藤正人(名古屋市教育委員会)

「縄文時代草創期・早期の土偶」

永野 仁(当館主任学芸員)

「三重県の土偶」

森川幸雄(亀山市教育委員会)

「近畿地方の縄文後期土偶」

中村健二((財)滋賀県文化財保護協会)

「近畿地方の縄文晩期土偶―弥生文化博物館所蔵の船橋遺跡の土偶をめぐって―」

大野 薫((財)大阪府文化財センター)

《参加者:47人》

⑤ 特別企画「歴史を塗り替えた発掘―館長・学芸員が語る発掘最前線」

3月25日(火)「地下3mに広がる縄文の森―堺市小阪遺跡の調査―」

合田幸美(当館総括学芸員)

《参加者:21人》

3月26日(水)「水辺のいのり―八尾市久宝寺遺跡の調査―」

永野 仁(当館主任学芸員)

《参加者:17人》

3月27日(木)「隼人のムラの鉄器づくり―鹿児島県志布志市有明町仕明遺跡 調査後の再発見―」

東 徹志(当館学芸員)

《参加者:15人》

3月28日(金)「一片の金属製品との遭遇からはじまった15,000kmの調査の旅

―奈良県大峯山寺出土の銭弘俣塔をめぐって―」

岡本智子(当館学芸員)

《参加者:13人》

3月29日(土)「大坂冬の陣を掘る―大阪市大坂城跡の調査―」

江浦 洋(当館学芸課長)

「渡来人の実証―山口県土井ヶ浜遺跡の調査―」

金関 恕(当館館長)

《参加者:42人》

(4) 学芸員トーク

秋季特別展にともない特別展担当者が展示に関連した解説をテーマ別におこなった。

10月6日(土)、11月10日(土)、11月24日(土)、12月1日(土)

(5) 学芸員による解説

特別展開催期間中の日・祝日に、特別展示室において展示解説を行った。

3. 普及事業

(1) ワークショップ(参加体験型事業) 定員各回20名

・春季特別展「矛をつくろう!」

4月28日(土) / 5月19日(土) / 6月2日(土) / 6月16日(土)

・夏季企画展「棒はかりを作ろう!」

7月28日(土)／8月4日(土)／8月11日(土)

・秋季特別展

「宮崎の赤石で矢じりをつくる―磨製石鏃づくり―」

10月13日(土)／10月27日(土)

「鹿児島島の軽石で女神をつくる―軽石製岩偶づくり―」

11月24日(土)／12月8日(土)

・冬季特別展「鏡をつくろう！」

2月2日(土)／2月23日(土)

(2) 遺跡見学ツアー

・春季特別展「会下山遺跡を歩く」

5月20日(日)

《参加者:25人》

・秋季特別展「隼人の故地を大阪に訪ねて―八尾市萱振を歩く―」

11月23日(金・祝)

《参加者:21人》

(3) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールを活用したミュージアムコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考は、ミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員:安井証雄(ヴァイオリン) 稲本 直(コンサート企画)

太田善照(社会教育) 田中寛治(社会教育) ほか

区 分	日 程	演 題	演 奏 者	参加者
第1回	4月15日(日)	「春のそよ風に誘われて Afternoon Concert」	川口知子(フルート) 安原千晶(マリンバ) 西村友里(ピアノ)	256人
第2回	5月6日(日)	「アメージング・フルート! アミューズング・ピアノ!」	Eliaht:南部靖佳(フルート) 山本アキ(ピアノ)	141人
第3回	5月20日(日)	「魅惑のクロマチックハーモニカ～Memory days コンサート～」	矢木秀行(クロマチックハーモニカ) 藤木雅東子(ピアノ)	173人
第4回	6月10日(日)	「ピアノデュオコンサート～6月の調べ～」	喜多ゆり子・米田結華(ピアノ連弾・ソロ)	267人
第5回	7月8日(日)	「愛を奏でて・・・大作曲家の恋の行方は!？」	桑原謠子(バイオリン) 武田佳美(ピアノ)	303人
第6回	8月26日(日)	「いのちの音～重松壮一郎ピアノ・ソロ・コンサート～」	重松壮一郎(ピアノ)	135人
第7回	9月9日(日)	「Pop Collection by ピアノ Duo」	Solface:山本比登美・柏木史子(ピアノ連弾)	166人
第8回	9月23日(日)	「ふるさとコンサート」	石崎磊山(尺八) 菊津恵以子と菊津会(箏)	145人
第9回	10月14日(日)	「オータム・ピアノエレガンス」	氏田敬子(ピアノ)	193人

第 10 回	11 月 11 日（日）	「ロシアより愛をこめて」	宇賀治和子（ピアノ）	164 人
第 11 回	12 月 2 日（日）	「ヴィオラ・ダ・ガンバ～古楽器の静かにして激しい音の世界～」	CARPE — DIEM：橋詰玲子（ヴィオラ・ダ・ガンバ） 佐野健二（リュート）	175 人
第 12 回	12 月 16 日（日）	「天使の響き～ハンドベルコンサート～」	ドリーム 21 ハンドベル教室 指揮・指導：高木至通・高木希見子	283 人
第 13 回	1 月 20 日（日）	「ニューイヤーコンサート」 ～珠玉のピアノ名曲集～	山路洋子（ピアノ）	236 人
第 14 回	2 月 10 日（日）	「春を招くコンサート ～愛の調べに寄せて～」	佐々木信乃（ソプラノ） 古川正巳（テノール） 藤里香世（ピアノ）	330 人
第 15 回	3 月 2 日（日）	「連弾のある風景」	ぴあのごっこ：森美由紀・赤山ひろの（ピアノ連弾）	283 人

（４）博物館ミニギャラリー

「開かれた博物館」事業として、エントランスホールを開放し、写真・絵画などの展示を行った。期間は、原則 2 週間。費用は無料。

ギャラリー名	出品者	開催日	会期中の入館者
四季のはがき絵展	小山協子	5/22（火）～ 6/3（日）	2,642 人
A-21 国際美術展	A-21 国際美術展	6/19（火）～ 7/1（日）	1,246 人
SIMPLE CREATURE 植野高志作品展	植野高志	7/10（火）～ 7/22（日）	860 人
ていこの引き出し	上野貞子	9/11（火）～ 9/22（土）	818 人
きっくいやんせ 宮崎！	協力：宮崎県 大阪事務所	10/16（火）～ 10/28（日）	1,751 人
「篤姫」の故郷 鹿児島をたずねる	協力：鹿児島県 大阪事務所	11/13（火）～ 11/25（日）	1,416 人
歌仙人形 百人一首展 ～人形たちの歌会～	株式会社ヤマネ	1/22（火）～ 3/1（土）	6,179 人
絵壺～楠田瑞穂イラスト展～	楠田瑞穂	3/25（火）～ 4/6（日）	1,055 人

ミニギャラリー関連行事

・はがき講習会

6 月 3 日（日）講師 小山協子 参加者 12 名

・こども小倉百人一首かるた大会

2 月 3 日（日）主催：当館・㈱ヤマネ 協力：(社) 全日本かるた協会

参加者 16 チーム 57 名

(5) 博物館絵画コンテスト

- ・テーマ 卑弥呼の時代を描こう
- ・応募期間 6月1日(金)～6月28日(木)
- ・応募点数 927点(過去最大の応募数)
- ・審査員 小灘一紀(洋画家、日展会員)
上田正克(児童画指導者、元泉大津市立浜小学校長)
- ・表彰式 8月19日(日)
金賞 「卑弥呼の時代の暮らし」(堺市上野芝小学校6年)
金賞 「卑弥呼と農民」(和泉市立信太小学校6年)
- ・優秀作品展示
7月28日(土)～8月25日(土) 弥生文化博物館エントランスホール
9月11日(火)～10月3日(水) 大阪府立中央図書館

(6) 発見！体験！考古学(全2回)

(財)大阪府文化財センターが調査を行っている発掘現場で発掘の流れを学ぶとともに実際の発掘も体験するという企画。

- | | | | |
|-----|----------|----------|-----------|
| 第1回 | 8月18日(土) | 池島・福万寺遺跡 | 《参加者：29人》 |
| 第2回 | 8月25日(土) | 池島・福万寺遺跡 | 《参加者：28人》 |

(7) みんないっしょに考古学(全4回、定員各回20人)

- | | | |
|-----|------------|---------------------|
| 第1回 | 7月15日(日) | 「本物の弥生土器にふれる 石器をもつ」 |
| 第2回 | 9月17日(月・祝) | 「弥生の住まいを見る 建てる」 |
| 第3回 | 11月25日(日) | 「塩作りといろんな火おこし挑戦」 |
| 第4回 | 1月13日(日) | 「弥生と縄文のご飯をつくる 食べる」 |

(8) こどもファーストデイ

毎月第3土曜日に弥生時代に行われたと考えられる稲穂からの脱穀と精白を、復元した道具を使用して脱穀体験を行った。

(9) 関西文化の日

- | | |
|------------------|------------|
| 11月17日(土)・18日(日) | 《参加者：489人》 |
|------------------|------------|
- あなたもきみも弥生ファミリー！／やよい劇場／おいどんくんとジャンケンポン！
屋久島の杉でオリジナルストラップ作り

4. 学校との教育連携

(1) 博学連携セミナー

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、学校教員との意見交換の場を設けた。募集は、学校へ開催案内をおこない、教員が自主的に応募することとした。

(2) 博物館実習

7月24日（火）から7月28日（土）までの5日間、11の大学から24名の実習生を受け入れ、学芸員の実務について指導した。（大学名：大阪、帝塚山学院、京都女子、奈良、京都光華、大阪大学大学院、近畿、立命館、京都文教、広島、摂南）

その他、見学のみの実習や大学の通信課程の講習を受け入れた。

(3) 大学生のインターンシップ

8月24日（金）から9月6日（木）の12日間、1校から1名を受け入れた。

(4) 高校生のインターンシップ

7月26日（木）から7月28日（土）の3日間、2校から3名の高校生を受け入れた。

(5) 中学生職場体験学習

下記の期間に、5校から15名の中学生を受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。

7月4日（水）～7月5日（木）	2日間	5名（1校）
10月4日（木）～10月5日（金）	2日間	3名（1校）
10月24日（水）	1日間	2名（1校）
11月20日（火）～11月21日（水）	2日間	2名（1校）
1月30日（水）～2月1日（金）	3日間	3名（1校）

(6) 出前授業

15校の小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。

実施日	学校名・学年	参加人数	
		対象	延べ
5月17日	東大阪市立藤戸小学校 6年1組	37	37
〃	東大阪市立藤戸小学校 6年2組	38	38
5月18日	岸和田市立中央小学校 6年生	41	41
〃	和歌山市立本町小学校 6年生	26	26
6月1日	枚方市立藤阪小学校 6年2組	31	31
〃	枚方市立藤阪小学校 6年1組	29	29

6月1日	枚方市立藤阪小学校 6年3組	29	29
6月21日	和歌山大学教育学部附属小学校 6年生	42	42
6月27日	(体験学習) 泉大津市立条南小学校歴史クラブ	28	28
7月10日	和泉市立信太中学校 2年生	20	20
8月9日	和歌山大学教育学部附属小学校 6年生と保護者	20	20
10月3日	(体験学習) 泉大津市立条南小学校歴史クラブ	28	28
10月18日	私立 東三国丘保育園 5歳児	31	31
10月24日	堺市立日置荘西小学校 6年3組	28	28
〃	堺市立日置荘西小学校 6年1組	27	27
〃	堺市立日置荘西小学校 6年2組	27	27
10月31日	(体験学習) 和泉市立池上小学校2年生 ※2回に分けて	66	66
11月1日	私立 東三国丘保育園 5歳児	31	31
1月18日	近畿大附属小学校 5年竹組	40	40
〃	近畿大附属小学校 5年松組	43	43
〃	近畿大附属小学校 5年梅組	39	39
1月22日	追手門学院小学校 5年に組	45	45
〃	追手門学院小学校 5年は組	44	44
〃	追手門学院小学校 5年い組	43	43
〃	追手門学院小学校 5年ろ組	42	42
1月23日	(体験学習) 近畿大附属小学校 5年生 ※3回に分けて	101	101
1月29日	(体験学習) 追手門学院小学校 5年生 ※4回に分けて	171	171
2月8日	(体験学習) 大阪市立西九条小学校 6年生 ※2回に分けて	44	44
3月4日	大阪市立玉出小学校	21	21
〃	大阪市立玉出小学校	21	21
総 計	30 件	1,233	1,233

(7) 教育委員会、研究会主催の博物館研修

実施日	内容	参加人数	
		対象	延べ
4月7日	小学校団体の下見説明会 第1回	21	21
〃	小学校団体の下見説明会 第2回	15	15
4月10日	小学校団体の下見説明会 第3回	41	41
6月19日	城南短期大学教員研修	8	8
7月25日	韓国ハンシン大学、中高教員日本研修	24	24
8月21日	養護学校教員初任者社会体験研修 8/22 まで	7	14
8月23日	養護学校教員初任者社会体験研修 8/24 まで	3	6
12月14日	府立実業高校 P T A 連絡協議会研修	12	12
1月16日	近畿大附属小教員研修	12	12
2月2日	泉大津市立浜小学校6年教員研修	5	5
総 計	10 件	148	158

(8) 学校訪問

教育専門員を主として学校訪問、校長会、教育委員会訪問など 173 件行い、博物館広報、学校情報収集などにつとめた。

(9) 高校生のためのバックヤードツアー

8月9日（木）に府下高校生を対象として、博物館活動の目的を理解してもらい、また、実物資料に接する機会を提供した。4校から 28 名の参加を得た。

5. ボランティア活動

点訳、英語の翻訳など各自の特技を活かした活動、各種イベントでの受付や土器パズル、発送などの広報普及活動の補助など多方面に渡った活動を行った。

《登録者数：24 名》

6. 広報事業

(1) インターネットホームページ

ホームページによる情報提供を行った。

(2) 特別展・企画展図録

展示により興味を持ち、かつ理解してもらうため、特別展図録を作成した。（各 2,100 部）

- 大阪府立弥生文化博物館図録 35 『稲作とともに伝わった武器』
(平成 19 年 4 月発行)
- 大阪府立弥生文化博物館図録 36 『計る・量る・測る一度量衡の歴史展—』
(平成 19 年 7 月発行)
- 大阪府立弥生文化博物館図録 37 『日向・薩摩・大隅の原像—南九州の弥生文化—』
(平成 19 年 10 月発行)
- 大阪府立弥生文化博物館図録 38 『発掘された大阪 2007—水都大阪の国際交流史—』
(平成 20 年 1 月発行)

(3) 特別展・企画展ポスター等の作成配布

特別展・企画展ごとにポスター、チラシ、リーフレット等を作成し、広く広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット

常設展の内容を簡単に紹介した A 4 三つ折のリーフレット（日本語・英語・韓国語・中国語）を配布した。

(5) 小学生用見学のしおり

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」およびワークシート（6 種）を配布した。ワークシートについては、下見で来館した学校教員に 1 セットのみ渡し、児童の人数分の印刷は学校側をお願いした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート（7 種）、及びボランティアが作成した点字解説シート、特別展示にともなう解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(7) ミュージウムカレンダー

毎月作成し、広く広報活動に用いた。また、3 ヶ月分のイベントを掲載した行事予定を、年間行事案内、イベント（カードサイズ割引特典付き）を作成し、博物館、公民館、学校、報道機関等に広く配布し、広報活動に用いた。

(8) 弥生倶楽部・要覧等

- 博物館だより『弥生倶楽部』32、33 号
 - 『平成 18 年度 弥生文化博物館要覧』
 - 資料集『2007 年度（財）大阪府文化財センター・大阪府立弥生文化博物館共同研究発表会 土偶—近畿地方を中心に—』（2008 年 3 月 9 日発行）
- ※資料集は（財）大阪府文化財センターとの共同製作。

(9) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種のイベントごとに報道提供資料を作成し、大阪教育記者会ならびに堺市政記者クラブに情報を提供

した。また、近隣のミニコミ紙、情報誌の編集部へも同様の資料を提供し、紙面への掲載を依頼した。

7. 研究事業

「土偶―近畿地方を中心に―」というテーマで、(財)大阪府文化財センターとの共同研究を実施した。
館外の共同研究員は以下のとおり。

伊藤正人（名古屋市教育委員会）

森川幸雄（亀山市教育委員会）

中村健二（(財)滋賀県文化財保護協会）

大野 薫（(財)大阪府文化財センター）

8. 資料調査収集事業

図書購入

特別展・企画展の準備ならびに学術研究のため、考古学関係の雑誌、資料集ほか 197 冊を購入した。

9. サービス事業

(1) 職員研修

全職員を対象としたマナー研修等を実施した。

(2) 音声ガイド

展示資料の理解をより深めてもらうために、常設ならびに特別展展示資料を紹介する音声ガイドを無料で貸し出した。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体に向けた館内ならびに体験ゾーンの紹介と、見学に際しての注意を盛り込んだ映像を作成し、事前学習用に貸出を行った。

(4) 設備

・駐車場緑化事業

(財)黒田緑化事業団の寄付を受け、駐車場にクワ、クリ、コナラなどの弥生時代の植生に近い木々を植栽した。

・コインロッカー

来館者の要望に応え、コインロッカーを増設した。

・トイレ内荷物フック

トイレ個室内に荷物フックを設置した。

10. 自主事業

ミュージアムショップの整備

販売コーナーで、スタンプなどのオリジナルグッズを新たに加え、ミュージアムグッズの販売を行った。また、特別展開催期間中限定商品の販売を行った。秋季特別展開催期間中には、鹿児島・宮崎の物産コーナーも設けた。

11. 入館者および入館料一覧表

区 分	入 館 者 数			入 館 料	備 考
	有 料	無 料	合 計		
常 設 展	3,042	8,251	11,293	685,280	93 日間
割合%	20.5	26.9	24.8		
春季特別展	3,403	10,505	13,908	1,283,620	56 日間
割合%	22.9	34.3	30.6		
秋季特別展	2,841	4,375	7,216	894,940	62 日間
割合%	19.1	14.3	15.9		
冬季特別展	2,947	4,120	7,067	1,126,360	38 日間
割合%	19.8	13.5	15.5		
夏季企画展	2,020	2,525	4,545	598,160	44 日間
割合%	13.6	8.2	10.0		
春季企画展	612	861	1,473	150,860	14 日間
割合%	4.1	2.8	3.2		
合 計	14,865	30,637	45,502	4,739,220	307 日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成 18 年度実績			46,143	4,926,280	311 日間
平成 17 年度実績			38,384	3,501,520	303 日間

（金額は税込み額）

・秋季特別展の無料欄には、関西文化の日（11月17日、18日）の入館者（一般271人、高大生7人、65歳以上99人）を含む。

IV 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 展示事業

(1) 常設展示

①第1ゾーン：「近つ飛鳥と国際交流」

日本古代律令国家成立への道筋と、その中で近つ飛鳥の地域が果たした役割を、5～6世紀「倭の五王と渡来文化」、7世紀「古墳の終わり」、7世紀前半「聖徳太子の時代」、7世紀後半「仏教文化の開花」、8世紀「文字の時代」の五つのサブテーマにより展示。

②第2ゾーン：「古代国家の源流」

古代律令国家の移行段階としての古墳時代の文化を、「竪穴式石室の世界」「埴輪の世界」「王と民衆」「横穴式石室の世界」「古墳造営のムラ」「大古墳の造営」の六つのサブテーマで展示。

③第3ゾーン：「現代科学と文化遺産」

現在、様々な科学技術が多くの文化財の保存や調査・分析に応用され、大きな成果を挙げている。このことについて、保存処理を終えた修羅を中心に、幾つかの例を取り上げ、その方法や成果を紹介展示。

④ 入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	300 円	240 円
高・大生・65才以上	200 円	160 円

(2) 春季特別展「河内古代寺院巡礼」

①開催趣旨

6世紀中ごろ、飛鳥時代、古代国家形成に向かっていたわが国に大陸から仏教が伝わり、その後、各地に寺院が建立された。最初の寺院は大和地域に造営されたが、河内においても遅れることなく造営が開始され、その数は大和に匹敵する。

河内は当時の政治の中心であった大和への入口にあたり、交通の要衝で、有力豪族たちは、この地で生活を営み寺院を建立した。

仏教の伝来は単なる信仰のみならず、仏教を介した政治体制の確立や、建造物をはじめとして当時の先進技術の導入の契機となっており、展示をとおして渡来人や渡来系氏族との交流の事情をうかがう。

②開催期間 平成19年4月21日(土)～7月1日(日)(開館日数 63日)

月曜日休館、但し4月30日(月・祝)開館(翌日5月1日臨時開館)

③会場 特別展示室

④入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	600 円	480 円
高・大生・65 才以上	400 円	320 円

⑤ 内覧会の実施

4 月 20 日（金）	ホールおよび特別展示室	72 人
-------------	-------------	------

⑥ 特別講演会の実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第 1 回	4 月 30 日(月・祝)	近つ飛鳥博物館 館長 白石太一郎 「古墳の終末と古代寺院の造営」	270 人
第 2 回	5 月 20 日（日）	(財) 大阪府文化財センター理事長 水野正好 「強烈な薫り放つ古代河内の寺々ー生み出された 高僧、文化人たちー」	130 人

⑦ 歴史セミナーの実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第 1 回	5 月 6 日（日）	京都大学 吉川 真司 「地域センターとしての古代寺院」	80 人
第 2 回	6 月 3 日（日）	藤井寺市教育委員会 上田 睦 「瓦からみた河内の古代寺院」	55 人
第 3 回	6 月 24 日（日）	近畿大学 大脇 潔 「古代の瓦づくり～秘境の雲南に古代の造瓦技術 を求めて～」	47 人

⑧ 最新発掘調査報告会

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第 1 回	6 月 10 日（日）	坪田真一（(財) 八尾市文化財調査研究会） 「渋川廃寺の発掘調査成果」 中辻 亘（富田林市教育委員会） 「新堂廃寺の発掘調査成果」 竹原伸仁（枚方市教育委員会） 「九頭神廃寺の発掘調査成果」	157 人

⑨展示解説

日 程		内 容	参加者数
全 7 回	4 月 22・28 日、 5 月 3・4・13・27 日、 6 月 17 日	展示解説	187 人

⑩入館者数 総入館者 24,836 人（うち展示室入館者 9,854 人）

以前の春季展	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
入場者数	22,874 (9,067)	20,471 (7,087)	22,384 (9,592)

（3）夏季企画展「絵でみる考古学」

①開催趣旨

日本列島展をはじめ、各地の博物館の展示図録や小学校教科書に採用されている、イラストレーター早川和子氏が描いたイラストの原画展を開催する。発掘現場に残された遺構遺物から、人の所作、周りの風景など当時の情景を再現したイラストで、ビジュアルに原始古代の生活をうったえる。

②開催期間 平成 19 年 7 月 14 日（土）～9 月 2 日（日）（開館日数 45 日）

月曜日休館、但し 8 月 13 日（月）臨時開館

③会場 特別展示室

④入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	400 円	320 円
高・大生・65 才以上	300 円	240 円

⑤講演会の実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第 1 回	7 月 29 日（日）	関西外国語大学教授 佐古和枝 「復元絵画を読むー考古学のこだわりー」	55 人
第 2 回	8 月 11 日（土）	考古イラストレーター 早川和子 「なぜまた走るの？考古屋さん～絵づくりの楽しさを求めて」	81 人

⑥ワークショップ

日 程		内 容	参加者数
第 1 回	8 月 25 日（土）	愉快的早川和子先生のおもしろい絵画教室	25 人

⑦入館者数 総入館者 12,401 人（うち展示室入館者 4,704 人）

以前の夏季展	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
入場者数	10,798 (3,859)	7,525 (3,361)	7,846 (3,305)

(4) 秋季特別展 「横穴式石室誕生－黄泉国の成立－」

①開催趣旨

6世紀以降、古墳の中心的な埋葬施設となる横穴式石室は、4世紀末頃北部九州において受容された。北部九州の初期横穴式石室は、従来の墓制である竪穴式石室に入口部を設けた、横穴式石室のアイデアだけを取り入れたものとみる見解がある。横穴式石室導入期の九州には、いくつかの形態の異なる石室が存在し、一部の地域では、その影響を受けたとみられる横穴式石室が散見される。

一方畿内では、九州の横穴式石室とは別の系統の横穴式石室が5世紀後葉頃に現れ、やがて定型化する「畿内型」石室の原型となり、各地の横穴式石室の普及に大きな影響を与えた。

また、横穴式石室の受容によって単に埋葬施設が変化しただけでなく、追葬が普遍的におこなわれ、それに伴って当時の人々の死生観・来世観も大きく影響を受けたと考えられている。

今回の展示では、九州と畿内の横穴式石室導入の様相を中心に、当時の地域間関係や墓制の変化に伴う思想の変化など、横穴式石室成立の意味について考える。

②開催期間 平成19年10月6日(土)～12月9日(日)(開館日数 56日)

③会場 特別展示室

④入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	600 円	480 円
高・大生・65才以上	400 円	320 円

⑤ 内覧会の実施

10月5日(金)	ホールおよび特別展示室	104人
----------	-------------	------

⑥ 講演会(歴史セミナー)の実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	10月14日(日)	福岡大学名誉教授 小田 富士雄 「九州における横穴式石室の出現－九州と朝鮮半島の交渉をめぐって－」	147人
第2回	10月28日(日)	京都橘大学教授 猪熊 兼勝 「もうヨモツヘグイを食べましたか－横穴式石室の追想－」	108人
第3回	11月11日(日)	(財)大阪府文化財センター理事長 水野 正好 「家族の墓・貴人の墓」	143人
第4回	11月25日(日)	京都教育大学名誉教授 和田 萃 「黄泉国の神話－他界観念と喪葬儀礼－」	198人
第5回	12月2日(日)	近つ飛鳥博物館 館長 白石 太一郎 「横穴式石室誕生」	246人

⑦ 調査研究報告会

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	11月23日 (金・祝)	宮崎康雄 (高槻市教育委員会) 「今城塚古墳の横穴式石室基盤工」 安村俊史 (柏原市立歴史資料館) 「高井田山古墳の横穴式石室」 太田宏明 (日本考古学協会) 「近畿における横穴式石室の出現」	200 人

⑧ ミニ講座

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	12月8日 (土)	小栗 梓 (当館学芸員) 「初期横穴式石室に埋葬された人々」	56 人

⑨ 展示解説

日 程		内 容	参加者数
全3回	10月7・21日、 11月10日、	展示解説	55 人

⑩ 入館者数 総入館者 21,428 人 (うち展示室入館者 8,741 人)

以前の秋季展	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
入場者数	21,303 (9,303)	19,701 (8,989)	21,227 (10,193)

(5) 冬季特別展 文化庁巡回展『新発見考古速報展 発掘された日本列島 2007』中核展

① 開催趣旨

近年の発掘調査によって発見され、注目を集めた貴重な出土品を一堂に集め、全国を巡回し、埋蔵文化財に親しんでもらうため、文化庁と全国公立埋蔵文化財センター協議会、全国埋蔵文化財法人連絡協議会との共催で『新発見考古速報展 発掘された日本列島 2007』の中核展を開催した。

大阪府立弥生文化博物館実施の地域展と共催した。

② 開催期間 平成 20 年 1 月 26 日 (土) ～ 2 月 24 日 (日) (開館日数 26 日)

③ 場所 特別展示室

④ 入館料

区 分	個 人	団 体
一 般	600 円	480 円
高・大生・65 才以上	400 円	320 円

⑤ 講演会の実施

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	1月27日 (日)	近つ飛鳥博物館 館長 白石太一郎 「人物埴輪群は何を語っているのか」	136 人

第2回	2月3日(日)	(財)大阪府文化財センター理事長 水野正好 「古代史発掘2007」	175人
第3回	2月10日(日)	京都教育大学名誉教授 和田 萃 「観音寺遺跡と出土木簡の意義」	165人

⑥ 展示解説

日 程		内 容	参加者数
全4回	1月26日 2月2・9・16日	展示解説	125人

⑦ 入館者数 総入館者 10,086人(うち展示室入館者 5,025人)

以前の冬季展	平成18年度	平成17年度	平成16年度
入場者数	11,281(4,708)	8,357(3,024)	9,929(3,028)

(6) 春季企画展

『大阪の古墳時代を考えるー(財)大阪府文化財センター35年の発掘調査精華ー』

① 開催趣旨

大阪の古墳時代を考え、大阪とそこに居住した人々が、わが国の歴史に果たした役割にせまる。
(財)大阪府文化財センターが調査した古墳時代に関する重要成果を展示した。
(財)大阪府文化財センターとの共催。

② 開催期間 平成20年3月4日(火)～4月13日(日)(開館日数 36日)

③ 開催場所 特別展示室

④ 講演会

日 程		講 師 ・ 演 題	参加者数
第1回	3月16日(日)	(財)大阪府文化財センター 理事兼普及部長 福岡澄男 「古墳時代渡来文物の新研究」	110人
第2回	3月20日(木・祝)	近つ飛鳥博物館副館長兼学芸課長 藤田憲司 「箸墓古墳は卑弥呼の墓か？」	315人

⑤ 展示解説

日 程		内 容	参加者数
全5回	3月 9・15・20・22・30日	展示解説	192人

⑥ 入館者数 総入館者 14,149人(うち展示室入館者 3,812人)

内訳 19年度開館日数24日 総入館者9,220人(うち展示室入館者2,802人)

20年度開館日数12日 総入館者4,929人(うち展示室入館者1,010人)

(18年度の春季企画展開館日数32日 7,990人 うち展示室入館者2,222人)

(7) スポット展示

発掘調査最新成果の展示公開を実施した。(財)大阪府文化財センターが発掘調査した玉櫛遺跡の調査成果速報展示。大阪府内では初めての出土となる6世紀の木製鞍を展示。

展示期間 8月4日(土)～19日(日)

入館者数 総入館者 3,911人(うち展示室入館者 1,655人)

2. 講演会等事業

(1) 「倭国に馬がやってきた」

18年度に資料作成した菟屋北遺跡出土の馬全身骨格復元の展示記念の講演会

日 程	講 師	参加者数
7月22日(日) 14時～16時	大阪市立大学 助教 安部みき子 大阪府教育委員会 小浜 成 (財)大阪府文化財センター 宮崎泰史 近つ飛鳥博物館 館長 白石太一郎	75人

(2) 「関西文化の日」記念講演会

毎年11月に関西圏の各博物館・美術館が入館料を免除または割引する「関西文化の日」の催しを11月17(土)、18(日)に実施した。

記念講演は、当館の設計者 安藤忠雄氏

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者数
11月18日(日) 13時30分～ 15時～ 各1時間2回	建築家 安藤 忠雄 「文化による街づくり」	485人

(3) 府立三博物館館長リレー講演会

弥生文化博物館、狭山池博物館と本館の府立三博物館館長に(財)大阪府文化財センター理事長の四氏によるリレー講演会を実施した。

日 程	内 容	参加者数
第3回 3月23日(日) 14時～	近つ飛鳥博物館館長 白石太一郎 「考古学からみた継体天皇」	480人

(4) 大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究報告会

テーマ 埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳

竪穴式石室の成立に大きな影響を及ぼしたと考えられる瀬戸内地域の様相を中心に弥生時代後期

から古墳時代前期の埋葬施設について、共同研究し、その成果を発表した。

日 程	内 容	参加者数
2月17日(日)	(財)大阪府文化財センター 三木 弘 (財)大阪府文化財センター 市村慎太郎 橿原考古学研究所 岡林孝作 兵庫県教育委員会 山本三郎 香川県教育委員会 蔵本晋司 本館学芸員	126 人

(5) 一須賀古墳群講座（近つ飛鳥入門講座）

近つ飛鳥風土記の丘の古墳群を教材に学習する講座の一環として、対象範囲を石川流域に広げ、「近つ飛鳥入門講座」として7月から毎月第3木曜日に実施した。

第1回	7月19日「石川流域の遺跡」	藤田憲司
第2回	8月16日「近つ飛鳥周辺の古代寺院」	市本芳三
第3回	9月20日「近つ飛鳥の渡来系遺物」	鹿野 壘
第4回	10月18日「近つ飛鳥の終末期古墳」	小栗 梓
第5回	11月15日「三角縁神獣鏡の見方」	高松雅文
第6回	12月20日「一須賀古墳群の楽しみ方」	三又耕三
第7回	1月17日「石製腕輪について」	藤田憲司
第8回	2月21日「瓦のみかた」	市本芳三

延べ 273 人

3. 広報普及事業

(1) 古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

風土記の丘でウォークラリー・古代衣裳体験・勾玉工作教室・森の工作教室等を実施した。

- ・日 時 5月5日(土・祝)
- ・参加者数 約 400 人

	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
参加者数	432 人	353 人	371 人

(2) 夏休み子供工作室

夏休み期間中に、親子でも楽しめる勾玉作りやペーパークラフト等の工作教室的なワークショップを実施した。

- ・日 時 8月4日(土)
- ・参加者数 78 人

	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
参加者数	79 人	156 人	183 人

(3) 夏休みこども博物館探検ツアー

小中学生を対象に、博物館に対してより親しみが持てるよう博物館のしくみを説明し、収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

・日 時 8月12・19・26日(日)

・参加者数 44人

	平成18年度	平成17年度	平成16年度
参加者数	101人	42人	66人

(4) 古墳の森コンサート

博物館の特色を生かし、博物館の屋上階段広場を活用して音楽のコンサートを開催した。地域の高等学校間の交流を深めた。

4月29日(日・祝) 「奏・so・爽2007」

大阪府立金剛高等学校 軽音楽部

大阪府立長野高等学校 軽音楽部など 5校 335人

	平成18年度	平成17年度	平成16年度
参加者数	183人	210人	278人

(5) 体験型学習

① 中学生以下の子どもとその保護者を対象にして、修羅引きや博物館内の施設を見学する、こども博物館プチ探検ツアーなどを実施した。

実施日 7月8日・9月9日 こども勾玉づくり工房

10月27日・12月1日 修羅引き

2月23日 こども博物館プチ探検ツアー

1月26日・2月16日 こども古墳探検ツアー

127名

② 親子参加のワークショップ(子どもファーストデイ協賛)

毎月第3土曜日(子どもファーストデイ)に親子で楽しめる勾玉作りやドングリ、松笠など風土記の丘周辺でとれる木の実などを材料にした森の工作教室を実施した。

210名(11回)

(6) カルチャー of アスカディア(学芸員が案内する遺跡見学会)

11月4日(日) 13時～16時30分

「巨勢谷の横穴式石室を訪ねて」 31人

3月22日(土) 13時～16時30分

「近つ飛鳥を歩く」 21人

合計 52人

	平成18年度	平成17年度	平成16年度
参加者数	74人	68人	59人

(7) 機関紙「アスカディア・古墳の森」の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

(8) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。

(9) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。半年単位のミュージアムカレンダーの作成・配布。

(10) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

常設展・特別展・企画展や各種行事等を府民に周知するため、新聞、テレビ、ラジオの報道機関へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示を実施し、また、新聞・ミニコミ誌などを利用し、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民への広報活動を自治会を通じて実施した。

(11) 博物館案内板の改良・設置

マイカー等での来館者がスムーズに博物館に到着できるように高速道路出口からの案内板の設置をおこなった。駅ホームの博物館案内板を継続して設置した。

(12) インターネットホームページ

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内を、近つ飛鳥博物館ホームページに掲載した。また府民の意見・質問のため意見交換コーナーを設置した。

平成19年度のアクセス件数 128,157件

ホームページ開設以来の累計アクセス件数 1,298,361件

(13) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行・配布した。また、館報は研究論文等を掲載しているところから、有償配布の希望が多く、今回より販売をおこなった。

- 春季特別展図録「河内古代寺院巡礼」 (配布1,200部、販売1,200部)
- 秋季特別展図録「横穴式石室誕生」 (配布1,000部、販売1,400部)
- 館報11号 (配布1,000部、販売500部)
- 常設展示解説シート「よみがえる一須賀古墳群」(配布5,000部)

4. 学校教育連携事業

(1) 大学生博物館実習

大学からの依頼に基づき、学芸員課程の博物館実習を行った。

期間 8月1日（水）～8月5日（日）

受け入れ大学 大阪大学ほか 10 大学 実習生受講生 16 名

期間 7月31日（火）

受け入れ大学 奈良大学通信教育課程 実習生受講生 30 名

	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
参加校数	8 校	8 校	9 校
参加者数	16 人	19 人	19 人

（２）大学生・高校生・中学生のインターンシップ受け入れ

大学生・高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、職業選択の参考とする体験の支援をした。

高校生 2校2名 中学生4校17名 計6校19名

	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
参加校数	9 校	8 校	4 校

（３）校外学習ワークショップ

小・中学校および高校生の校外学習に合わせて、工作教室的なワークショップおよび当館展示品の修羅（古墳時代の運搬具）の復原模造品を使った体験学習を実施した。

- ・工作教室・修羅ひき 41 校 2,862 人
- ・ウォークラリー（古墳めぐり） 61 校 4,955 人

（４）アウトリーチ活動

小学校に学芸員が出向き、ワークショップを通じて博物館活動の理解などに努める。

- ・対象校 6 校 356 人

	平成 18 年度	平成 17 年度	平成 16 年度
参加校数	4 校	6 校	7 校
参加者数	268 人	343 人	532 人

5. 研究事業

（１）近つ飛鳥博物館館報の刊行

博物館事業についての提言や館のテーマに沿った研究報告、年間事業記録などを掲載した館報を刊行した。 館報 11 号 6月30日刊

（２）共同研究

本館学芸員と（財）大阪府文化財センター普及・調査部および外部研究者を交えて「埋葬施設からみた弥生墳丘墓と前期古墳」のテーマに沿って研究会を4回行った。

場所 本館二階 会議室

参加者 (財)大阪府文化財センター 三木 弘
 (財)大阪府文化財センター 市村慎太郎
 橿原考古学研究所 岡林孝作
 兵庫県教育委員会 山本三郎
 香川県教育委員会 蔵本晋司
 本館学芸員

日 程		発表者 ・ 主題
第 1 回	10 月 12 日 (金)	高松雅文「埋葬施設の型式学的研究」
第 2 回	11 月 9 日 (金)	鹿野 壘「閉塞方法からみた埋葬施設と儀礼」 市村慎太郎「当該期の土器編年・併行関係」 藤田憲司「山陰・瀬戸内の埋葬施設」
第 3 回	12 月 14 日 (金)	蔵本晋司「埋葬施設からみた四国北東部地域の弥生時代後期から古墳時代前期」 山本三郎「埋葬施設からみた弥生墳丘墓と古墳」
第 4 回	1 月 11 日 (金)	岡林孝作「竪穴式石室の構造的変遷と系譜」 三木 弘「竪穴式石室の天井部構造について」

(3) 海外の研究者との学術交流を行った。

韓国の研究者を中心に 86 名来館

6. 資料調査収集事業

(1) 実物資料購入、模型・レプリカの製作、写真資料作成、映像ソフトの充実

館のテーマに沿った実物資料の購入、模型・レプリカ・写真資料の作成など資料収集に努めた。

(2) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を購入した。

(3) 実物資料の移管・寄贈・寄託

調査を進め、展示テーマに則した実物資料の移管・寄贈・寄託などによる資料の充実を図った。

※昭和 20 年～ 25 年頃 of 古市古墳群の空中写真、5 枚の寄贈を受けた。

(4) 資料の修理・保存処理

館蔵実物資料の修理や保存処理を行う。

- ① 修羅の国重要文化財指定を機に、注入樹脂の状態や経年変化による劣化等の有無観察計測記録を定期的におこなう業務委託を始めた。
- ② 一須賀古墳群 D 12 号墳出土の金属製品の保存処理を実施した。

(5) 館蔵資料の学術的整理

購入・寄贈資料の復原・写真撮影・観察記録作成などの整理を行った。

7. サービス事業

(1) ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対する応対マナーの研修を実施した。人と人とのふれあいを大切に、心地よい博物館を目指した。

(2) 特別開館日の設定

来館者の多い、春のゴールデンウィーク中日に当たる5月1日（火）と盆休みの8月13日（月）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

(3) バナーとメッセージポールの設置

風土記の丘公園入り口から博物館までの道と入り口がわかりにくいという利用者の声に応えるため、街灯に博物館案内のバナーを取り付け、また、矢印の付いた案内板を設置した。

(4) 手すりの設置

博物館入り口南の急な階段に手すりを設けて、利用者が安全に上り下りできるようにした。

(5) ハイビジョン映像機器の改修

来館者に鮮明な映像を見ていただき、また、講演会等でホール定員以上の参加者が増える中で、ホール外でも講演を聞いていただけるようにするため、ハイビジョンの機器を改修した。

8. 自主事業

(1) ミュージアムショップの整備

書籍販売の棚を新たに作製し、来館者が手にとりやすくした。また、グッズ販売の陳列ケースを追加した。

9. 入館者数

平成 19 年度入館者数及び入館料一覧（平成 20 年 3 月 31 日現在）

区分	入館者数					入館料 (税込)	備考 (日間)
	展示室入館者数			普及ゾーン 利用者数	博物館 総入館者数		
	有料	無料	計				
常設展	3,257	1,641	4,898	13,130	18,028	839,000	85
(割合　％)	17.4	9.1	13.3	21.1	18.2	11.8	
小テーマ展示 (４・１～４・８) ここまで分かった考古学	393	443	836	2,335	3,171	107,860	7
(割合　％)	2.1	2.4	2.3	3.7	3.2	1.5	
春季特別展 (４・２１～７・１) 河内古代寺院巡礼	4,119	5,735	9,854	14,982	24,836	1,963,760	63
(割合　％)	22	31.6	26.7	24	25	27.7	
夏季企画展 (７・１４～９・２) 絵でみる考古学	2,664	2,040	4,704	7,697	12,401	939,520	45
(割合　％)	14.2	11.2	12.8	12.4	12.5	13.2	
秋季特別展 (１０・６～１２・９) 横穴式石室誕生	4,065	4,676	8,741	12,687	21,428	1,741,240	56
(割合　％)	21.8	25.8	23.7	20.4	21.6	24.5	
発掘された日本 列島２００７ (１・２６～２・２４)	2,511	2,514	5,025	5,061	10,086	1,026,240	26
(割合　％)	13.4	13.8	13.6	8.1	10.2	14.5	
春季企画展 (３・４～３・３１) 大阪の古墳時代を考える	1,690	1,112	2,802	6,418	9,220	485,040	24
(割合　％)	9.1	6.1	7.6	10.3	9.3	6.8	
合　　計	18,699	18,161	36,860	62,310	99,170	7,102,660	306
(割合　％)	100	100	100	100	100	100	
平成１８年度実績			35,392	60,794	96,186	6,576,280	303
平成１７年度実績			31,598	53,771	85,369	6,629,540	303

V 日本民家集落博物館事業

1. 日向椎葉の民家の保存修理について

日向椎葉の民家（宮崎県東臼杵郡椎葉村から昭和 34 年に移築）は、老朽化が進み地盤の沈下等が生じていたため、国庫補助金と大阪府の負担金、財界等からの援助により平成 19 年 1 月に解体修理に着工、工事完了は平成 20 年 6 月の予定。

平成 19 年 5 月 21 日（月） 同民家の解体工事終了後、関係者の列席を得て、今後の工事の安全と順調な進行を願って起工式を挙げる。保存修理工事に係る次の事業を実施した。

（1）保存修理工事の公開説明会

1 回目 平成 19 年 10 月 7 日（日） 主屋の軸組み工程の公開説明

2 回目 平成 19 年 12 月 15 日（土） 主屋の茅葺き工程の公開説明

いずれも午前・午後、約 1 時間の 2 回実施。説明は（財）文化財建造物保存技術協会（伊藤氏）に依頼。

（2）平成 19 年度大阪府文化財観光・活用振興事業による保存修理工事の公開

同事業の補助を得て、記録映像（DVD）の製作並びに掲示板の設置（館入口前に新設）により組立工程を入館者以外にも広く公開を行い、同民家の修理工法や建築様式の普及に努めた。

2. 展示事業について

（1）常設展示

①第一ブロック：国指定文化財を中心とするコーナー

国指定重要文化財＝摂津能勢の民家、信濃秋山の民家

国指定重要有形民俗文化財＝飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財＝奄美大島の高倉

未指定＝河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他＝戦国期の五輪塔、地蔵を展示公開している。

また、大阪府文化財センター展示室「カルチュアはっとり」を設置している。

②第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするコーナー

大阪府指定有形文化財＝大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定民俗文化財＝小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定＝北河内の茶室、刳舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を展示公開している。

（2）企画展

「信濃秋山郷の暮らし 2－北国の生業－」

昨年度に引き続き、当館に移築されている信濃秋山の民家の故郷である秋山郷（現長野県下水内郡栄村）

に伝わる生業について民具資料の展示紹介を行った。さらに、江戸時代後期の秋山郷の暮らしについて、鈴木牧之が著した「秋山記行」の記述をもとに資料の展示を行った。

- ・ 期間 平成 19 年 11 月 1 日 (木) ～ 12 月 26 日 (水)
- ・ 場所 カルチュアはっとり
- ・ 期間中、展示に関連して、秋山郷の生業や自然環境、民家建築を調査された研究者の方々を招聘して下記連続講座を開催した。

月 日	演 題	講 師	参加者
11 月 3 日 (土)	「信越地方の狩猟」	永松 敦 (宮崎公立大学教授)	19 名
11 月 10 日 (土)	「秋山郷の植生と植物の利用法」	湯本 貴和 (総合地球環境学研究所教授)	30 名
11 月 17 日 (土)	「秋山郷における生業複合」	野本 寛一 (近畿大学名誉教授)	25 名
11 月 24 日 (土)	「建築史から見た信濃秋山の民家」	青山 賢信 (大阪工業大学名誉教授)	20 名

(3) 企画展示

展示室「カルチュアはっとり」及び越前敦賀の民家において、当館所蔵の民具や大阪府文化財センター保管の遺物の展示を通じて、日本の農作業や昔の暮らしを考える下記の企画展示を行った。

- ①「日本の暮らしー春の歳時記ー」 平成 19 年 4 月 15 日 (日) ～ 5 月 20 日 (日)
- ②「日本の暮らしー夏の歳時記ー」 平成 19 年 7 月 1 日 (日) ～ 7 月 22 日 (日)
- ③鳥越憲三郎メモリアル 平成 19 年 8 月 1 日 (水) ～ 9 月 30 日 (日)

期間内の 9 月 17 日 (月・祝) に大阪府文化財センター水野正好理事長による講演会「なんでもやってやろう 鳥越先生」を開催。(参加者：40 名)

- ④小学生向け特別展示「昔の暮らし」 平成 20 年 1 月 16 日 (水) ～ 2 月 29 日 (金)

期間中、小学校団体向けに展示民具及び民家についてボランティアによる解説を行った。

(来館校数／児童数：24 校／ 2,197 名)

(4) 大阪府文化財センター・カルチュアはっとり展示

- ①「むかしの道具 3 (発掘民具)『武具』」

開催期間 平成 19 年 10 月 6 日 (土) ～ 10 月 21 日 (日)

期間内の 10 月 13 日 (土) に大阪府文化財センター芝野圭之助主幹、本間元樹副主査によるお話「武具」を開催。

- ②「『つわもの達の夢』ー 追悼、藤沢一夫・鳥越憲三郎・堅田 直 ー」

開催期間 平成 20 年 3 月 7 日 (金) ～ 3 月 29 日 (土)

期間内の 3 月 29 日 (土) に神谷正弘氏(高石市教育委員会)による講演会「藤沢大学について」を開催。

(5) 民家解説等の開催

①民家解説

ア. 内容 24名の解説ボランティアが、館内いずれかの民家に常駐し、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ. 期間 年間を通じ開館日毎日

②民家特別公開

ア. 内容 安全面等の配慮が必要であるため、平常は公開できない場所に5名のボランティアが担当し、来館者への特別公開を行った。

イ. 期間 年間を通じ土曜、日曜を中心に開催

ウ. 場所 飛騨白川の民家の2階、奄美大島の高倉の蔵収蔵部分、北河内の茶室

③「囲炉裏に火を入れて」

ア. 内容 当館職員に加えて、13名のボランティアが、囲炉裏に火を入れ来館者へのいろいろ体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ. 期間 年間を通じ開館日毎日

ウ. 場所 飛騨白川の民家、摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、南部の曲家 他

④「民家の囲炉裏で暖まろう」

ア. 内容 当館スタッフにより、囲炉裏に火を入れ、来館者にお茶の無料サービスを行った。また、おしるこの販売を行った。

イ. 期間 平成19年11月3日～平成20年3月30日の土・日曜と祝日

ウ. 場所 南部の曲家

(6) 季節行事の開催

来館者に、日本に伝わる四季折々の行事に親しんでいただくため、移築民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備 考
こいのぼりと五月人形飾り	4月20日(金)～5月6日(日)	大和十津川の民家前庭 越前敦賀の民家	
ようか日	5月2日(水)～5月6日(日)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	体験：6月30日(土) かざり：7月1日(日)～7月8日(日)	大和十津川の民家 縁側	参加者 30名
お盆飾り	8月4日(土)～8月15日(水)	信濃秋山の民家	
芋名月	9月22日(土)～9月30日(日)	大和十津川の民家	
正月かざり	1月5日(土)～1月31日(木)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月13日(日)・14日(月・祝)	飛騨白川の民家 大和十津川の民家	雑煮販売 520食
桃の節句・雛飾り	2月9日(土)～3月2日(日)	越前敦賀の民家	

(7) 各種行事の開催

① 押し花作品展と押し花教室

ア. 内 容 和泉市で活躍している押し花作家グループの作品を展示し来館者に鑑賞していただいた。
また、期間中の7日(土)・30日(月・祝)には、押し花教室(コースター作り)を開催した。

イ. 期 間 平成19年4月1日(日)～4月30日(月・祝)

ウ. 場 所 南部の曲家

・なお、11月23日(金・祝)には押し花による年賀状作りの教室を開催した。

② 子どもアート&クラフトまつり

ア. 内 容 当館の近隣に住む人々の指導により、館内の民家や広場において、子ども達が創作活動に親しむ活動を行った。

イ. 期 間 平成19年5月3日(木・祝)・4日(金・祝)及び11月3日(土・祝)・4日(日)

ウ. 場 所 南部の曲家

エ. 参加者 約190名

③ 昔話と紙芝居に親しむ会

ア. 内 容 主に小学生を対象として、豊中子ども文庫、豊中紙芝居の会の協力により昔話と紙芝居に親しむ会を行った。

イ. 期 間 平成19年6月16日(土)＜2回公演＞・10月28日(日)・11月24日(土)

平成20年3月16日(日)＜2回公演＞ 計4日間、6回公演

ウ. 場 所 大和十津川の民家

エ. 参加者 約130名

④ アイヌ民族の伝統芸能公演

ア. 内 容 北国の文化を紹介する催しの一環として、アイヌ民族の生活様式・伝統芸能について紹介する公演を行った。

イ. 期 間 平成20年10月21日(日)＜2回公演＞

ウ. 場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

エ. 参加者 約200名

⑤ 民家集落作品展

ア. 内 容 当館を題材にした絵画や写真、模型、また、当館の開催行事での作品等を公募し南部の曲家で展示した。なお、優秀作品の表彰式を初日に行った。

イ. 期 間 平成20年3月2日(日)～3月20日(木・祝)

ウ. 場 所 南部の曲家

⑥ 春のお茶会

ア. 内 容 裏千家「千草会」の協力により春のお茶会を行った。

イ. 期 間 平成20年3月23日(日)

ウ. 場 所 北河内の茶室

⑦ 米蔵ミニギャラリー展示

展示内容	期 間
金成幸一「飛騨路水彩画スケッチ」展	3月24日(土)～4月8日(日)
民家集落作品展・優秀作品展示	4月11日(水)～4月28日(土)
東北のこけし展示	5月2日(水)～5月27日(日)
写真展「スペインコルドバの建物」	6月1日(金)～7月1日(日)
織物の道具展示	7月4日(水)～8月26日(日)
写真展「砺波の民家」	9月1日(土)～9月30日(日)
写真展「北の住まいと文化を考える」	10月2日(火)～10月28日(日)
写真展「信濃秋山郷を訪ねて」	11月1日(木)～11月25日(日)
民具へのいざない	12月1日(土)～12月26日(水)
写真展「瀬戸内海沿岸の集落と島々を訪ねて」	1月5日(土)～2月11日(月・祝)
写真展「江南の水郷」	2月14日(木)～2月28日(木)
歴史体験隊作品展示	3月4日(火)～3月23日(日)

⑧その他、下記の取り組み及び行事を行った。

- ・「八十八夜お茶セミナー」(5月5日・6日)、「お茶セミナー」(2月23日・3月1日)を北河内の茶室において開催した。
- ・「敬老の日」特別優待
9月15日～24日、65歳以上の入館料を特別料金200円とし、粗品をプレゼント、南部の曲家にてお茶のサービスを行った。(特別優待者数：124名)
- ・「落語で笑うて民家一第8回『百楽の会』民家集落秋の落語会一」
11月3日、大阪府老人大学上方演芸科3期終了生による落語発表会を開催した。
- ・民家ツアー「信濃秋山郷を訪ねて」
9月27日～29日、当館学芸員が同行し当館移築民家の故郷である長野県下水内郡栄村のツアーを募集し開催した。(参加者20名)
- ・開運プレゼント
12月1日～26日、抽選で、来年の干支のカレンダーや置物(米食いねずみ、豆招きねずみ)をプレゼントした。
- ・募集朗読会
3月23日、参加者を募集し、大和十津川の民家において朗読会を開催した。
- ・夜間特別開館
館内要所に照明設備を設置し、4月1日には開館時間を19:00まで、10月20日には開館時間を20:00まで延長して夜間特別開館を行った。

(8) 体験教室の開催について

① 民家等を利用し下記の体験教室を長期に亘って開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	参加者
養蚕体験	7月1日～8月5日	飛騨白川の民家	60名
糸紡ぎ体験	8月25日(土)・26日(日)		
はたおり体験	4月24日～29日、5月9日・12日・16日・19日、 10月6日～27日の各土、11月10日～18日	摂津能勢の民家 南部の曲家	74名
石臼体験	4月1日～6月10日、9月9日～12月2日、1 月20日～3月30日の毎週日曜日 8月23日(木)～26日(日)	石臼体験コーナー	290名
ワラぞうり 作り体験	5月26日～6月23日、3月1日～22日の各土 曜日、11月4日～12月2日の各日曜日	南部の曲家の土間	61名
コマ遊び体験	4月7日～7月7日、9月8日～12月1日、2 月16日～3月29日の毎週土曜日	日向椎葉の民家前	1,100名

② また、季節に応じて、下記の体験教室も開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者・参加者
昔の遊び体験	5月5日(土)・6日(日)	飛騨白川の民家・館 内広場	久保田 栄他 91名
民家模型作り	7月27日(金)～29日(日) 9月2日(日)	カルチャアはっとり	寺本雅男 38名
寺子屋塾	額縁作り 8月29日(水) 文字で伝える 8月30日(木)	カルチャアはっとり	大坪 章他 37名
竹細工教室	8月25日(土)・26日(日)	館内広場	江頭文雄他 48名
繭人形作り	8月25日(土)・26日(日)	飛騨白川の民家	大元敦子他 33名
星の観察・虫の鳴声を聴く会	10月20日(土) (閉館時間20時まで延長)	飛騨白川の民家他	半田 孝他 50名
民家の「はんこ」づくり	12月8日(土)・9日(日)	カルチャアはっとり	山田洋子 49名
しめなわ作り教室	12月15日(土)・16日(日)	南部の曲家 大和十津川の民家	森川良一、 大元敦子他 38名
餅つき体験	2月2日(土)・3日(日)	日向椎葉の民家前	佐藤文夫他 70名
箏演奏会	3月1日(土)・2日(日)	大和十津川の民家	川島正子、 柳友紀子 115名
オカリナ作り	2月16日(土)・3月1日(土)	カルチャアはっとり	津田幸男他 33名
オカリナ演奏	3月20日(木・祝)	大和十津川の民家	津田幸男他 46名

3. 普及啓発事業について

(1) 民家集落公開講座

3月15日(土)に「カルチュアはっとり」を会場に、以下の公開講座を開催した。

- ① 演 題 「鈴木牧之が見た江戸後期の秋山郷」
講 師 貝瀬 香(鈴木牧之記念館)
- ② 演 題 「昭和30年代に見た九州山地の暮らし」
講 師 早瀬哲恒(日本民俗建築学会)
- ・受講者 53名

(2) 故きを温ねて

当館周辺に点在する史跡の見学会を開催した。当館館長が解説を行いながら案内、当館では開催中の企画展等を見学、その後、大和十津川の民家を利用して昼食休憩の場とした。

平成19年度に実施した内容は以下の通り。

開催日	主な見学場所など	参加者
6月24日(日)	庄内神社、庄内遺跡、島田遺跡記念碑他、当館では修理中の日向椎葉の民家の解説・見学	15名
12月2日(日)	円照寺、常楽寺、梅林寺、麻田藩陣屋西ノ門他 当館では修理中の日向椎葉の民家の解説・見学	15名

(3) 米蔵茶論

堂島の米蔵を会場に、当館館長を囲んで、文化財、民家、民具、その他について語り合うミニサロンを開催した。

- 6月10日(日) 「スペイン＝コルドバの建物」
- 9月30日(日) 「砺波の民家」
- 2月17日(日) 「江南の水郷」

(4) 子どもクラブ活動

子ども達が博物館に親しむとともに、当館が子ども達にとって安全で有意義な居場所となることを願って、下記のクラブを結成し様々な体験活動を行った。なお、活動の指導・支援は当館職員及びボランティアが担当し、子ども達と地域の人々との交流の場となった。

クラブ名	対 象	参加者
みんなクラブ	小学校児童とその保護者、主に土曜日を中心に活動	42名
いろりクラブ	小学校児童とその保護者、主に日曜日を中心に活動	35名

(5) こども茶道体験教室

北河内の茶室を利用して、小中学生とその保護者を対象に「こども茶道体験教室」を開催、指導は、裏千家の岡村矩巳子、柏原和子、石田収二にお願いした。

こども茶道体験教室	6月3日(日)～3月23日(日) 日曜日を中心に18回活動	20名
-----------	----------------------------------	-----

(6) こども囲碁クラブ

小中学生を対象に大和十津川の民家を会場として「こども囲碁クラブ」を開催、指導は関西棋院の芦田磯子棋士を中心にボランティア12名があたった。

こども囲碁クラブ	4月14日(土)～3月29日(土) 土曜日を中心に33回活動	28名
----------	-----------------------------------	-----

(7) 博物館実務実習

大学生に対し、下記のように学芸員の実務について指導した。

期 間	大 学 名	人数
7月26日(木)～29日(日)	大阪国際大学	3名
7月26日(木)～29日(日)	関西学院大学	5名
8月3日(金)～4日(土)	奈良大学	30名
8月22日(水)～26日(日)	追手門学院大学	2名
8月23日(木)～26日(日)	大谷大学	1名
8月23日(木)～26日(日)	大阪成蹊大学	1名

(8) 職場体験学習

中学生の職場体験学習を受け入れ、民家の清掃や囲炉裏の世話、野外作業、窓口業務等の体験を行うとともに、昔の生活や民家について学習を深める機会とした。

期 間	中学校名	人数
10月23日(火)～25日(木)	豊中市立第十七中学校	3名
10月31日(水)～11月2日(金)	箕面市立第五中学校	1名

(9) その他

近隣の小学生を招待し、当館の畑でボランティアが栽培したサツマイモの芋掘り、民家の庭でセイロ蒸しと試食、併せて民家の学習を行った。

期 間	学校名・学年	人数
10月18日(木)	豊中市立緑地小学校3年生	99名

(10) 歴史体験隊

大阪府文化財センター主催により、歴史を体験的に学ぶことにより、歴史を理解することはもちろん、学ぶことの楽しさを知ってもらいたいと願って「歴史体験隊」を募集し、以下の活動を行った。(参加は

隊員 30 名と保護者)

- 11 月 18 日 (日) 「秋を探しに行こう」
12 月 22 日 (日) 「粘土で遊ぼう」
1 月 27 日 (日) 「昔の明かりを作ろう」
2 月 24 日 (日) 「土鈴を作ろう」

4. 広報事業について

(1) 広報事業

- ① 博物館の事業内容等を広く周知するため P R 紙等を作成・配布した。

項 目	発行月	発行部数
秋の催し案内	8 月	20,000
冬の催し案内	12 月	14,000
春の催し案内	3 月	10,000
ふるさとだより No. 30	12 月	3,000

- ② インターネットを活用し、ホームページに催し案内を掲載した。

URL <http://www.occh.or.jp/minka/>

- ③ 各事業の実施にあたって、府庁記者クラブ、豊中市記者クラブ、地域広報紙等に資料提供を行った。
また、豊中市広報誌への掲載、豊中ケーブルテレビでの放送を依頼することによって、地域に密着した博物館となるよう努めた。
- ④ 来館者が当館紹介の DVD を視聴できるよう、堂島の米蔵内にコーナーを設けるとともに、希望者に無料で貸し出しを行い広報に努めた。
- ⑤ 豊中市民ギャラリー（阪急電車豊中駅に隣接）にて「日本民家集落博物館展」を開催、当館所蔵民具や民家集落作品展優秀作を展示し広報を行った。同時にわらざうり作り体験教室を実施。
- ・期 間 平成 19 年 5 月 1 日 (火) ～ 6 日 (日)
 - ・入場者数 406 名 (内、体験教室参加者 42 名)

5. 館内施設の整備について

(1) 電気幹線改修工事

館内の電気容量不足に加え配線の老朽のため、電気幹線の全面改修工事を施工。

(2) 展示民家の屋根の補修

信濃秋山の民家、摂津能勢の民家の損壊が著しく雨漏りがするため、茅葺きの部分補修を施工。
また、各民家の雨戸その他を補修した。

(3) ボランティア活動による館内の整備

竹林や植栽の手入れ・花壇や畑の作物の栽培等をボランティア（参加 9 名）に依頼し、施設の整備や館

内の景観保全に努めた。

(4) その他

業者委託により、松枯木の伐採や高木の剪定、除草作業を実施した。

6. 「移築民家を守る会」について

今後、展示民家の計画的修理を行う必要があることから広く支援を求めるため「移築民家を守る会」を結成し募金活動を行った。

7. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成 19 年度)

月	入館者数 (人)	入館料収入 (円)	開館日数 (日)
4 月	5,794	2,112,800	26
5 月	5,831	1,780,350	26
6 月	2,538	797,700	26
7 月	1,715	495,000	26
8 月	1,528	409,600	27
9 月	1,978	582,100	26
10 月	5,163	1,423,150	26
11 月	4,340	1,273,800	26
12 月	1,616	483,550	22
1 月	2,333	602,200	23
2 月	3,003	686,500	25
3 月	3,942	1,366,500	注) 27
合 計	39,781	12,013,250	306

入館料については消費税込みで記入。

注) 3 月 24 日 (月) は特別開館

<年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成 19 年度	39,781 人	12,013,250 円	306 日
平成 18 年度	44,267 人	13,676,800 円	305 日
平成 17 年度	45,520 人	14,015,100 円	306 日

事務所・博物館所在地



京阪調査事務所
〒576-0022
交野市藤が尾1丁目2
TEL.072-895-1200 FAX.072-895-1201



寝屋川分室
〒572-0824
寝屋川市萱島東3丁目28-4
TEL.072-823-6831 FAX.072-823-6835



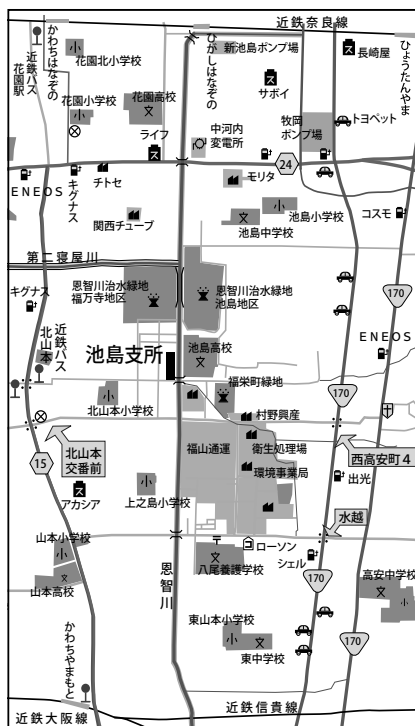
門真分室
〒571-0002
門真市岸和田2丁目5-32
TEL.072-881-2480 FAX.072-881-2481



本部事務所
〒590-0105
堺市南区竹城台3丁目21番4号
TEL.072-299-8791 FAX.072-299-8905
普及部
TEL.072-290-0491 FAX.072-290-2611



中部調査事務所
〒577-0012
東大阪市長田東1丁目9番16号
TEL.06-6785-3921 06-6785-3515
資料室
TEL.06-6785-4531 FAX.06-6785-5431



池島支所
〒581-0842
八尾市福万寺町8丁目地先
TEL.072-999-9890 FAX.072-990-5131



南部調査事務所
〒590-0015
堺市堺区南田出井町1丁目1-10
TEL.072-227-6001 FAX.072-227-6101



古市分室
〒583-0854
羽曳野市軽里3丁目1-13
TEL.072-950-2080 FAX.072-958-5855

ホームページアドレス
<http://www.occh.or.jp>



大阪府立弥生文化博物館
〒594-0083
大阪府和泉市池上町443
TEL.0725-46-2162 FAX.0725-46-2165
URL <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



大阪府立 近つ飛鳥博物館
〒585-0001
大阪府南河内郡河南町大字東山299番地
TEL.0721-93-8321 FAX.0721-93-8325
URL <http://www.mediajoy.com/chikatsu/>



日本民家集落博物館
〒561-0873
大阪府豊中市市部緑地1-2
TEL.06-6862-3137 FAX.06-6862-3147
URL <http://www.occh.or.jp/minka/>

財団法人 大阪府文化財センター年報

平成19年度

平成21年 3月31日 発行

発行 財団法人 大阪府文化財センター

〒590-0105 大阪府堺市南区竹城台3丁目21-4

TEL072-299-8791 FAX072-299-8905

印刷 株式会社 中島弘文堂印刷所

表紙 シンボルマーク

八尾市美園遺跡出土 重要文化財 家形埴輪

